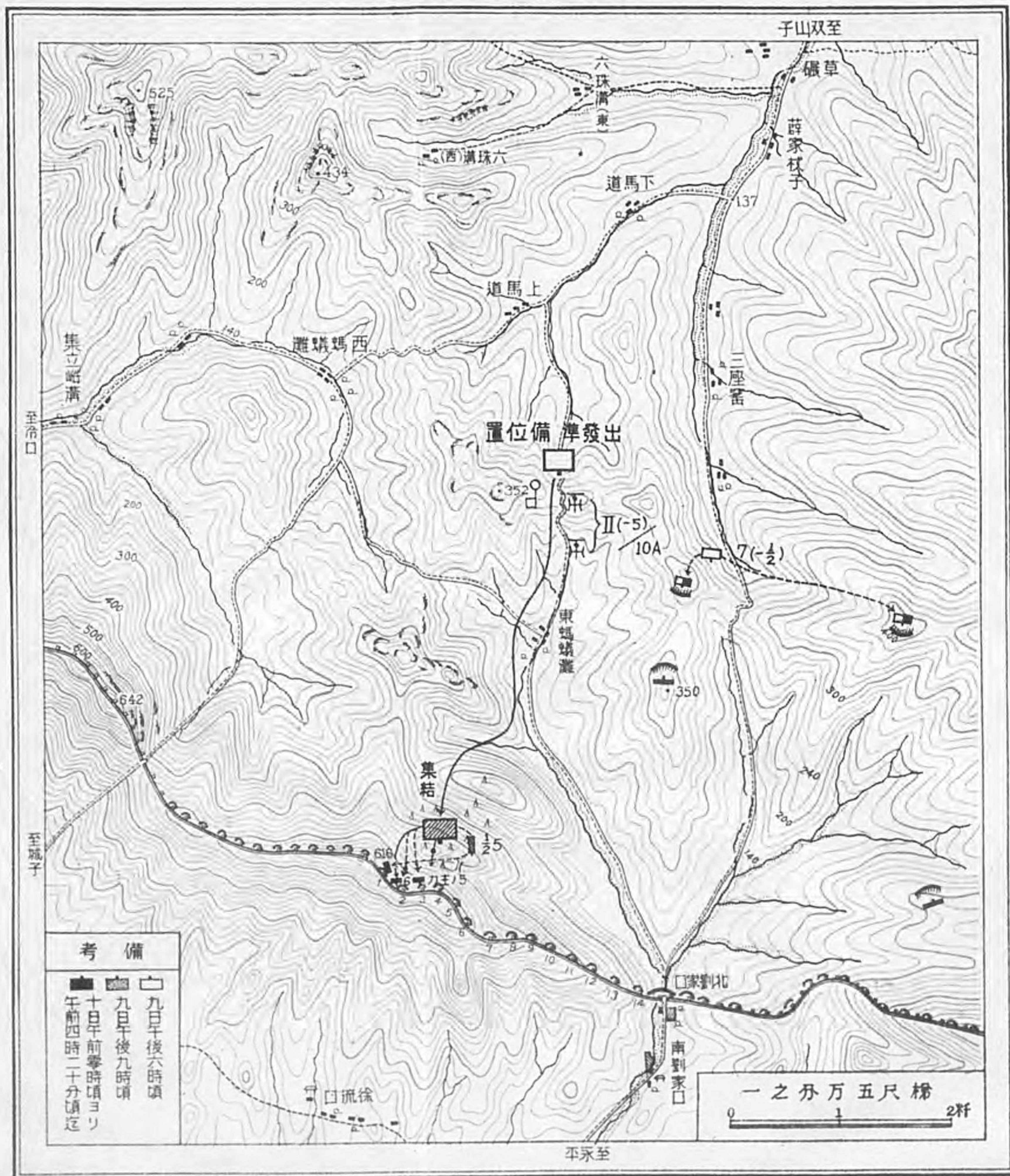


北對家附近宮寄支隊戰經要圖

昭和八年四月九日夜

附圖第三十



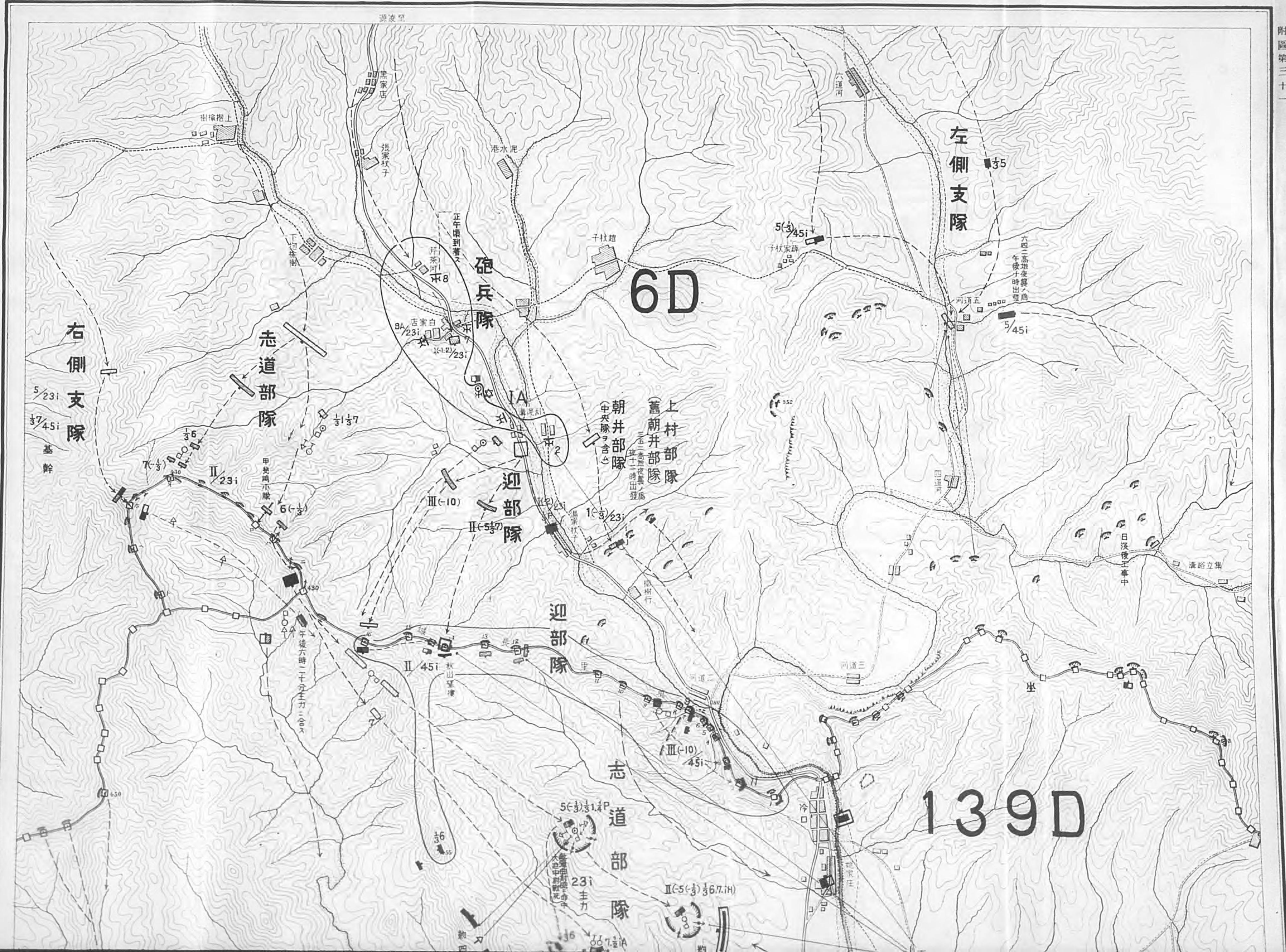
考 備

- 九日午後六時頃
- 九日午後九時頃
- ▨ 十日午前零時頃ヨリ午前四時二十分頃迄

一之五万尺梯
0 1 2千

圖要過經鬪戰力主團師六第近附口冷

日十月四年八和昭



迎部隊

志道部隊

139D

141D

考 備

一、師團司令部ハ董家管子ニ在リ
 二、砲兵隊ハ日没後第七中隊ノミヲ陣地ニ留メ主力ハ乱泥溝北側ニ集結セリ
 三、部隊進路河川及高地ノ状況ハ航空写真ニ依リ地鏡ハ滿洲十方一圖ヲ參考トシ二十米毎ノ等距離ヲ以テ描画セリ依ツテ標高ニ多少ノ相違アリ免レヌ
 日没後
 至日没
 自午後三時三十分頃
 自午後三時三十分頃
 自午後一時四十分頃
 自正午
 自午前十一時二十分頃
 自午前九時頃
 自午前八時頃

一之分万二尺梯

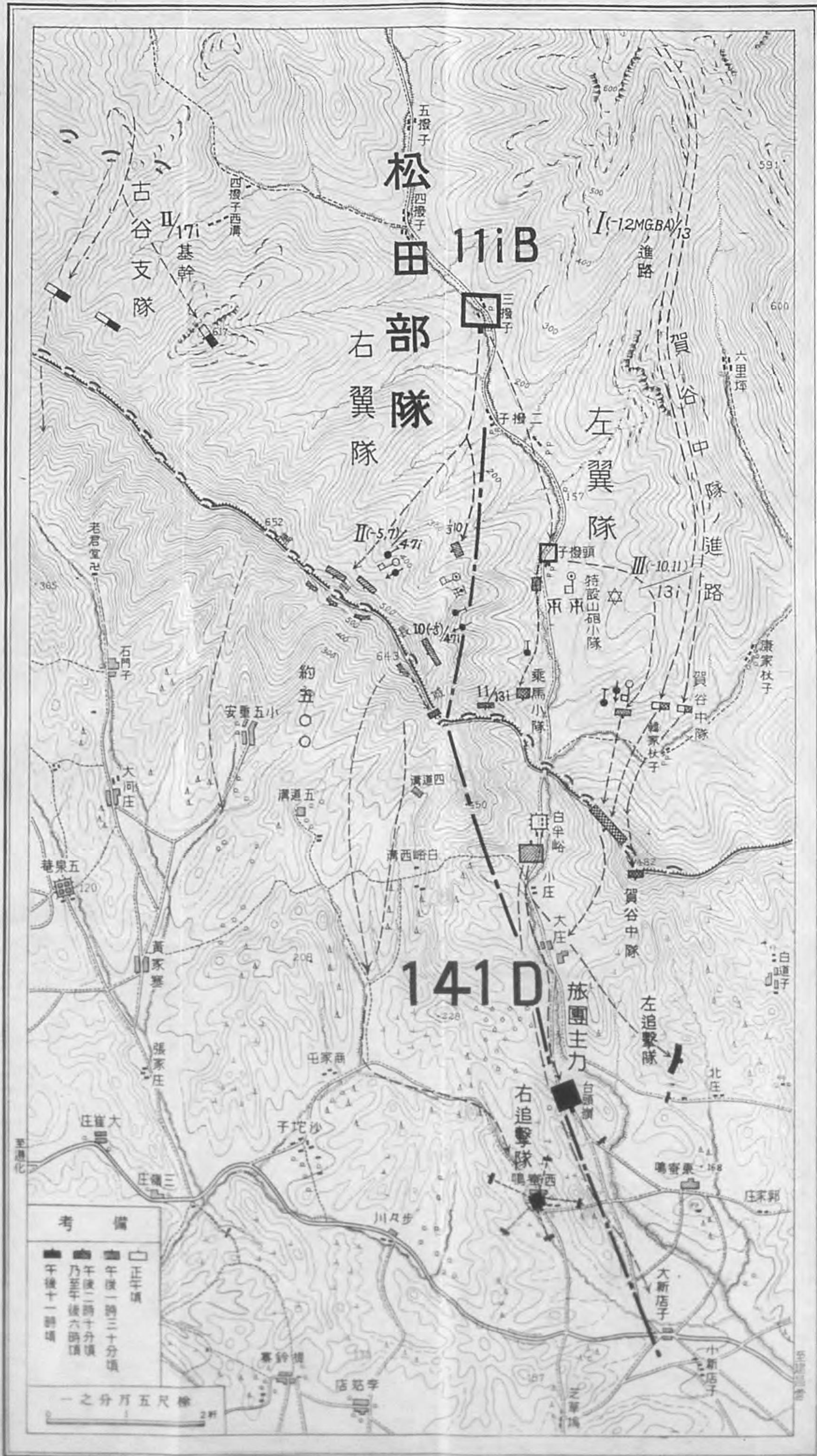


平永至 平永至

白半峪附近松田部隊戰鬥經過要圖

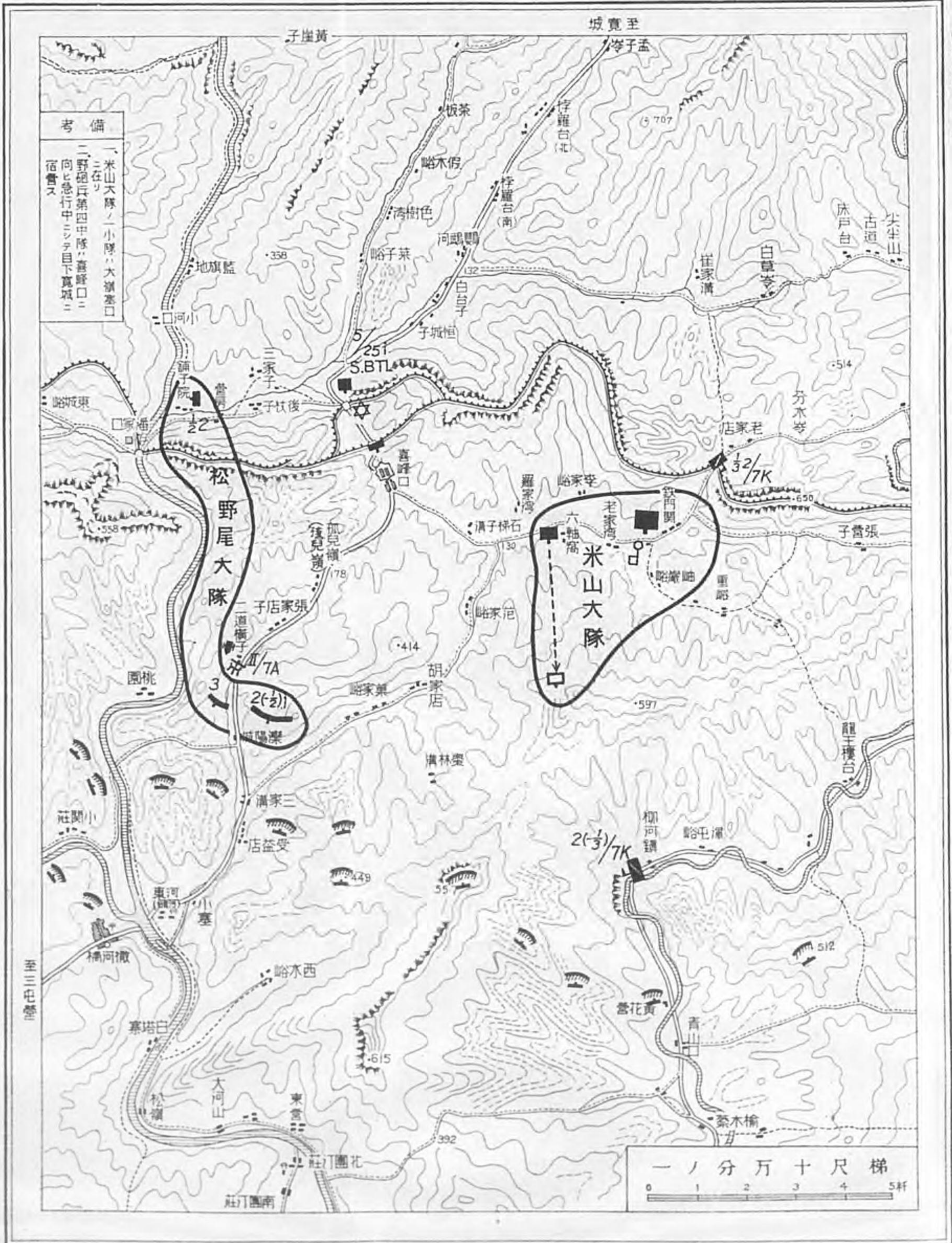
昭和八年四月十日

附圖第三十二



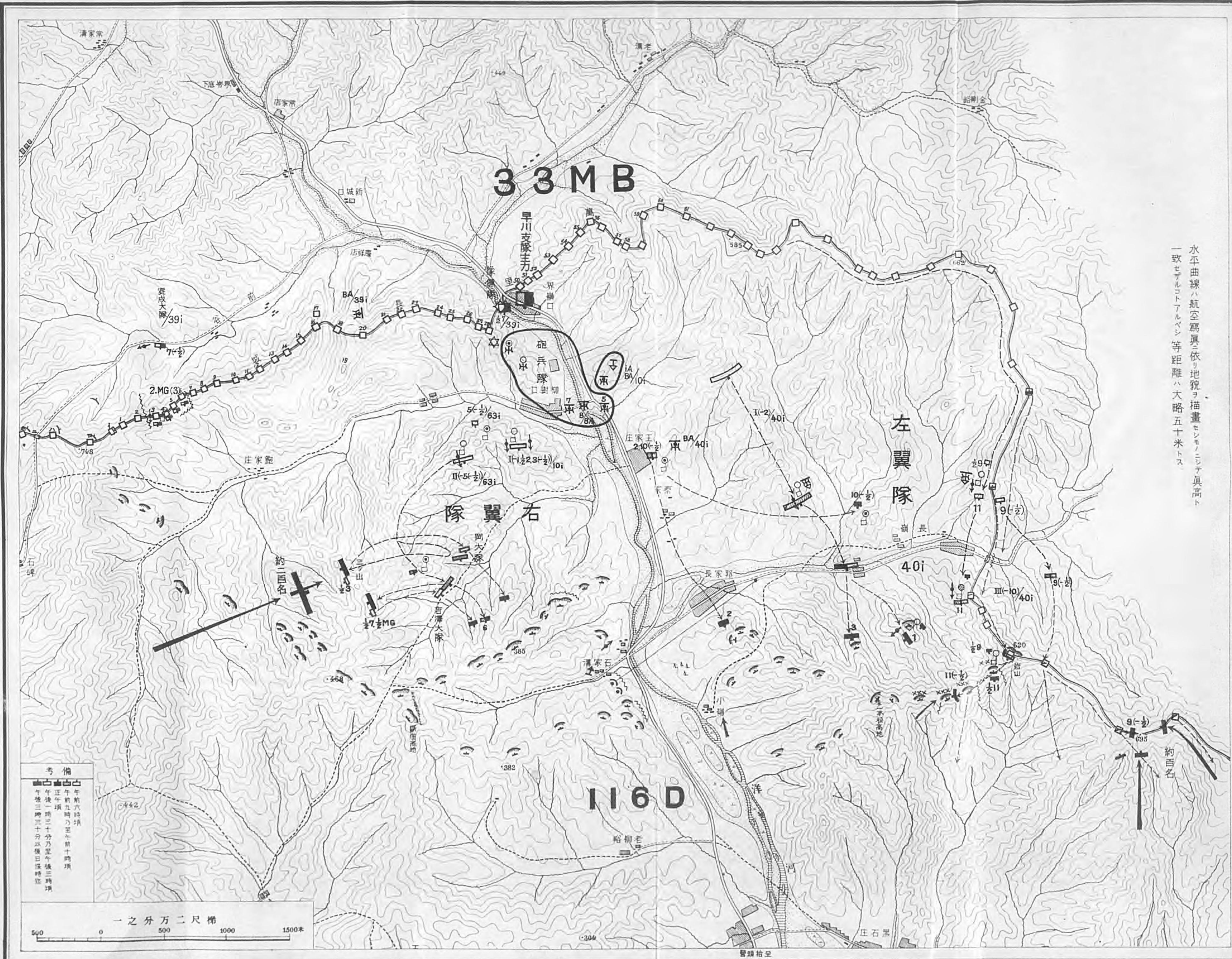
喜峰口鐵門附近混成第四旅團態勢要圖

昭和八年四月十日



一其圖要過經擊攻次三第團旅三十三第成混近附口嶺界

日十月四年八和昭



水平曲線ハ航空寫眞ニ依リ地貌ヲ描畫セシモノニシテ眞高ト
一致セザルコトアルベシ等距離ハ大略五十メートル

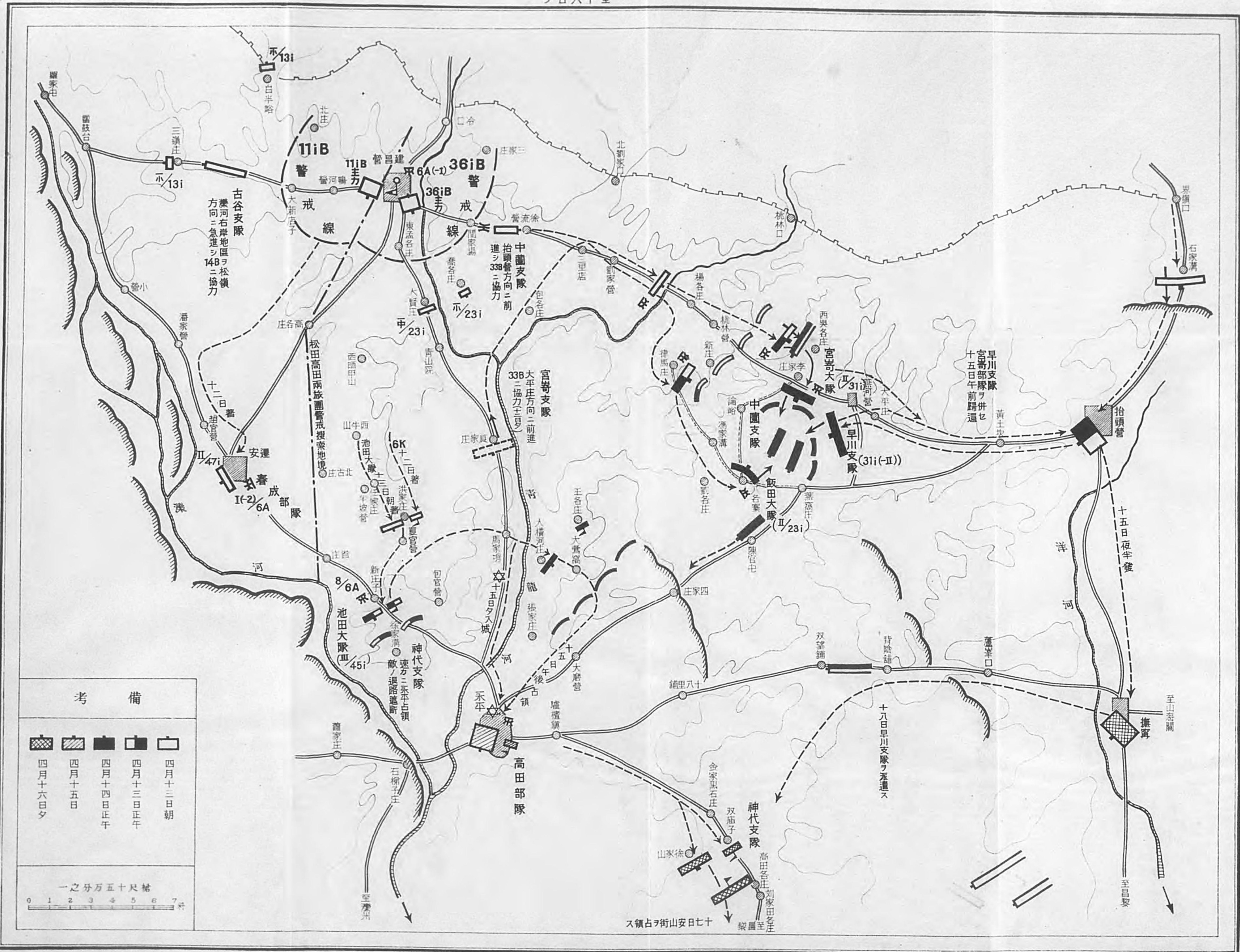
考 備
 午前六時頃
 午前九時頃
 午後一時三十分乃至午後三時頃
 午後三時三十分以後日没時頃

一之分万二尺梯
 500 0 500 1000 1500米

濼東地區第六師團掃蕩戰經過要圖

昭和八年四月三十日
至四月十六日夕

附圖第三十七



考 備

四月十六日夕	四月十五日	四月十四日正午	四月十三日正午	四月十三日朝

一之分万五十尺縮

0 1 2 3 4 5 6 7 千米

ス領占ヲ街山安日七十

二其圖要過經鬪戰力主團旅四十第成混近附口峰喜

日十月三年八和昭

附圖第十四

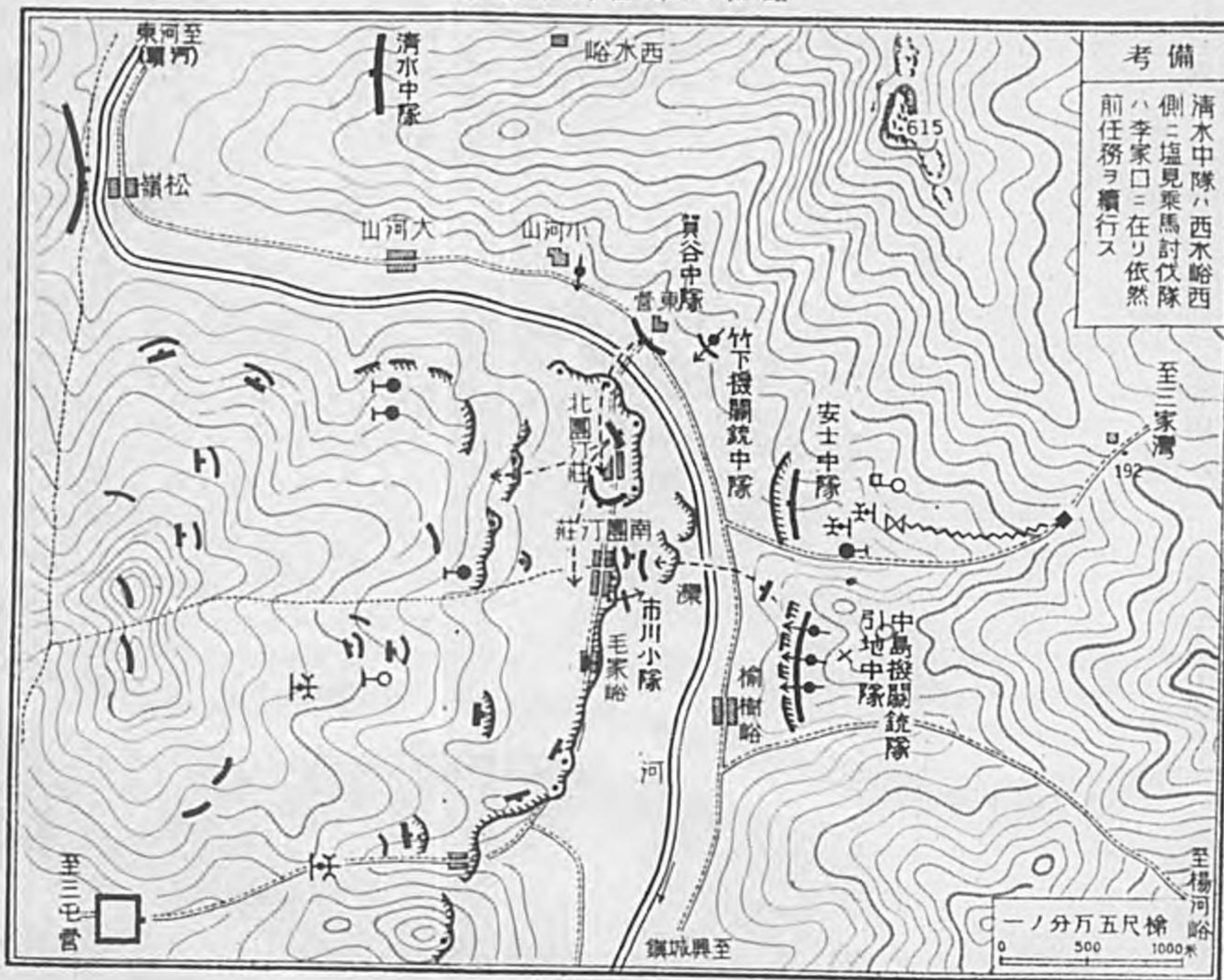


備考
 一、旅團長八十日夕梶羅台(南)ニ在リ
 二、午前八時頃ヨリ午前九時頃迄
 正午頃ヨリ午後二時頃迄

一之分万二尺梯
 0 200 400 800米

圖要過經鬪戰隊支谷古近附莊汀團

日五十月四年八和昭

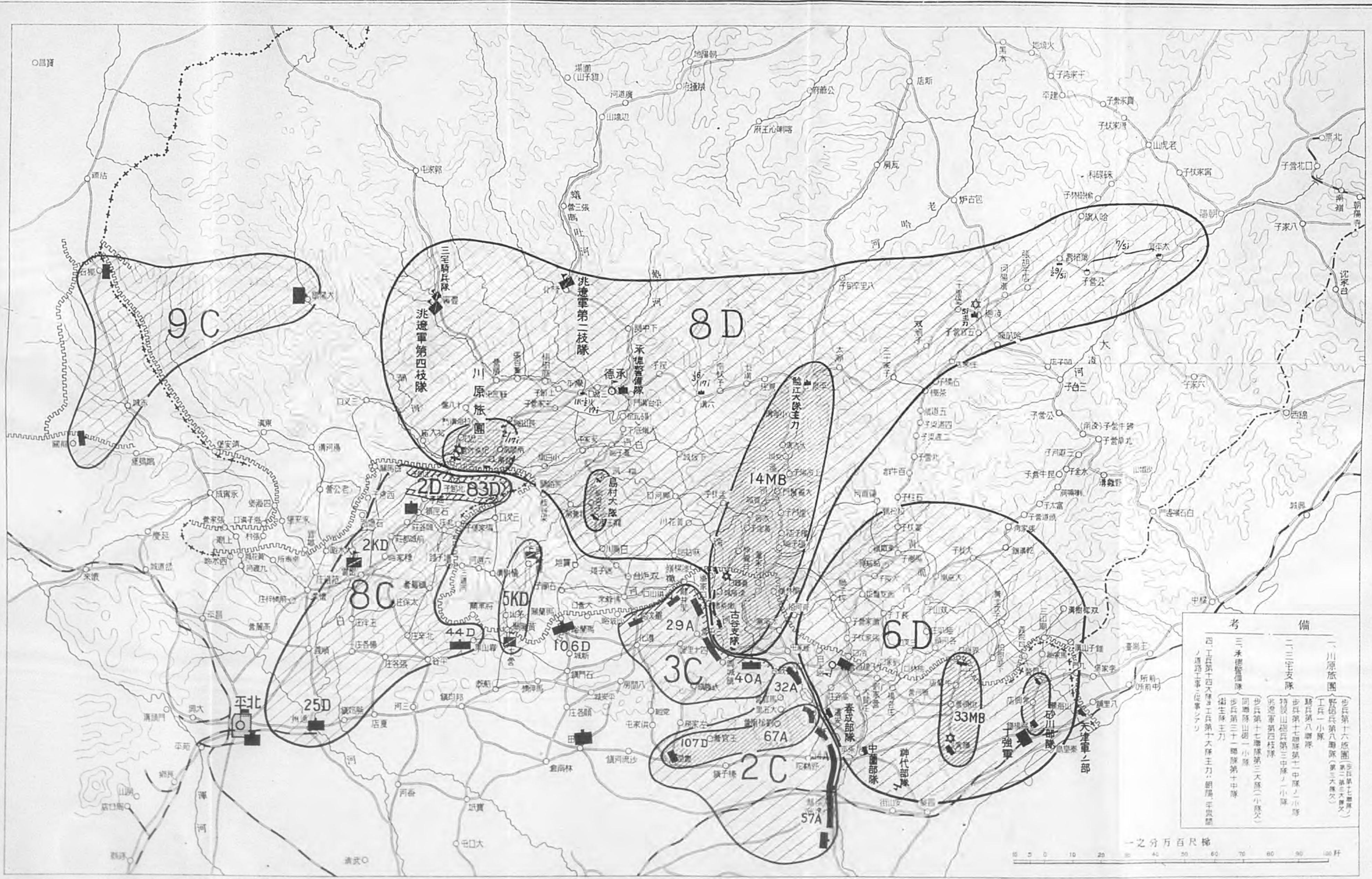


附圖第三十九

熱河南境附近日支兩軍態勢要圖

昭和八年四月十八日

附圖第四十



考 備	
一、川原旅團	步兵第十六旅團(步兵第七團)
	野砲兵第八旅團(第三大隊)
	工兵一小隊
二、三宅支隊	步兵第十七團第三中隊之小隊
	特設山砲兵第三中隊(小隊)
	非遼軍第四支隊
三、承德警備隊	步兵第十七團第三大隊(小隊)
	同團山砲兵一小隊
	步兵第三十一團第十中隊
	衛生隊主力
四、工兵第四大隊	工兵第十六團主力、朝鮮平壤團
	ノ道工率(從軍セリ)

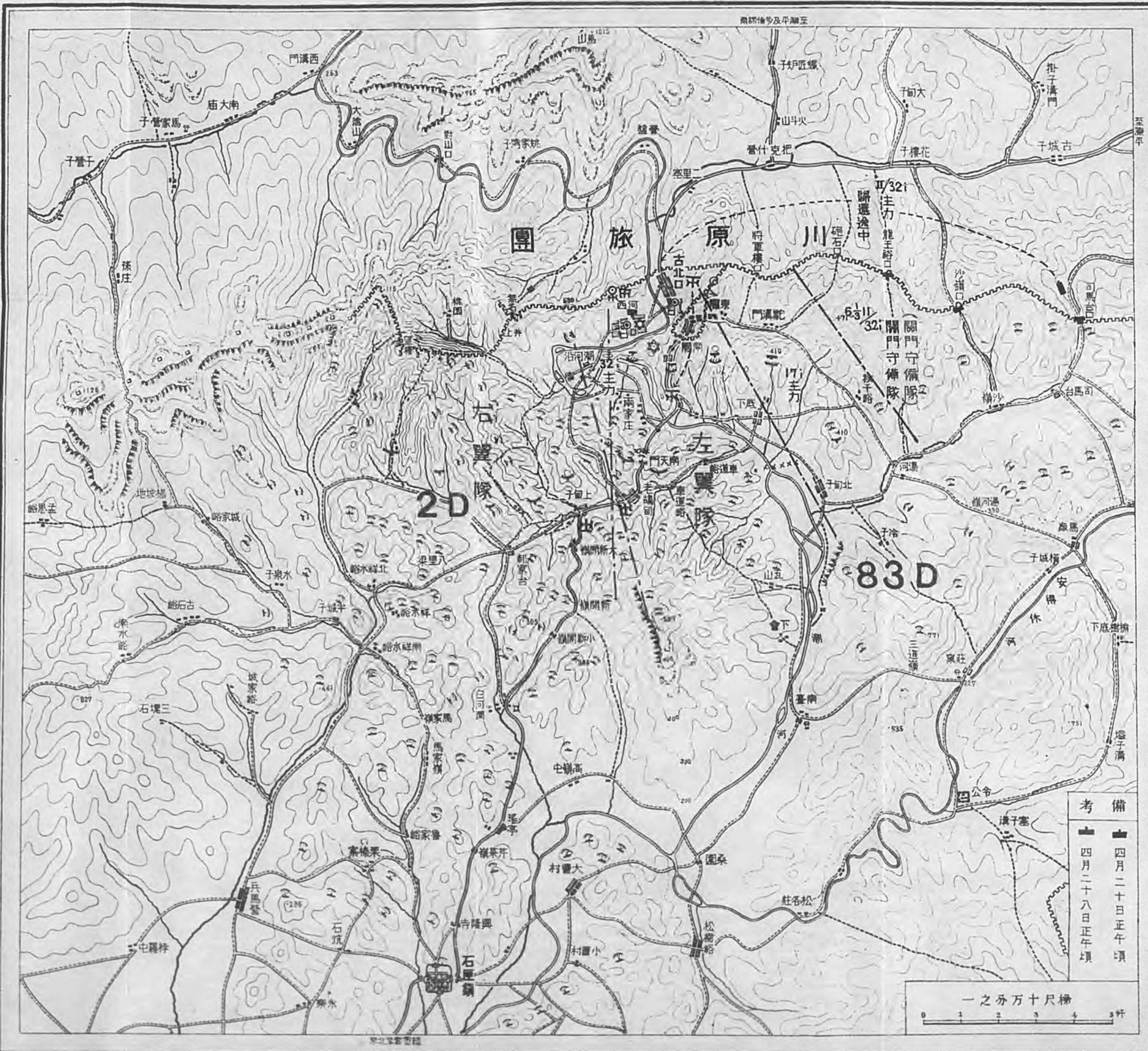
一之分万百尺換



圖要勢態軍兩支日近附嶺開新及門天南

日八十二及日十二月四年八和昭

附圖第四十二

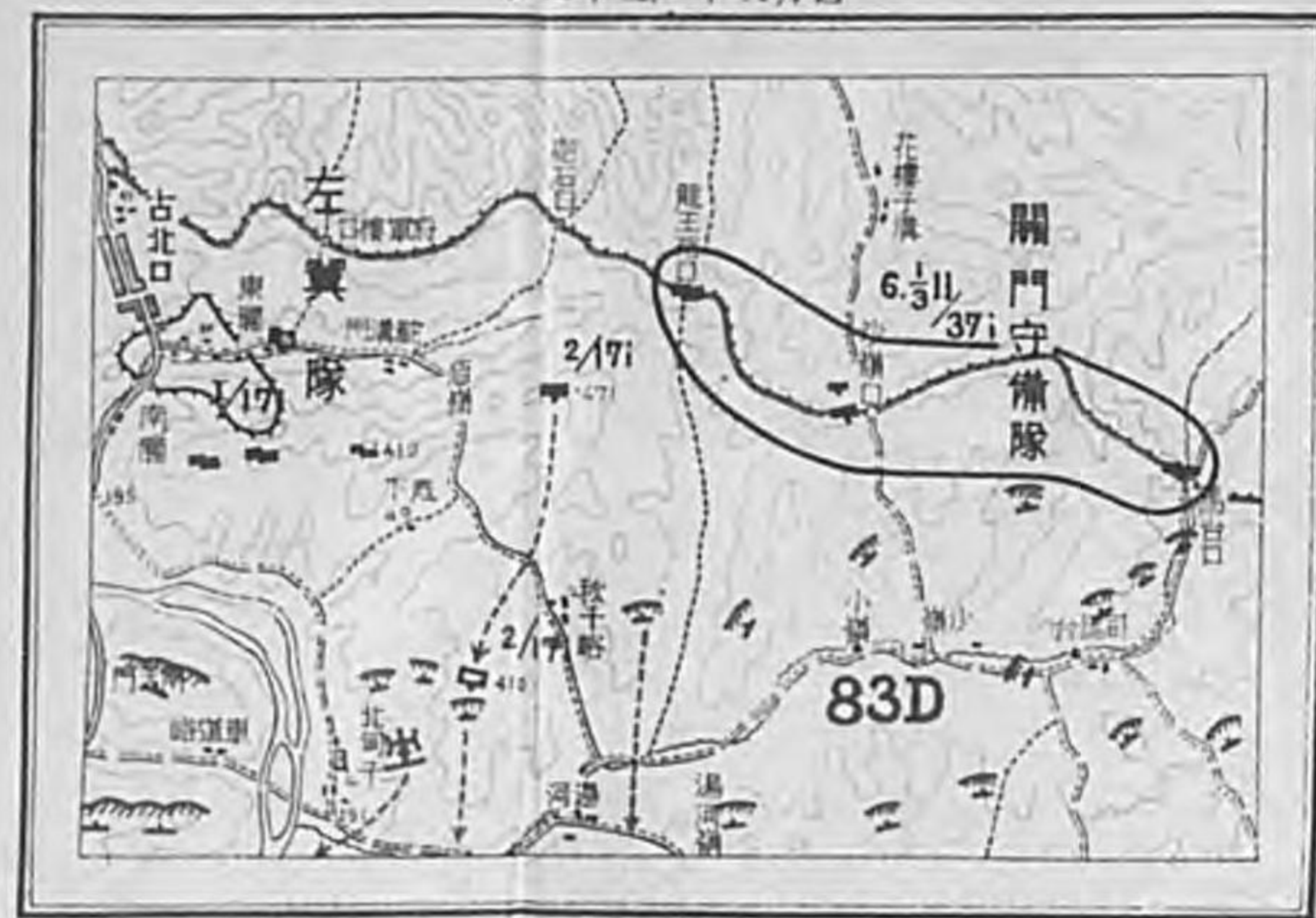


本圖ハ中央嶺南天門ヲ中心トシ古北口・龍家台嶺以下桃園關ハ飛行標尺ニ依リテ描畫シ其ノ他ハ本邦製十萬分一圖ヲ參考トシテ描畫セルモノナリ

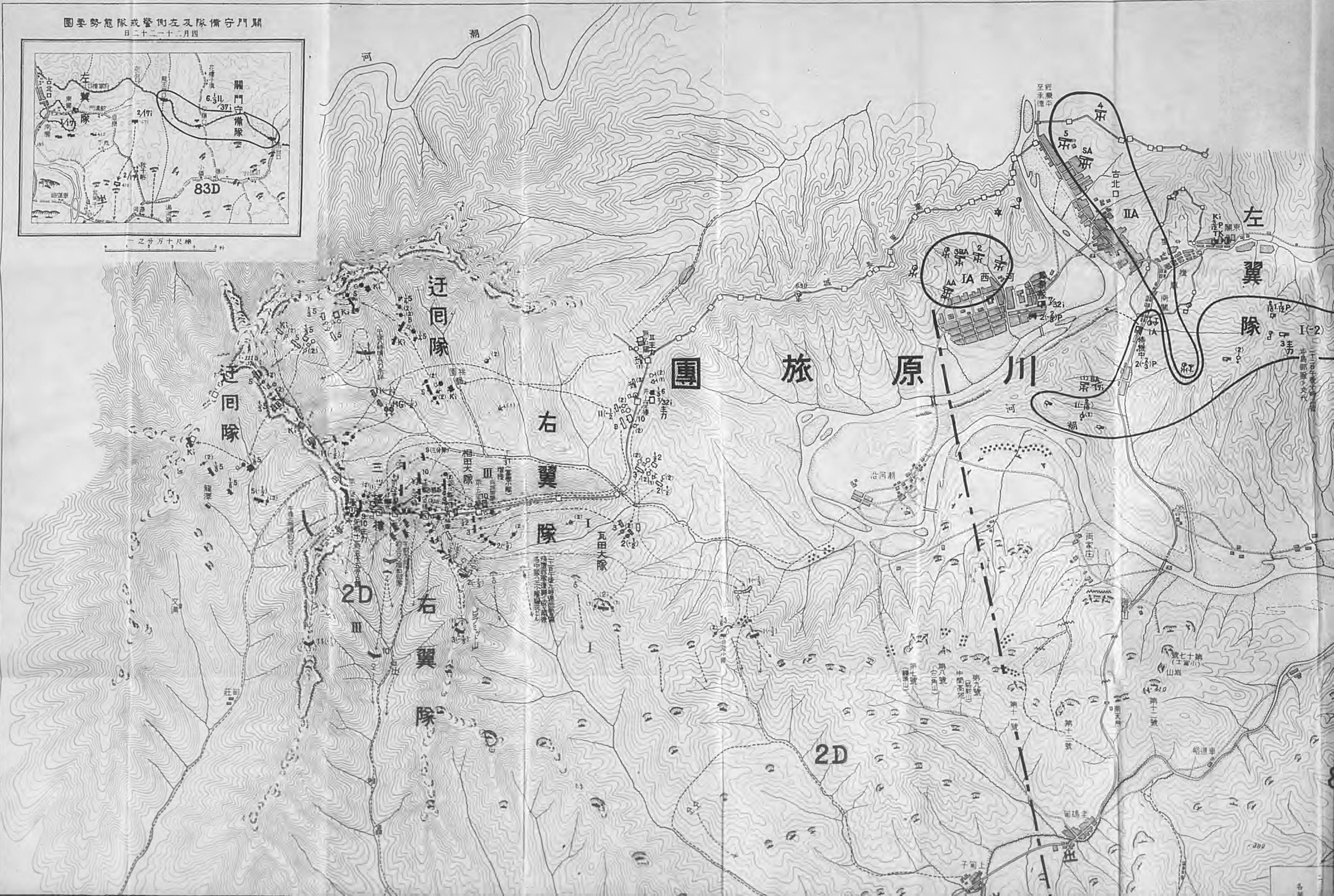
南天門附近第八師團主力戰鬥經過要圖

昭和八年四月二十二日
自二十二日
至二十二日

關門守備隊及左側警戒隊態勢要圖
日二十二月四



一之分万十尺標



迂回隊

右翼隊

右翼隊

團旅原川

左翼隊

2D

2D

IIA

IA

I(2)

相田大隊

瓦田大隊

第七十號山嶺

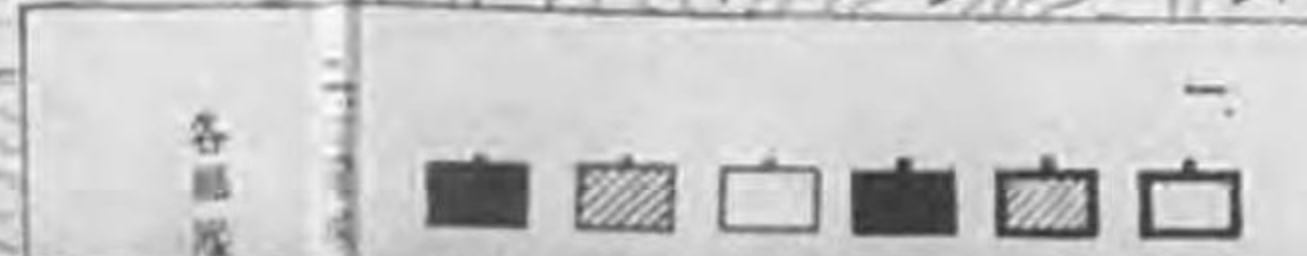
子可上

子可下

南天門附近第八師主力戰鬥經過要圖

昭和八年四月二十二日
自二十二日至二十二日

附圖第四十三



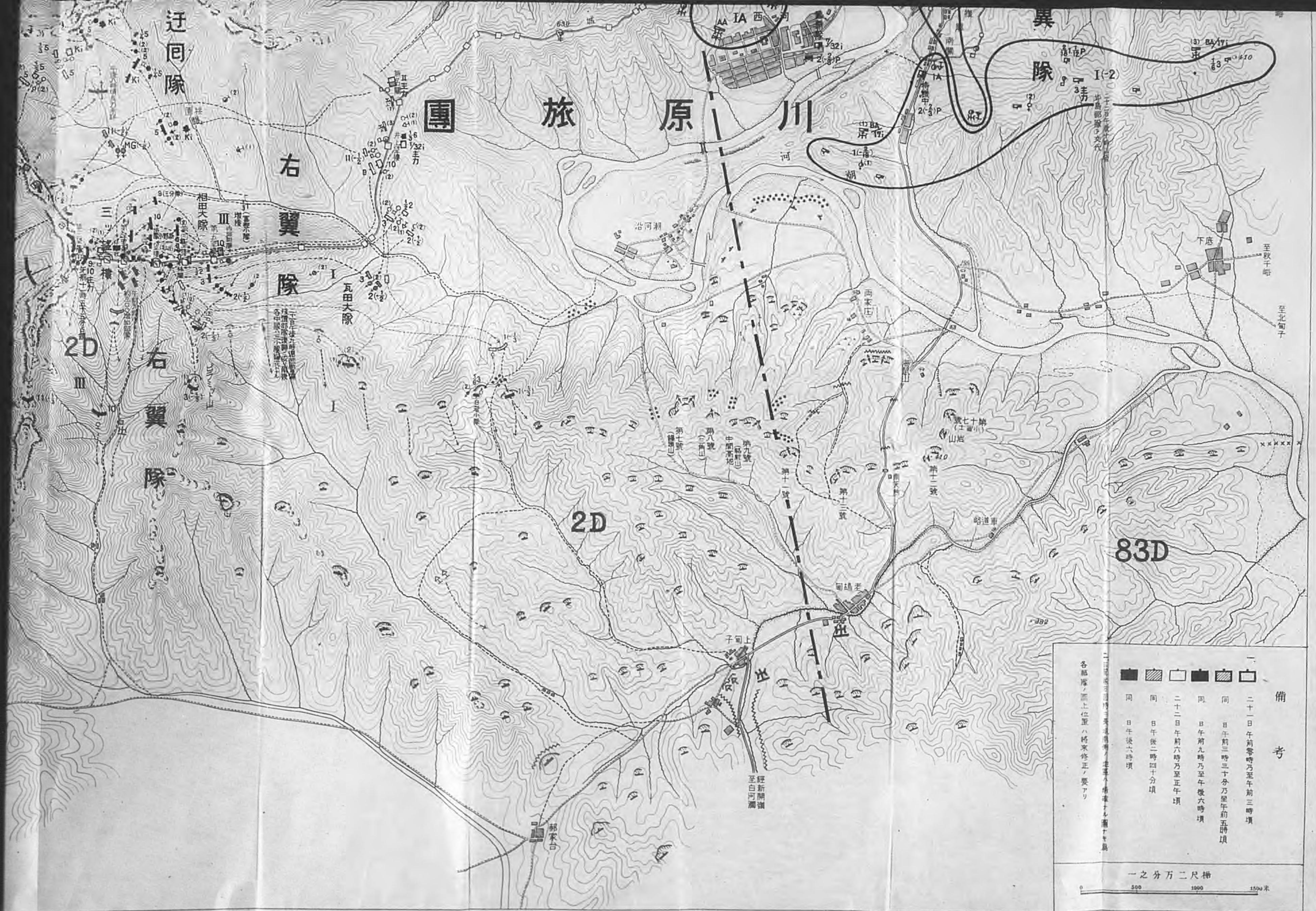


本圖ハ南天門ヲ中心トシ古北口一線ヲ以テ南及東下ニ於テ國境ハ飛行距離ニ
依リテ距離シ其他ハ本邦製十萬分一圖ヲ參考トシテ編纂セルモノナリ

略水詳北至

至北詳水略

平北至



備考

■	同	同	同	同	同
□	同	同	同	同	同
○	同	同	同	同	同
△	同	同	同	同	同
▽	同	同	同	同	同
◇	同	同	同	同	同

各部隊ノ圖上位置ハ時刻修正ノ要アリ

一
 二十一日午前零時乃至午前三時頃
 同 日午前三時三十分乃至午前五時頃
 同 日午前九時乃至午後六時頃
 二十二日午前六時乃至正午頃
 同 日午後二時四十分頃
 同 日午後六時頃

一之分万二尺梯

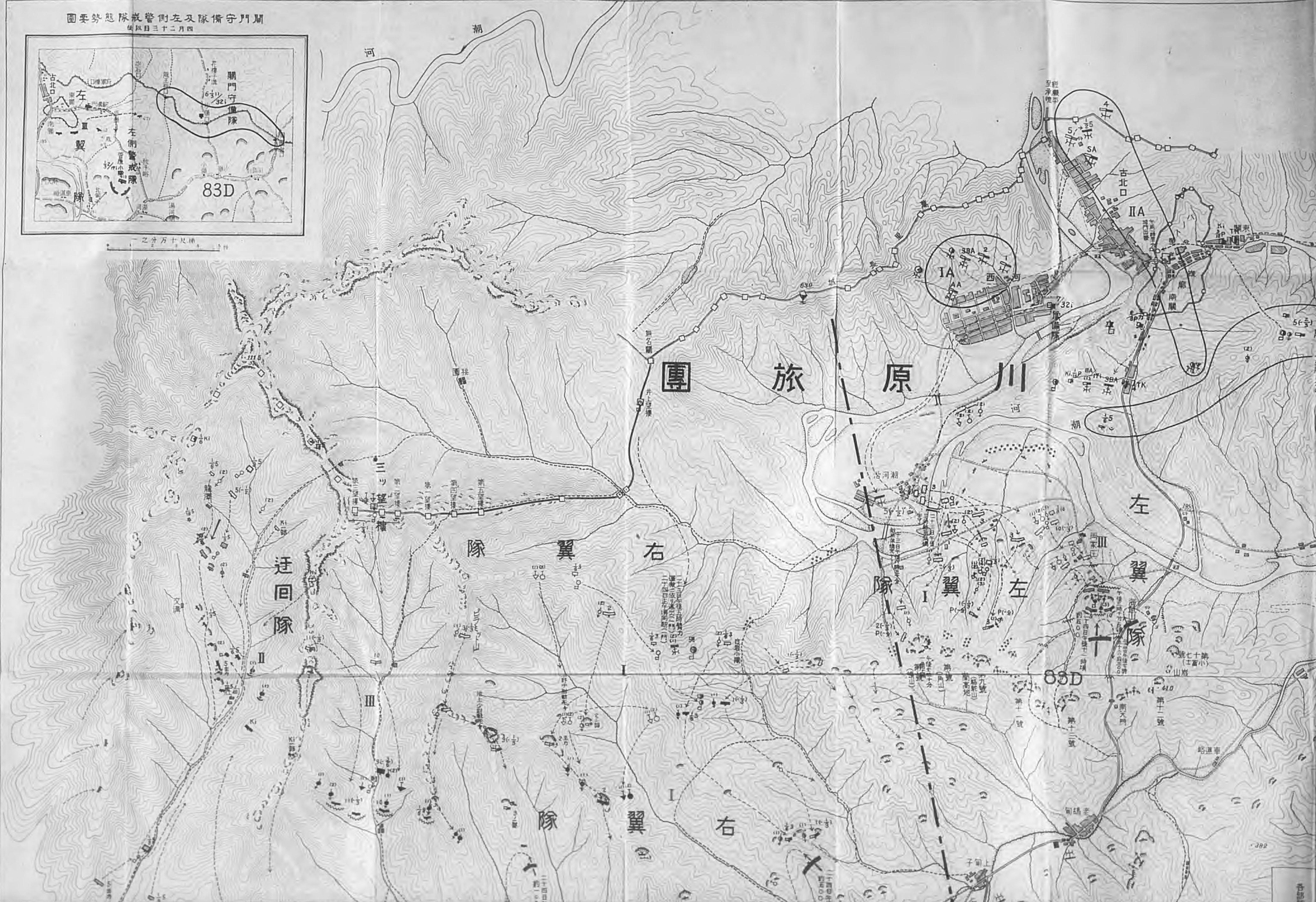
0 500 1000 1500米

二其圖要過經鬪戰力主團師八第近附門天南

日三十二自月四年八和國
日五十二至

圖要勢態隊戒警側左及隊備守門關

係日三十二月四



二其圖要過經戰力主團師八第近附門天南

日三十二自月四年八和國
日五十二至





備考

□	二十三日午前零時乃至午前八時頃
▨	同 日午前十時二十分乃至正午頃
■	同 日午後一時乃至午後八時頃
□	二十四日午前一時三十分乃至午前十時頃
□	同 日午後一時乃至午後六時二十分頃
□	二十五日

二右翼隊方面特に長城南側ノ地區ハ精確ナル圖ナキ爲
各部隊ノ圖上位置ハ將來修正ノ要アリ

一之分万二尺梯

0 500 1000 1500 米

二其圖要過經戰力主團師八第近附門天南

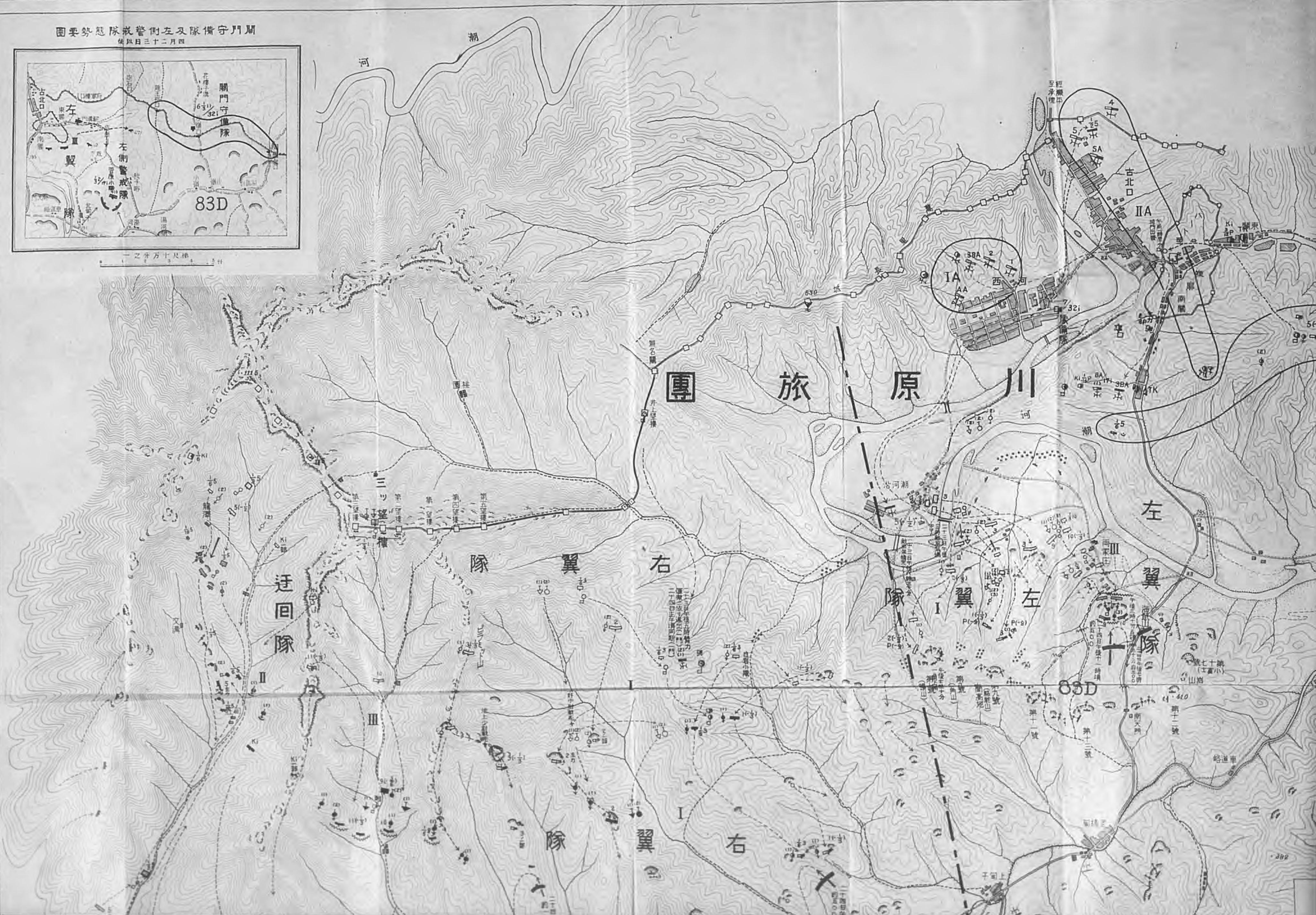
日三十三自
日五十二至
月四年八和國

圖要勢隊戒警側左及隊備守門關

係以日三十二月四



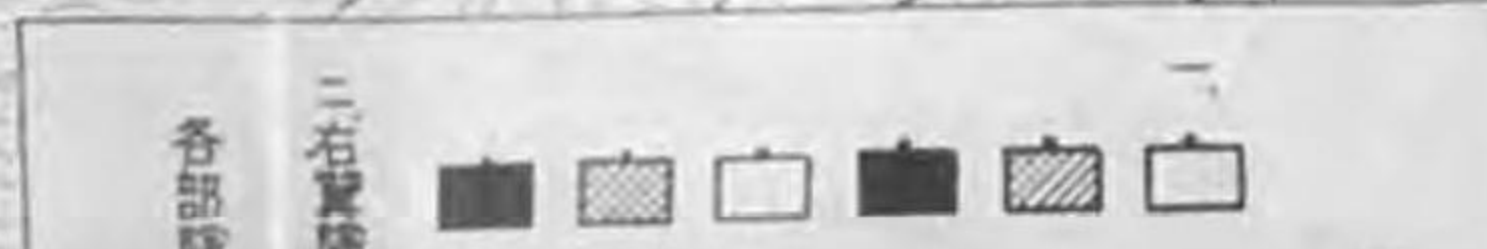
一之五万十尺標



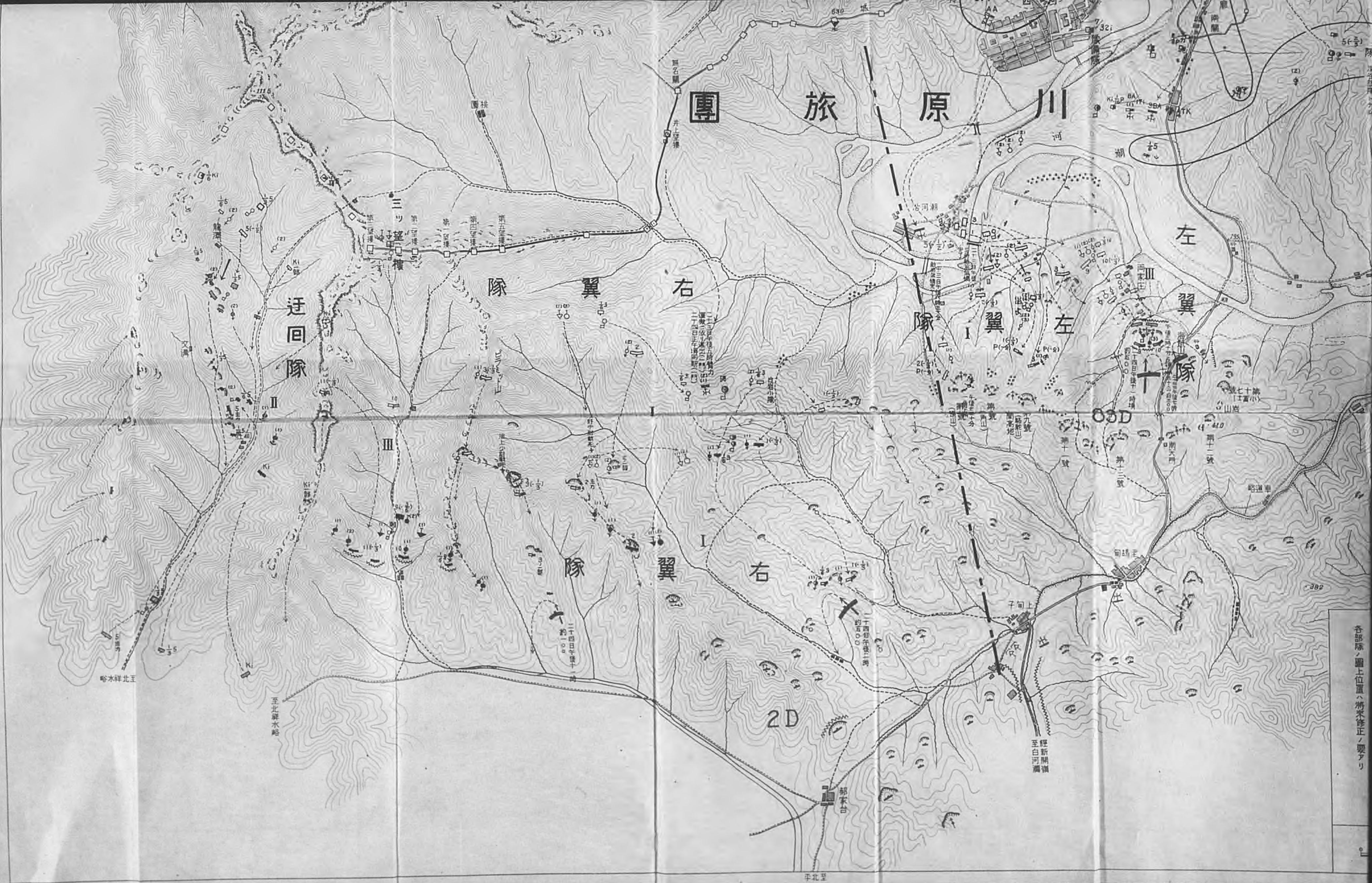
二其圖要過經鬪戰力主團師八第近附門天南

日三十三自
月五十二至
年四八和國

附圖第四十四

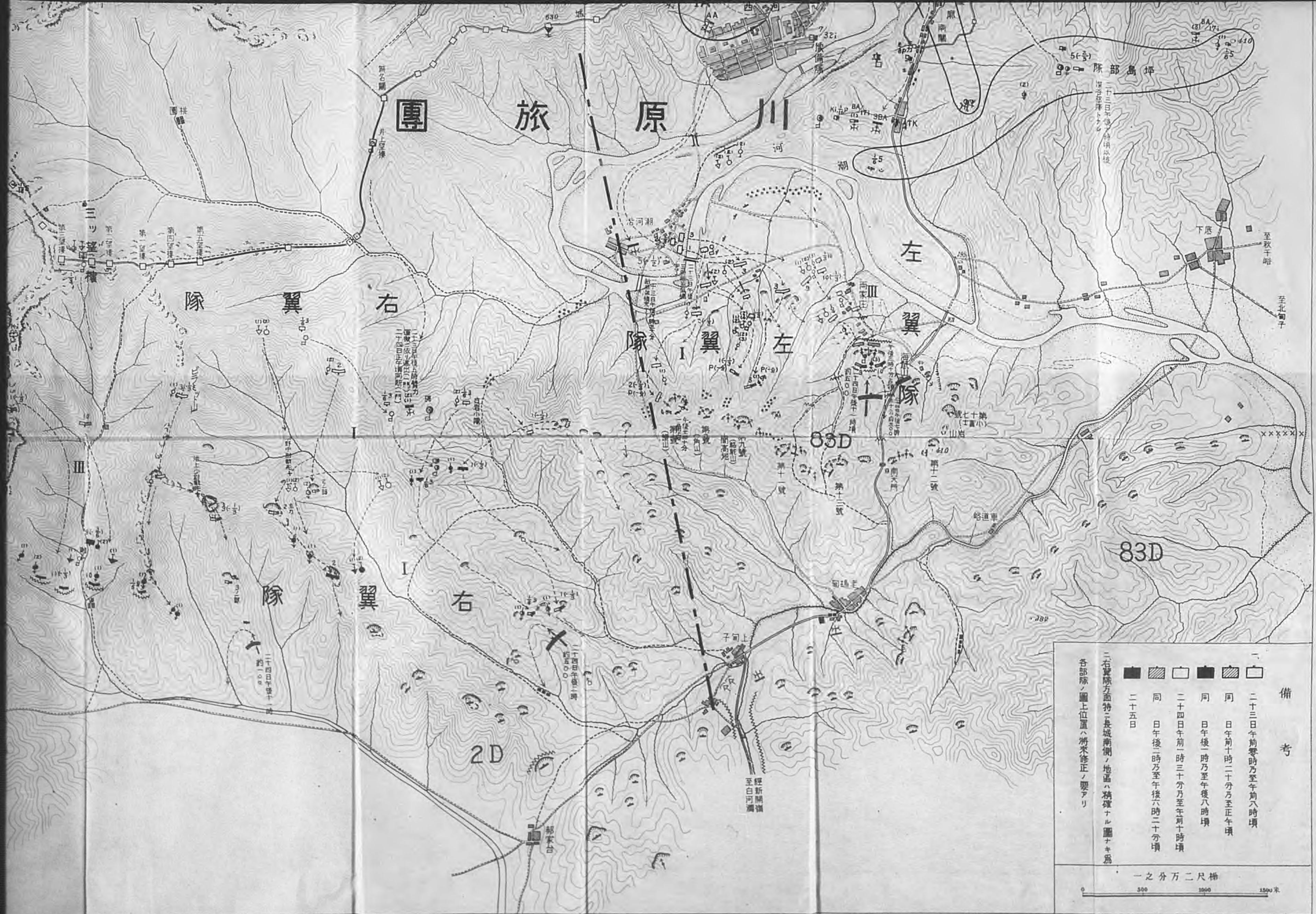


川原旅團



本圖ハ南大門ヲ中心トシ古北口一都家台間及最下ノ地帯ヲ飛行経路ニ依リテ測量シ其ノ他ハ本邦製十分一圖ニ依リテ測量スルモノナリ

各部隊ノ圖上位置ハ將來修正ノ要アリ



川原旅團

右翼隊

左翼隊

左

隊

翼

右

83D

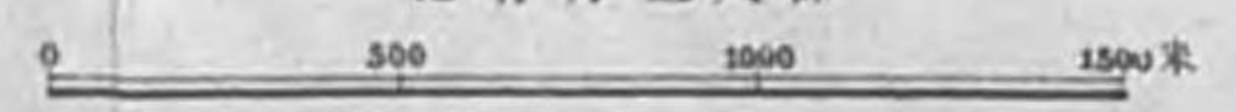
2D

備考

■	□	■	□	□
二十五日	同	二十四日午前一時三十分乃至午前十時頃	同	二十三日午前零時乃至午前八時頃
	同	日午後二時乃至午後六時二十分頃	同	日午前十時二十分乃至正午頃
			同	日午後一時乃至午後八時頃

左右翼隊方面特ニ長城南側ノ地區ハ精確ナル圖ナキ爲
各部隊ノ圖上位置ハ將來修正ノ要アリ

一之分万二尺梯



三其圖要過經鬪戰力主團師八第近附門天南

日六十二自 月四年八和昭
日八十二至





本圖ハ南天門ノ中心トシ古北口一級家台間及最下一級階層ハ飛行経路ニ
 依リテ繪畫シ其他ハ本誌製十万分一圖ヲ參考シテ繪畫セシモノアリ

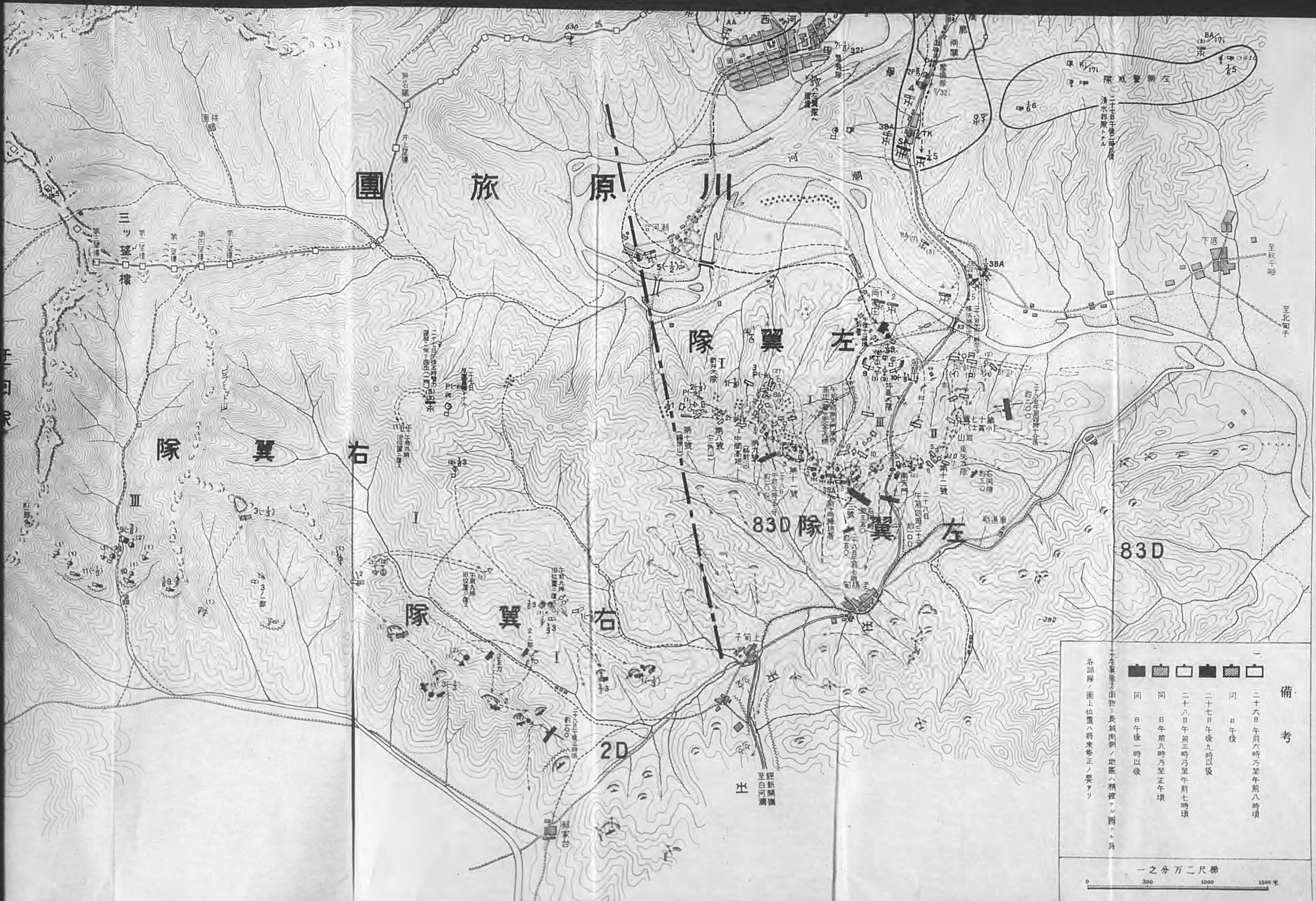
上方裏面ヲ面テ長城南側ノ地盤ハ稍高ナル因テハ
 各部隊ノ團上位置ハ將來修正ノ要アリ

松水祥北至

至北祥水略

平北至

0



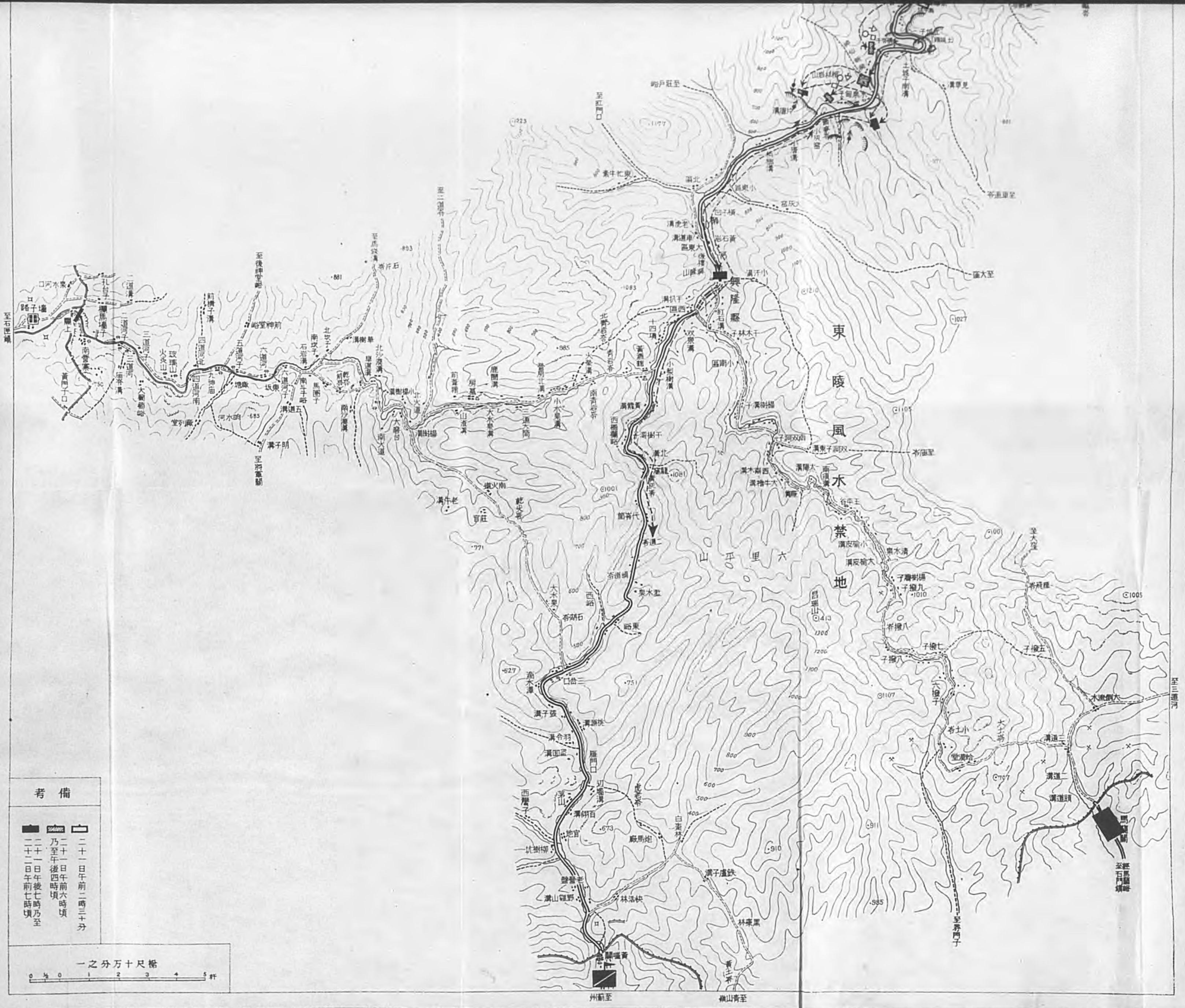
備考

■	二十六日午前六時乃至午前八時頃
▨	同日午後
□	二十七日午後九時以後
▩	二十八日午前三時乃至午前七時頃
○	同日午前八時乃至正午頃
○	同日午後一時以後

一、右翼隊方面物之長城南側ノ地盤ハ稍覆ナルヲ以テ
各隊ノ圖上位置ハ將來修正ノ要アリ

一之分万二尺梯

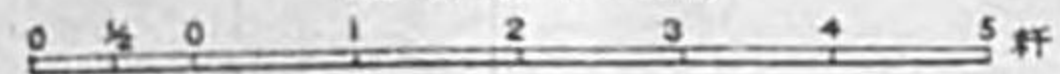
0 300 1000 1500 米



考 備

- 二十一日午前二時三十分
 乃至午後四時頃
- 二十一日午後七時頃
 乃至

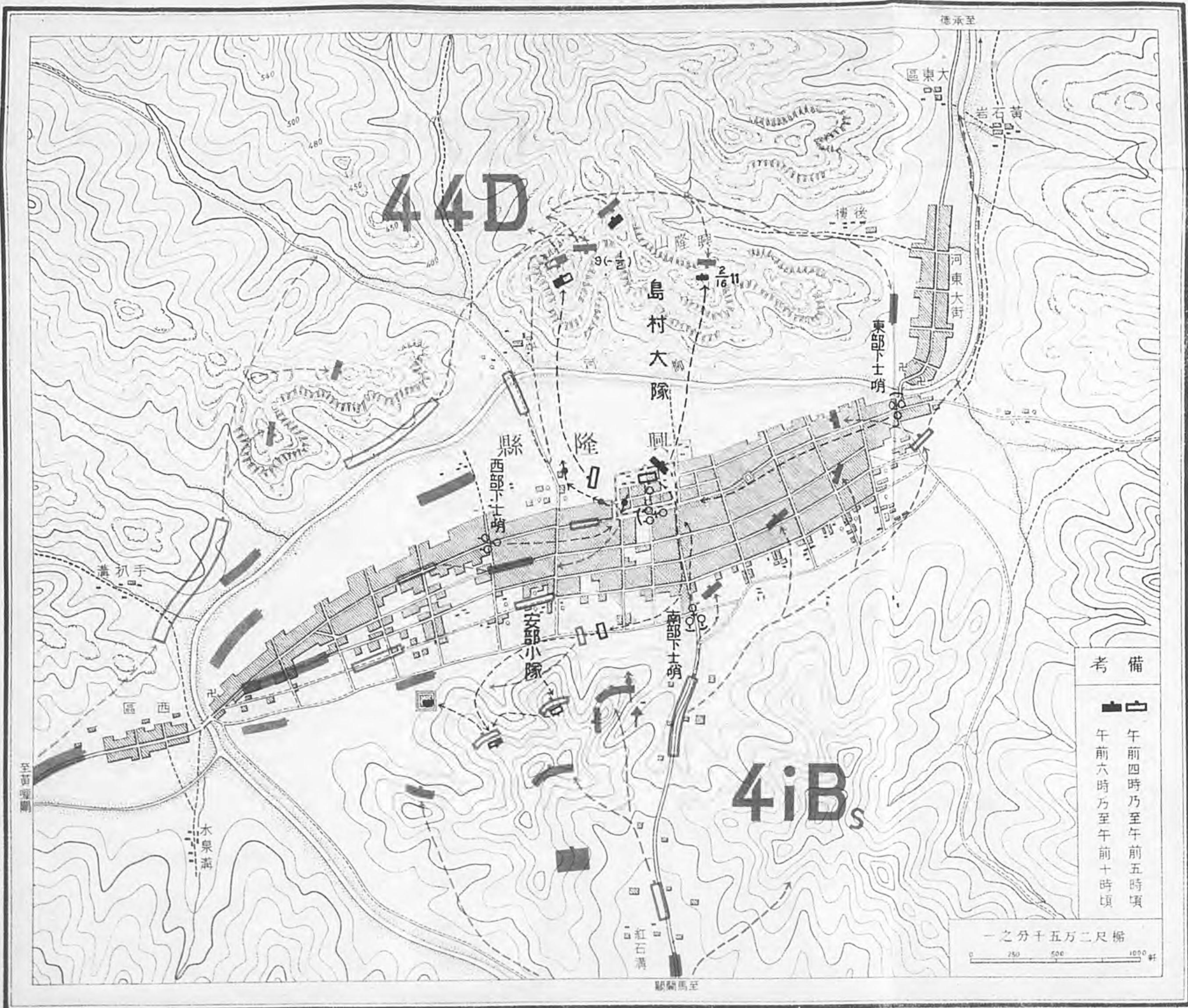
一之分万十尺格



興隆縣附近島村大隊戰鬥經過要圖一

昭和八年四月二十七日

附圖第四十七



考備



午前四時乃至午前五時頃
午前六時乃至午前十時頃

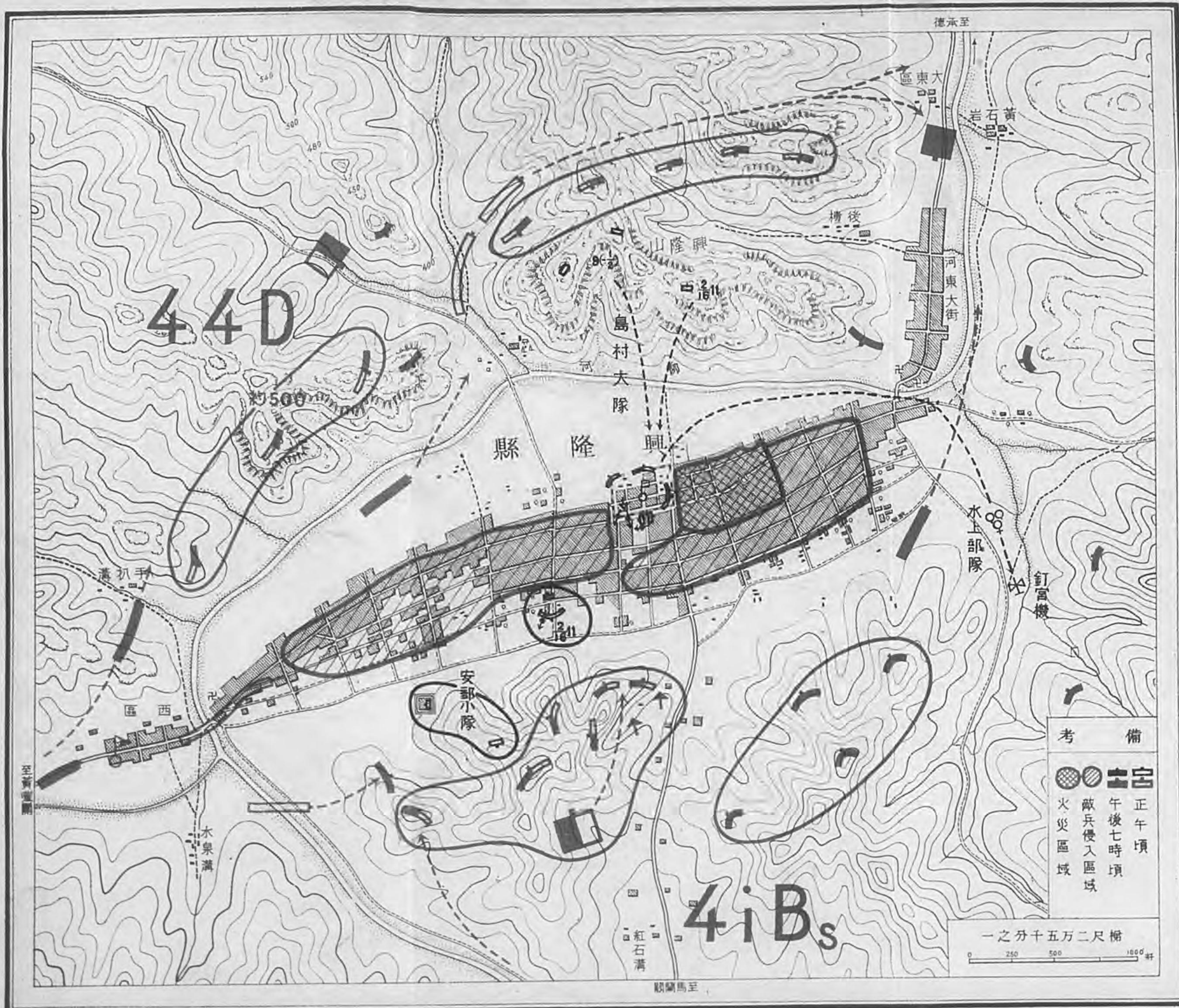
一之分千五万二尺梯

0 250 500 1000 米

興隆縣附近島村大隊戰經過要圖二

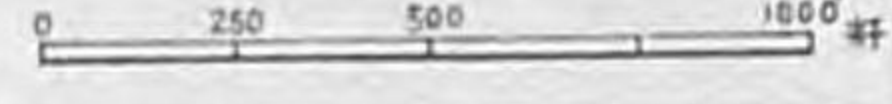
昭和八年四月二十七日午後

附圖第四十八



考 備	
	正午頃
	午後七時頃
	敵兵侵入區域
	火災區域

一之分十五万二尺櫛

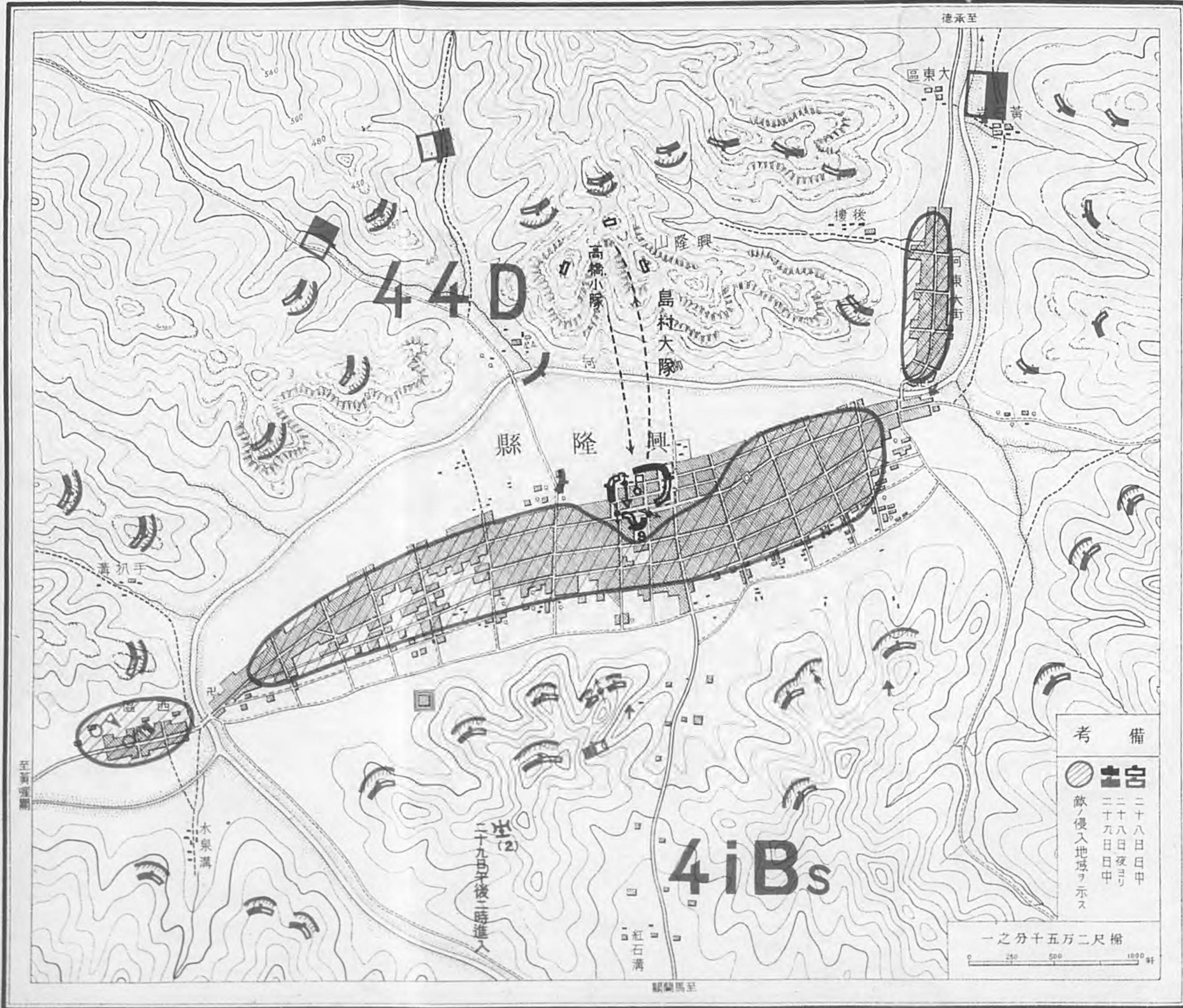


順關馬至

興隆縣附近島村大隊戰鬥經過要圖其三

昭和八年四月二十八日九日

附圖第五十



興隆縣附近島村大隊戰鬥經過要圖其三

昭和八年四月二十八日二十九日

附圖第五十



興隆縣附近島村大隊及藤進中隊戰鬥經過要圖

昭和八年四月十三日至十九日





泰泉(彌手營)東南方約十五杆
 附近ニ在リテ活動中ナリシガ二十九日夜
 馬關方面ニ退却ス

考 備

三十日
 二十九日

一之分万十尺繪

VS 58

和

冊

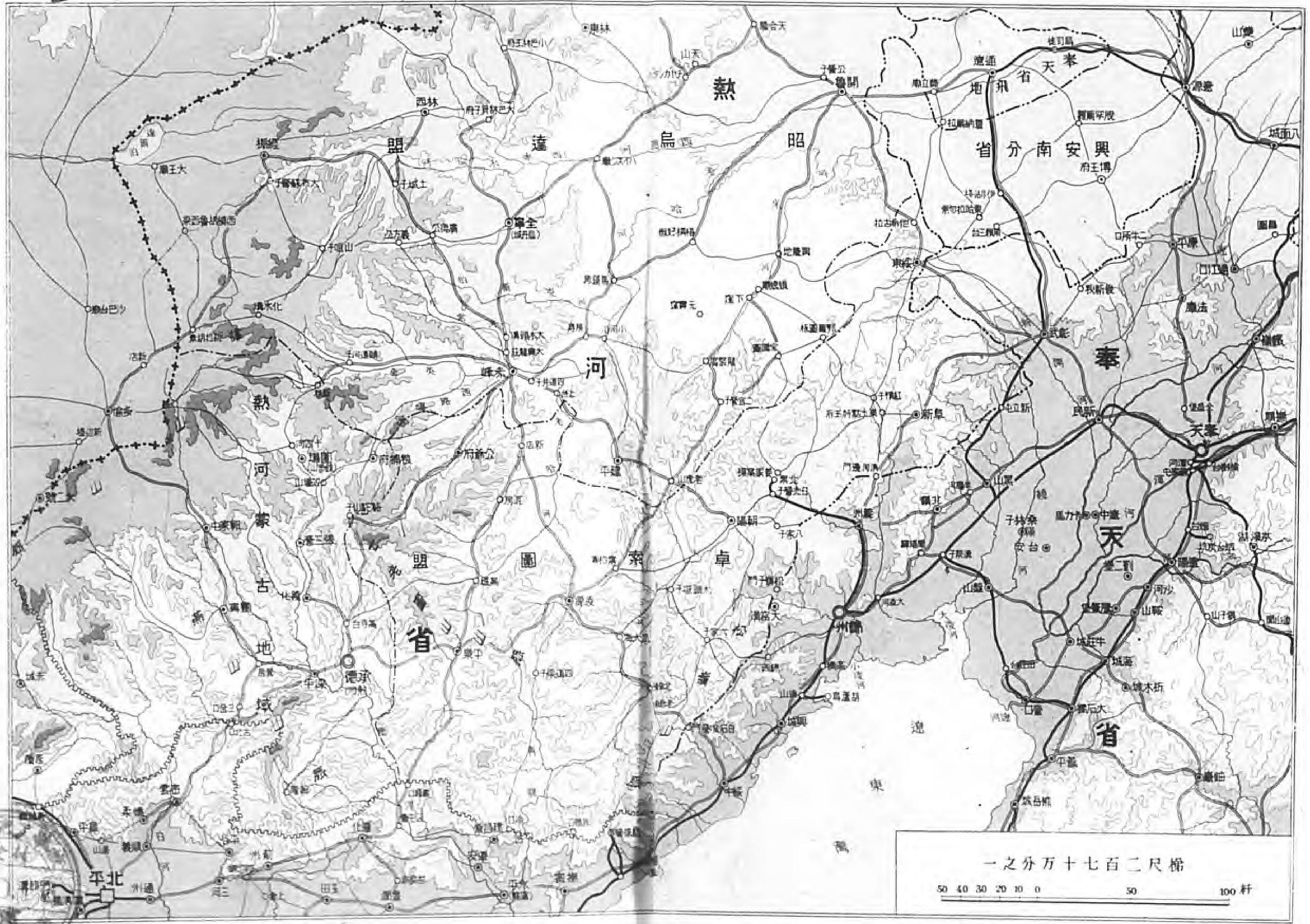
術

448

和歌集(卷之五) 和歌集(卷之五) 和歌集(卷之五)

和歌集(卷之五) 和歌集(卷之五) 和歌集(卷之五)

2558



一之分万七七百二尺梯
50 40 30 20 10 0 50 100 里

日本將校ノ外閱覽ヲ禁ス

昭和十五年二月二十九日調製

滿洲事變史第十四卷

熱河經略戰(中)萬里ノ長城附近ノ作戰(草案)

和戰術
448



參謀本部

熱河省方面ニ作戰セル關東軍將兵ハ氷雪ヲ冒シ險難ヲ

遼東軍勢大ニ衰テ

日本海軍大臣

昭和八年四月十五日

勅語

熱河省方面ニ作戰セル關東軍將兵ハ氷雪ヲ冒シ險難ヲ
踰エ長驅速ニ寡ヲ以テ衆ヲ破却シ克ク皇軍ノ威信ヲ中
外ニ宣揚セリ朕深ク其忠烈ヲ嘉ス惟フニ宇内ノ形勢ハ
頃刻モ苟且ヲ容サス汝將兵益々其力ヲ養ヒ朕カ信倚ニ對
ヘンコトヲ期セヨ

昭和八年四月十五日

滿洲事變史編纂ニ就テ

- 一 本戰史ハ滿洲事變ニ於ケル重要ナル事項ヲ網羅シテ其ノ真相ヲ敘述シ主トシテ一般將校ノ戰史研究及用兵竝ニ軍事政策ニ參畫スル者ノ鑑識ニ資ス
- 二 本戰史ハ取扱及研究ニ便ナラシムル如ク主要ナル事項毎ニ一括シテ記述シ逐次各卷ヲ分冊刊行スルモノヲ綜合スレバ完備セル滿洲事變史ヲ成ス如ク編纂ス從ツテ主題事項ヲ了解スルニ必要ナル事項ハ縱ヒ他ノ卷ニ詳記シアルモノト雖モ敢テ重複ヲ厭ハズ其ノ概要ヲ掲グ
- 三 教訓ハ編纂委員ノ作業ヲ輯録セルモノニシテ每卷必ズシモ之ヲ掲グズ
教訓ヲ掲グル場合ハ當該卷ノ末尾ニ合載スルモ簡單ナルモノニシテ本文中ニ記載スルヲ便宜ト認ムルモノハ「所見」トシテ本文中適宜ノ位置ニ附記ス
- 四 記述ノ要領ハ史實ノ重要度ニ從ヒ大イニ濃淡粗密アラシメ且簡明ヲ旨トス
- 五 命令、報告、聲明等ニシテ讀者ノ了解困難ナリト思惟スルモノハ意味ヲ害セザル範圍ニ於テ修正スルコトアリ
- 六 曆年ハ日本曆ニ據ル若シ其ノ他ノ曆ヲ必要トスルトキハ割註ニテ記ス而シテ昭和六年ハ支那曆民國二十年ニ當ル

七 時刻ハ當該地方ノ標準時ニ據ル即チ滿洲、京津及上海地方ハ日本西部標準時ヲ用ヒ其ノ正午ハ日本中央標準時ノ午後一時ニ當ル

滿洲事變史總目次



- 第一卷 滿洲事變作戰經過ノ概要(上)(附圖別冊)
- 第二卷 滿洲事變作戰經過ノ概要(下)(附圖別冊)
- 第八卷 滿洲ニ於ケル支那軍掃蕩戰(上)(附圖別冊)
附 武裝解除
滿洲ニ於ケル支那軍掃蕩戰(上)、附 武裝解除ヨリ得タル教訓
- 第十一卷 滿洲事變ニ於ケル匪賊討伐戰(上)(附圖別冊)
附 滿洲事變ニ於ケル匪賊討伐戰(上)ヨリ得タル教訓
- 第十三卷 熱河經略戰(上)熱河省内ニ於ケル支那軍掃蕩戰(草案)
- 第十四卷 熱河經略戰(中)萬里ノ長城附近ノ作戰(草案)(附圖別冊)
- 第十五卷 熱河經略戰(下)關內作戰(草案)
- 第十六卷 上海附近ノ會戰(上)陣地攻撃及追擊(附圖別冊)
附 上海事件ニ於ケル支那軍ノ行動
- 第十七卷 上海附近ノ會戰(下)上陸作戰
附 上海附近ノ會戰(下)上陸作戰ヨリ得タル教訓
- 第十八卷 滿洲事變ニ於ケル鐵道作戰(草案)

第十九卷 滿洲事變ニ於ケル飛行隊ノ行動(上)(附圖別冊)

第二十三卷 滿洲事變ニ於ケル動員編成(上)

附記 以上各卷ノ外ハ發刊ヲ中止ス

熱河經略戰(中) 萬里ノ長城附近ノ作戰(草案)

序言

一 本卷ハ關東軍ノ熱河經略戰中主トシテ萬里ノ長城主要關門附近ニ於ケル皇軍ノ作戰行動ニ就テ其ノ真相ヲ敘述シ以テ戰場ニ於ケル部隊ノ指揮、險峻ナル山地ノ攻防、夜間攻撃、陣內戰、陽攻竝ニ對支戰法等ヲ研究スルノ資ニ供セントスルモノナリ

二 本卷研究上特ニ注意スベキ諸件ヲ列舉セバ左ノ如シ

(イ) 關東軍ハ支那軍ニ比シ將兵ノ素質優良ニシテ其ノ裝備就中飛行機、戰車、火砲等ニ於テ絶對的ニ優勢ナリシモ兵數常ニ劣勢ナリシコト

(ロ) 關東軍ノ行動ハ後方諸機關ノ不備ト複雑ナル國際關係トニ掣肘セラレタルコト

(ハ) 支那軍ハ風土ニ慣レ地形ヲ熟知セルコト

(ニ) 戰場ハ山岳屹立セル廣大ナル山地帯ニシテ路外ノ交通極メテ不便ナルコト

(ホ) 關東軍ノ使用地圖ハ地貌、地物ヲ概示スルニ過ギザリシ爲作戰ノ大局上ノ指導ニハ利用シ得タルモ局地ノ戰鬪ニハ大ナル效果ナカリシコト

三 關東軍司令官ノ統帥ニ關シテハ本卷ニ直接關係アル事項ノミヲ輯録スルニ止ム

滿洲事變史第十四卷

熱河經略戰(中)萬里ノ長城附近ノ作戰(草案)目次

第一章 作戰地一般ノ地理及本作戰ニ推移スル迄ノ

熱河經略戰ノ大要……………一頁

第一節 作戰地一般ノ地理……………一

地形ノ大觀(一) 主要作戰路(二) 河川(三)

第二節 本作戰ニ移ル迄ノ熱河經略戰ノ大要……………二

三月四日ニ於ケル軍司令官ノ部署(三)

第二章 自三月上旬至同月下旬長城主要關門附近ノ戰鬪……………五

第一節 作戰經過ノ概要……………五

長山峪及古北口附近ノ戰鬪(五) 喜峰口關門ノ占領(六) 三月十一日ニ於ケル第八師團長及

軍司令官ノ處置(五) 喜峰口方面ノ戰況(六) 三月十三日ニ於ケル軍司令官ノ處置(六)

迎支隊ニ對スル第八師團長ノ處置(六) 界嶺口及義院口附近ノ戰鬪(七) 羅文峪附近ノ戰鬪

(七) 蕭家營子附近ノ戰鬪(八) 三月十八日ニ於ケル軍司令官ノ部署(八) 軍兵站部及飛

行隊ノ狀況(一)

第二節 古北口及長山峪方面第八師團主力ノ戰鬪

第一款 戰場ノ狀態並ニ氣象

戰場ノ狀態(二) 氣象(三)

第二款 長山峪附近ノ戰鬪黃土嶺、青石峯、十八盤、峯附近ノ戰鬪ヲ總稱ス

其ノ一 第八師團長ノ統帥

師團長ノ行動(二五) 軍參謀長ノ通報(二六) 川原旅團主力及騎兵隊派遣ノ命令(二五) 吉岡

參謀ノ報告(二六) 第一次増援命令(二七) 第二次増援命令(二八) 攻撃準備ニ關スル命令

(三〇)

其ノ二 黃土嶺及青石峯附近ノ戰鬪

甲 步兵第十六旅團主力出動前ノ狀況

長瀬部隊ノ出動(三三) 前衛司令官ノ決心(三三) 敵陣地攻撃ニ關スル先遣隊ノ部署(三四)

第一線ノ狀況(三四) 本道方面ノ狀況(三五)

乙 步兵第十六旅團主力ノ出動及戰場到着後ノ狀況

(イ) 步兵第十六旅團主力ノ出動

川原旅團長ノ部署(三六) 第一梯隊ノ狀況(三七) 第二梯隊ノ狀況(三八)

(ロ) 戰場到着後ノ狀況

1 三月七日ノ狀況

先遣隊ノ報告(三九) 夜間攻撃ニ關スル旅團長ノ部署(四〇) 第一線ノ狀況(四〇) 軍飛行隊ノ狀況(四〇)

2 三月八日ノ狀況

吉岡參謀ノ行動(四二) 步兵第十七聯隊ノ行動(四三) 步兵第三十二聯隊ノ行動(四三) 旅團長ノ指揮(四三) 九日ノ爲メ步兵第十七聯隊ノ攻撃部署(四四) 新井大隊ノ行動(四五) 軍飛行隊ノ行動(四五)

3 三月九日ノ狀況

步兵第三十二聯隊ノ兵力轉用(四六) 砲兵隊ノ行動(四七) 石山高地ノ奪取(四七) 旅團長ノ部署(四七) 戰果ノ擴張(四八) 追撃ニ關スル旅團命令(四九) 各部隊ノ追撃(四九) 軍飛行隊ノ行動(四九)

其ノ三 十八盤峯附近ノ戰鬪

戰鬪開始前ノ狀況(五三) 三月九日ノ前進部署(五四) 騎兵隊主力ノ先行(五四) 戰鬪開始(五五)

十八盤ノ占領及追撃(五五)

其ノ四 戰鬪ノ成績

第三款 古北口附近ノ戰鬪

其ノ一 第八師團長ノ統帥……………四五

川原旅團長ノ報告(四四) 羅文略、馬關關占領ニ關スル師團命令(四五) 師團長ノ古北口進出
及戰鬪指揮(四七) 川原旅團増援ニ關スル命令(四七) 師團長ノ承德歸還(四八)

其ノ二 戰鬪經過……………四八

甲 三月十日ノ狀況……………四八

(イ) 古北口關門方面ノ狀況……………四九

川原旅團ノ色樹灣門占領及爾後ノ追撃(四九) 古北口附近ノ敵ニ對スル旅團ノ攻撃命令(四九)

三七〇高地ノ占領(五三) 三七〇高地占領後ニ於ケル旅團長ノ部署(五四) 十一日攻撃ノ爲ノ
旅團長ノ部署(五五) 戰車隊ノ行動(五五) 軍飛行隊ノ行動(五六)

(ロ) 龍王裕口方面ノ狀況……………五六

騎兵隊ノ攻撃命令(五七) 各部隊ノ行動(五六) 十一日ノ爲ノ騎兵隊命令(五九)

乙 三月十一日ノ狀況……………六〇

(イ) 古北口關門方面ノ狀況……………六〇

十一日ニ於ケル旅團長ノ攻撃部署(六〇) 砲兵大隊長ノ部署(六三) 旅團主力方面午前ノ戰
況(六三) 戰車隊ノ行動(六三) 旅團主力方面午後ノ戰況(六三) 日沒時ニ於ケル旅團長ノ決
心(六三) 日沒後ノ旅團ノ行動(六三) 師團長及野砲兵聯隊長ノ行動(六四) 軍飛行隊ノ行動
(六四)

(ロ) 龍王裕口方面ノ狀況……………六四

砲兵及乘馬小隊ノ行動(六五)

丙 三月十二日ノ狀況……………六七

(イ) 古北口關門方面ノ狀況……………六七

十二日ノ爲ノ旅團命令(六七) 戰車隊ノ北門爆破(六七) 野砲兵聯隊長ノ到着(六七) 步
砲兵聯隊長ノ部署(六七) 攻撃開始(六七) 「ハート」砲復郭ノ占領(七一) 諸隊ノ追撃(七三)

古北口守備ニ關スル旅團長ノ部署(七三) 各部隊ノ行動(七三) 軍飛行隊ノ行動(七四)

(ロ) 龍王裕口方面ノ狀況……………七四

騎兵隊長ノ部署(七五) 守備ニ關スル騎兵隊長ノ部署(七五)

其ノ三 戰鬪ノ成績……………七六

第四款 戰鬪後ノ狀況……………七六

川原旅團ノ守備ニ關スル部署(七七)

第三節 喜峰口及鉄門關方面混成第十四旅團ノ戰鬪……………七八

第一款 戰場ノ狀態竝ニ氣象……………七八

戰場ノ狀態(七〇) 氣象(八一)

第二款 喜峰口及鉄門關ニ向フ混成第十四旅團ノ行動……………八一

無線電信ノ傍受(八二) 第八師團命令(八二) 軍飛行隊ヨリノ通報(八三) 旅團長ノ前進部署(八三) 松野尾先遣隊ノ行動(八四) 寬城北方地區ノ戦闘(八四) 九日ノ爲ノ旅團長ノ部署(八五) 米山先遣隊ノ行動(八五)

第三款 喜峰口附近ノ戦闘 八六

其ノ一 三月九日ノ狀況 八六

喜峰口ニ向フ先遣隊長ノ部署(八六) 乘馬討伐隊ノ行動(八七) 先遣隊長ノ第一關門攻撃部署(八七) 第一關門附近ノ戦闘(八七) 旅團長ノ指揮(八七)

其ノ二 三月十日ノ狀況 九一

先遣隊大行李ノ戦闘(八九) 第二關門ノ攻撃(八九) 砲兵大隊ノ行動(八九) 先遣隊長ノ部署(八九) 旅團長ノ部署(八九)

其ノ三 三月十一日ノ狀況 九五

先遣隊ノ行動(八九) 關門守備ニ關スル先遣隊長ノ部署(八九) 砲兵大隊長ノ部署(八九) 旅團長ノ指揮(八九)

其ノ四 三月十二日ノ狀況 九七

乘馬討伐隊ノ戦闘(九七) 步兵第二十六聯隊所屬歩兵砲及山砲隊ノ戰鬥(九七) 先遣隊長ノ行動(九八) 山砲兵中隊ノ奮戰(九八) 砲兵大隊長ノ部署(九九) 拂曉後ノ狀況(九九) 旅團長ノ部署(九九)

其ノ五 戦闘ノ成績 一〇三

第四款 董家口及鉄門関附近ノ戦闘 一〇四

其ノ一 董家口附近ノ戦闘 一〇四

米山先遣隊ノ行動(一〇四) 尖兵中隊ノ戦闘(一〇五) 先遣隊長ノ處置(一〇五) 戦闘ノ成績(一〇五)

其ノ二 鉄門関附近ノ戦闘 一〇六

米山先遣隊長ノ部署(一〇六) 第六中隊ノ戦闘(一〇七) 戦闘ノ成績(一〇七)

第五款 孤兒嶺(孩兒嶺)及胡家店附近ノ戦闘 一〇八

其ノ一 三月十二日ノ狀況 一〇八

喜峰口方面ノ狀況(一〇八) 旅團長ノ決心及處置(一〇九) 老家灣ノ占領(一〇九) 十三日ノ爲ノ旅團命令(一〇九) 老家灣附近ノ戦闘(一一〇) 飛行隊ノ行動(一一〇)

其ノ二 三月十三日ノ狀況 一一三

孤兒嶺方面ノ狀況(一一三) 胡家店方面ノ狀況(一一四) 軍飛行隊ノ行動(一一四) 戦闘ノ成績(一一四)

第六款 潘家口ノ攻略竝ニ其ノ以後ノ狀況 一一六

旅團長ノ企圖竝ニ増援隊ノ到着(一一六) 潘家口ノ攻略(一一七) 十八日以後ノ狀況(一一七)

第四節 羅文峪附近早川支隊ノ戦闘 一一八

第一款 戰場ノ状態並ニ氣象 一八

戰場ノ状態(一〇) 氣象(一一)

第二款 早川支隊ノ出動 一一〇

步兵第四旅團長ノ處置(一二) 早川支隊ノ裝備改編(一三) 早川支隊ノ承德出發(一三)

早川支隊ノ佛爺來ニ向フ前進(一三)

第三款 早川支隊戰場到着後ノ狀況 一二二

三月十六日ノ狀況(一三) 三月十七日ノ狀況(一三) 三月十八日ノ狀況(一三) 三月十九日ノ狀況(一三)

第四款 第八師團長及步兵第四旅團長ノ部署並ニ早川支隊ノ歸還 一三〇

第八師團長ノ部署(一三) 步兵第四旅團長ノ部署(一三) 早川支隊ノ歸還(一三)

第五款 戦闘ノ成績 一三三

第五節 界嶺口及義院口方面混成第三十三旅團ノ戦闘 一三四

第一款 戰場ノ状態並ニ氣象 一三四

戰場ノ状態(一四) 氣象(一五)

第二款 界嶺口及義院口ニ向フ混成第三十三旅團ノ行動 一三九

三月二、三日ノ狀況(一四) 三月四日ノ狀況(一四) 三月五日ヨリ同日迄ノ狀況(一四)

飛行隊ノ行動(一四六)

第三款 界嶺口附近ノ戦闘 一四六

其ノ一 第一次攻撃 一四六

甲 攻撃開始前ノ狀況 一四六

(イ) 三月十一日ノ狀況 一四六

小川混成中隊ノ戦闘(一四六) 先遣隊主力ノ行動(一四七) 旅團長ノ指揮(一四七) 神宮司部隊ノ行動(一四七)

(ロ) 自三月十二日 至同 十五日ノ狀況 一四八

先遣隊及神宮司部隊ノ狀況(一四八) 旅團長ノ部署(一四八) 攻撃準備ニ關スル旅團命令(一四九) 右翼隊ノ行動(一四九) 左翼隊ノ行動(一五〇) 砲兵隊ノ行動(一五〇) 義院口方面ニ第一中隊派遣(一六一) 長城攻撃ノ旅團命令(一六一) 各隊長ノ處置(一六一)

乙 攻撃實施 一六四

右翼隊一部ノ夜襲(一六四) 第一大隊ノ夜襲中止及轉進(一六五) 右翼隊主力ノ行動(一六五) 砲兵隊ノ行動(一六六) 右翼隊主力ノ長城占領(一六六) 左翼隊ノ行動(一六七) 追撃ニ關スル旅團長ノ指揮(一六八) 右翼隊ノ追撃(一六八) 左翼隊ノ追撃(一六九) 砲兵隊ノ追撃(一七〇) 關門守備ニ關スル旅團命令(一七〇) 岡村支隊ノ行動(一七一) 人見支隊ノ行動(一七一) 砲兵隊ノ行動(一七二) 軍飛行隊ノ行動(一七三)

丙 戦闘ノ成績 一七三

其ノ二 自三月十七日 界嶺口附近ニ於ケル防禦戦闘 一七四
 至同二十一日 三月十七日ノ状況(二七四) 三月十八日ノ状況(二七五) 三月十九日ノ状況(二七六) 三月二十日ノ状況(二七七) 三月二十一日ノ状況(二七八) 戦闘ノ成績(二八〇)

其ノ三 第二次攻撃 一八〇

甲 攻撃準備 一八〇

攻撃準備ニ關スル旅團長ノ部署(二八〇) 攻撃實施ニ關スル旅團命令(二八六) 右翼隊ノ行動(二八九) 中央隊ノ行動(二九〇) 左翼隊ノ行動(二九三) 砲兵隊ノ行動(二九四) 軍飛行隊ノ行動(二九六)

乙 攻撃實施 一九七

攻撃開始(二九七) 第三、第四望樓ノ攻略(二九七) 第十九、中、右ノ各堆土ノ占領(二九九) 飛行隊ノ状況(二九九) 左翼隊ノ行動(二九九) 戦果擴張時ニ於ケル旅團長ノ行動(二九九) 右翼隊方面ノ戦果擴張(三〇〇) 中央隊方面ノ戦果擴張(三〇〇) 左翼隊方面ノ戦果擴張(三〇二) 戦果擴張ニ於ケル砲兵隊ノ行動(三〇三) 飛行隊ノ行動(三〇三)

丙 長城線ヘノ歸還竝ニ戦闘ノ成績 二〇三

長城線ヘノ歸還(三〇三) 戦闘ノ成績(三〇三)

第四款 義院口附近ノ戦闘 二〇五

山神廟附近ノ戦闘(三〇五) 第十七望樓附近ノ戦闘(三〇六) 神宮司支隊ノ編成(三〇七) 義院口關門ノ占領(三〇七) 戦闘ノ成績(三〇八)

第五款 戦闘後ノ状況 二〇八

界嶺口方面ノ状況(三〇八) 義院口方面ノ状況(三〇九)

第六節 蕭家營子附近迎支隊ノ戦闘 二一〇

第一款 戰場ノ状態竝ニ氣象 二一〇

戰場ノ状態(二一〇) 氣象(二一一)

第二款 冷口ニ向フ迎支隊ノ行動 二一一

迎支隊ノ編成竝ニ赤峰出發(二一一) 迎支隊主力ノ平泉到着(二一二) 騎兵聯隊ノ状況(二一二)

第三款 蕭家營子附近ノ戦闘 二一三

其ノ一 三月二十一日ノ状況 二一三

大石門附近ノ戦闘(二一三) 二十二日ノ爲メ支隊長ノ部署(二一五)

其ノ二 三月二十二日ノ状況 二一五

甲 支隊主力方面ノ状況 二一六

蕭家營子ニ向フ支隊ノ行動(二一六) 攻撃ニ關スル支隊命令(二一六) 攻撃開始(二一七) 右第一線方面ノ状況(二一七) 左第一線方面ノ状況(二一八) 支隊長ノ指揮(二一九)

乙 騎兵聯隊方面ノ狀況 二二三

八道河附近ノ戦闘(三三三)

其ノ三 三月二十三日ノ狀況 二三四

第二大隊ノ三角山ノ攻撃(三四四) 高力溝附近ノ戦闘(三五五) 支隊長ノ指揮(三五六) 軍飛行
隊ノ行動(三五六)

第四款 戦闘後ノ狀況並ニ戦闘ノ成績 二二六

戦闘後ノ狀況(三五六) 戦闘ノ成績(三五六)

第三章 自三月下旬 至四月中旬 瀾東地區ノ支那軍膺懲戰 二二九

第一節 作戰經過ノ概要 二二九

軍司令官ノ部署(三三七) 獨立守備隊司令官、第六、第八師團長ノ部署ノ概要(三三二) 石門砦附
近ノ戦闘(三三二) 瀾東地區ノ作戰ニ關スル軍司令官ノ意圖(三三三) 冷口附近ノ戦闘(三三三)
第八師團長隷下及指揮下部隊ノ戦闘(三三三) 追撃ニ關スル軍司令官ノ部署(三三三) 瀾東地區
ニ於ケル各部隊ノ追撃(三三四) 追撃末期ニ於ケル軍司令官ノ部署(三三五) 長城線ヘノ復歸
(三三七) 軍飛行隊ノ行動(三三七) 川原旅團方面ノ狀況(三三七)

第二節 石門砦方面岩田支隊ノ戦闘 二三七

第一款 戰場ノ狀態並ニ氣象 二三七

戰場ノ狀態(三三七) 氣象(三三七)

第二款 戦闘開始前ノ狀況 二三九

石門砦攻略ニ關スル研究(三三九) 石門砦白領ニ關スル獨立守備隊命令(三四〇) 遼西地區ノ彼
我ノ狀況(三四二) 石門砦附近攻撃計畫(三四三) 岩田支隊長ノ部署(三四九) 軍飛行隊ノ狀況
(三四〇) 前進陣地攻撃ニ關スル部署(三五二) 義院口部隊ノ狀況(三五三)

第三款 石門砦附近ノ戦闘 二五三

其ノ一 三月三十一日ノ狀況 二五三

甲 支隊主力方面ノ狀況 附軍飛行隊ノ行動 二五三

沙河寨附近敵前進陣地ノ攻略(三五五) 下花冶莊東方高地ノ戦闘(三五五) 靖安軍ノ狀況(三五六)
軍飛行隊ノ狀況(三五六) 主陣地ニ對スル攻撃命令(三五六) 砂川、赤城部隊及砲兵隊ノ攻撃準
備(三五九) 軍飛行隊ノ狀況(三五九)

乙 義院口部隊方面ノ狀況 二六二

一日ノ爲メノ神宮司中佐ノ部署(二六三)

其ノ二 四月一日ノ狀況 二六三

甲 支隊主力方面ノ狀況 二六三

攻撃開始(二六三) 砂川部隊方面ノ狀況(二六五) 赤城部隊方面ノ狀況(二六五) 支隊長ノ指揮
(二六六) 軍飛行隊ノ狀況(二六六)

乙 義院口部隊方面ノ状況 二六八

第一中隊ノ長城附近攻略(二六八) 第六中隊ノ行動(二六九) 第二大隊ノ行動(二六九) 追撃

(二七二)

第四款 戦闘後ノ状況並ニ戦闘ノ成績 二七〇

戦闘後ノ状況(二七〇) 戦闘ノ成績(二七〇)

第三節 冷口方面第六師團ノ戦闘 二七一

第一款 戰場ノ状態並ニ氣象 二七一

戰場ノ状態(二七一) 氣象(二七四)

第二款 第六師團主力ノ冷口方面ヘノ轉進並ニ第八師團長及混成兩旅團長ノ部署 二七五

迎支隊方面ノ状況(二七五) 冷口ニ向フ第六師團命令(二七五) 第六師團主力ノ平泉ニ向フ前進

(二七七) 攻撃準備ニ關スル師團命令(二七七) 師團司令部ノ下打虎店到着(二七七) 松田部隊、

野砲兵聯隊等ノ状況(二七八) 第六師團各部隊ノ戰場到着時日、地點(二七八) 第八師團長ノ部

署(二八〇) 混成兩旅團長ノ部署(二八〇)

第三款 冷口、白半峪及北劉家口附近ノ戦闘 二八〇

其ノ一 攻撃準備 二八〇

甲 第六師團長ノ指揮 二八〇

集結ニ關スル師團長ノ部署(二八二) 冷口攻撃ニ關スル師團命令(二八二)

乙 松田部隊ノ行動 二八七

松田少將ノ部署(二八七) 前衛司令官ノ部署(二八八) 前進部隊ノ獨斷攻撃(二八九)

丙 高田部隊ノ行動 二九〇

高田少將ノ部署(二九〇) 砲兵隊トノ協定(二九二)

丁 宮寄支隊ノ行動 二九四

宮寄少佐ノ部署(二九四) 敵警戒陣地ニ對スル獨斷攻撃(二九四) 第七中隊ノ戦闘(二九五) 長

城ニ對スル攻撃準備(二九六)

戊 軍飛行隊ノ行動 二九七

三月三十一日ヨリ四月五日迄ノ行動(二九七) 軍飛行隊長ノ部署(二九七)

其ノ二 攻撃實施 二九八

甲 四月九日夜ノ状況 二九八

(イ) 松田部隊ノ状況 二九八

稻村少佐ノ部署(二九八) 四撥子西北方高地ノ戦闘(二九九) 五撥子東北方高地ノ夜襲(二九九)

稻村少佐及前衛司令官ノ指揮(三〇〇) 賀谷中隊ノ行動(三〇〇) 古谷支隊及鹽見乘馬討伐隊ノ

行動(三〇一) 本隊及旅團長ノ行動(三〇一)

(ロ) 高田部隊ノ状況 三〇一

五九一高地ノ夜襲(三〇二) 高田部隊主力ノ狀況(三〇四)

(ハ) 宮寄部隊ノ狀況 三〇四

北劉家口夜襲ニ關スル支隊長ノ部署(三〇五) 第一次突撃(三〇七) 第二次突撃(三〇八) 夜襲
中止(三〇八) 第七中隊ノ行動(三〇八)

乙 四月十日ノ狀況 三〇九

(イ) 師團主力方面ノ狀況 三〇九

1 攻撃開始ヨリ日沒時頃迄ノ狀況 三〇九

天明時ノ狀況(三〇九) 高田少將ノ指揮(三〇九) 志道部隊ノ狀況(三一〇) 砲兵隊ノ奮戰(三一〇)

志道部隊ノ攻撃部署(三一〇) 志道部隊ノ攻撃開始(三一〇) 甲斐崎小隊ノ突撃(三一三) 飯田
大隊主力ノ突撃(三一三) 志道大佐ノ決心(三一三) 迎部隊ノ攻撃部署(三一三) 砲兵隊ノ協
力(三一三) 池田大隊ノ攻撃(三一三) 秋山望樓ノ占領(三一四) 池田大隊ノ戰果擴張(三一四)

兩側ニ行動セル部隊ノ行動概要(三一五) 右側支隊ノ行動(三一五) 中央隊及朝井部隊ノ行
動(三一六) 左側支隊ノ行動(三一六)

2 日沒後ヨリ夜半ニ至ル迄ノ狀況 三一六

高田少將ノ部署(三一七) 志道部隊ノ狀況(三一八) 迎部隊ノ狀況(三一八) 本道方面ノ諸隊ノ
狀況(三一八) 左側支隊ノ狀況(三一八)

(ロ) 松田部隊方面ノ狀況 三二〇

1 攻撃開始ヨリ日沒頃迄ノ狀況 三二〇

白半峪攻撃ニ關スル旅團命令(三二〇) 右翼隊方面ノ狀況(三二一) 左翼隊ノ狀況(三二一) 古
谷支隊及塩見乘馬討伐隊ノ行動(三二六)

2 日沒頃ヨリ夜半ニ至ル迄ノ狀況 三二七

追撃ニ關スル旅團命令(三二七) 旅團ノ兵力集結(三二九)

(ハ) 宮寄支隊方面及軍飛行隊ノ狀況 三三〇

宮寄支隊方面ノ狀況(三三〇) 軍飛行隊ノ狀況(三三〇)

丙 四月十一日ノ狀況 三三一

(イ) 午前ノ狀況 三三一

天明時ニ至ル迄ノ高田部隊第一線ノ狀況(三三一) 師團長ノ指揮(三三一) 高田部隊ノ狀況
(三三一) 松田部隊ノ狀況(三三一) 宮寄支隊方面ノ狀況(三三一)

(ロ) 午後ノ狀況 三三五

師團長ノ指揮(三三五) 松田部隊ノ行動(三三五) 高田部隊ノ行動(三三七) 宮寄支隊及笠支隊
ノ行動(三三七) 軍飛行隊ノ行動(三三七)

丁 戦闘ノ成績 三三九

第四節 古北口、喜峰口及界嶺口方面第八師團長隸下

(指揮下)部隊ノ戦闘

第一款 第八師團ノ陽攻

其ノ一 陽攻實施前ノ狀況

冷口攻撃協力ノ爲ノ第八師團命令(三四〇) 混成第十四旅團長ノ部署(三四二) 混成第三十三旅團長ノ部署(三四三) 陽攻ニ關スル師團長ノ部署(三四三)

其ノ二 川原旅團ノ狀況

旅團長ノ部署(三四三) 師團長ノ古北口進出(三四四) 陽攻實施(三四四) 師團長ノ承德歸還(三四五)

其ノ三 混成旅團ノ狀況

第二款 長城攻撃ニ關スル師團長ノ指揮

積極的協力ニ關スル師團命令(三四七) 追撃ニ關スル師團命令(三四八)

第三款 灤陽城附近混成第十四旅團ノ戦闘

其ノ一 戰場ノ地形竝ニ氣象

戰場ノ地形(三四九) 氣象(三四九)

其ノ二 攻撃準備

陽攻ヨリ陣地攻撃ヘノ轉移(三四九) 攻撃ノ爲ノ旅團命令(三四九) 各部隊ノ攻撃準備(三四九)

右翼隊ノ部署(三五三) 左翼隊ノ部署(三五三) 砲兵隊ノ射撃計畫及準備(三五五) 戰車小隊ノ部署(三五五) 迂回隊ノ行動(三五七) 旅團長ノ部署(三五七) 師團長ノ部署(三五七)

其ノ三 攻撃實施

甲 四月十二日ノ狀況

(イ) 夜半頃ヨリ午後四時頃迄ノ狀況

攻撃開始(三五七) 右翼隊方面ノ狀況(三五八) 左翼隊方面ノ狀況(三五九) 本道及本道東側地區ノ戦闘(三六三) 砲兵隊ノ狀況(三六三) 迂回隊ノ狀況(三六三)

(ロ) 午後四時頃ヨリ夜半ニ至ル迄ノ狀況

受益店東側高地ノ戦闘(三六三) 日没時ニ於ケル旅團長ノ部署(三六四) 第一線ノ狀況(三六四) 迂回隊ノ狀況(三六五) 飛行第一中隊ノ狀況(三六五)

乙 四月十三日ノ狀況

旅團長ノ部署(三六五) 各部隊ノ行動(三六六) 日没時ニ於ケル旅團長ノ部署(三六六)

其ノ四 戦闘ノ成績

第四款 界嶺口附近混成第三十三旅團ノ戦闘

其ノ一 第三次攻撃前ノ狀況

一般ノ狀況(三七〇) 第八師團命令(三七〇) 旅團長ノ部署(三七二) 敵情竝ニ糧秣彈藥ノ補充(三七七) 宮督支隊ノ派遣竝ニ陽攻ニ關スル旅團長ノ部署(三七七)

其ノ二 第三次攻撃 三七三

甲 攻撃準備 附戰場ノ状態
並ニ氣象 三七三

 矢野參謀ノ狀況判断(三六三) 攻撃ニ關スル師、旅團命令(三七四) 右翼隊ノ攻撃準備(三七六)

 左翼隊ノ攻撃準備(三七七) 砲兵隊ノ攻撃準備(三七〇) 戰場ノ状態並ニ氣象(三八〇)

乙 攻撃實施 三八一

 (イ) 四月十日ノ狀況 三八一

 諸隊ノ行動開始(三八二) 右翼隊方面ノ狀況(三八三) 左翼隊方面ノ狀況(三八五) 日没時ニ於
 ケル旅團長ノ指揮(三八〇) 軍飛行隊ノ狀況(三八九)

 (ロ) 四月十一日ノ狀況 三八九

 六九五高地附近ノ戦闘(三八九) 一本松高地ノ攻略(三九〇) 右翼隊、右側掩護隊及砲兵隊ノ狀
 況(三九二) 十二日ノ爲メ旅團命令(三九三) 軍飛行隊ノ狀況(三九五)

 (ハ) 四月十二日ノ狀況 三九三

 三八五及岩山高地ノ戦闘(三九三) 三八二高地ノ攻撃(三九五) 斷崖高地ノ攻撃(三九六) 十
 二日夜ニ於ケル旅團長ノ部署(三九七)

 (ニ) 四月十三日ノ狀況 三九八

 一般ノ狀況(三九九) 旅團長ノ追撃指揮(三九九) 混成大隊ノ狀況(三九九) 旅團主力ノ狀況
 (三九九) 軍飛行隊ノ狀況(四〇〇)

丙 戦闘ノ成績

四〇〇

第五節 溧東地區ニ於ケル掃蕩戰

四〇一

第一款 第六師團ノ行動 附早川支隊
ノ行動

四〇一

其ノ一 四月十二日ノ狀況

四〇一

其ノ二 四月十三、十四日ノ狀況

四〇三

甲 師團全般ノ狀況

四〇三

乙 燕河營附近ノ戦闘

四〇六

(イ) 戰場ノ状態並ニ氣象

四〇六

(ロ) 戦闘ノ實施

四〇七

1 四月十三日ノ狀況

四〇七

宮寄部隊ノ狀況(四〇七) 中蘭支隊主力ノ狀況(四〇九) 四一

2 四月十四日ノ狀況 四一一

宮寄部隊ノ狀況(四二二) 中蘭支隊主力ノ狀況(四二二) 早川支隊ノ行動(四二四) 四一

(ハ) 戦闘後ノ狀況並ニ戦闘ノ成績 四一六

戦闘後ノ狀況(四二六) 戦闘ノ成績(四二六) 四一六

其ノ三 自四月十五日 至同 十八日 狀況 四一七

四月十五日ノ狀況(四二七) 四月十六日ノ狀況(四二八) 四月十七日ノ狀況(四二九) 四月十八日ノ狀況(四三〇) 四一七

日ノ狀況(四三〇) 四一七

第二款 混成第三十三旅團及混成第十四旅團ノ行動 附砂川部隊ノ行動 四二〇

其ノ一 混成第三十三旅團ノ行動 四二〇

四月十三日ノ狀況(四三〇) 四月十四、十五日ノ狀況(四三一) 四月十六日ノ狀況(四三二) 砂川部隊ノ行動(四三三) 四二〇

其ノ二 混成第十四旅團ノ行動 四二三

一般ノ狀況(四三三) 古谷支隊ノ行動(四三三) 團汀莊附近ノ戦闘(四三四) 四二三

第六節 長城線へノ復歸 四二七

第六師團ノ行動(四三三) 第八師團長ノ處置(四三三) 混成第十四旅團ノ行動(四三三) 勅語下賜(四三三) 四二七

第四章 南天門及興隆縣方面第八師團ノ戦闘

第一節 作戰經過ノ概要

作戰開始前ノ狀況(四三五) 師團長ノ部署(四三五) 南天門附近ノ戦闘(四三六) 軍司令官ノ部署(四三六) 軍命令ニ基ク師團長ノ部署(四三六) 興隆縣附近ノ戦闘(四三六) 戦闘後ノ狀況(四三九) 軍飛行隊ノ行動(四三九) 四三五

第二節 南天門附近ノ戦闘

第一款 戰場ノ状態並ニ氣象 四三九

戰場ノ状態(四三九) 氣象(四三九) 四三九

第二款 攻撃準備 四四一

其ノ一 第八師團長ノ指揮 四四一

攻撃開始前ノ古北口方面ノ狀況(四四二) 軍參謀長ノ通牒(四四三) 南天門攻撃ノ爲ノ師團命令(四四二) 戦闘司令所ヲ古北口ニ進ム(四四二) 四四一

其ノ二 川原旅團、坪島部隊及軍飛行隊ノ狀況 四四五

四月中旬頃ニ於ケル川原旅團長ノ部署(四四五) 四月十九日ニ於ケル川原旅團長ノ部署(四五一) 四月二十日ニ於ケル川原旅團長ノ部署(四五二) 右翼隊ノ狀況(四五三) 左翼隊ノ狀況(四五六) 砲兵隊ノ狀況(四五六) 飛行第一中隊ノ狀況(四五六) 坪島部隊ノ狀況(四五七) 軍飛行隊ノ狀況(四五七) 四四五

第三款 攻撃實施 四六一

其ノ一 四月二十一日ノ狀況 四六一

甲 師團長ノ指揮 四六一

乙 川原旅團ノ狀況 四六二

右翼隊ノ展開(四六二) 砲兵隊ノ準備(四六三) 三ツ望樓ニ對スル砲撃開始(四六三) 相田大隊ノ奮戦(四六三) 三ツ望樓ニ對スル突撃(四六五) 第一、第二望樓ノ占領(四六五) 砲兵隊長ノ指揮(四六五) 第三望樓ノ占領(四六五) 瓦田大隊ノ狀況(四六六) 左翼隊方面ノ狀況(四六六) 迂回隊ノ狀況(四六七) 夕刻ニ於ケル旅團長ノ決心(四六七) 日没後ノ狀況(四六八) 飛行隊ノ狀況(四六八)

其ノ二 四月二十二日ノ狀況 四六八

甲 師團長ノ指揮 四六八

飛行第一中隊ニ與フル命令(四六九)

乙 川原旅團ノ狀況 四六九

右翼隊ノ狀況(四六九) 左翼隊ノ狀況(四七〇) 飛行第一中隊ノ狀況(四七〇) 日没時ニ於ケル旅團長ノ決心(四七〇) 右翼隊長ノ部署(四七一) 左翼隊長ノ部署(四七一) 日没後ノ狀況(四七三)

其ノ三 四月二十三日ノ狀況 四七三

甲 師團長ノ指揮 四七三

兵力増加ニ關スル師團長ノ部署(四七三) 増援隊ノ到着(四七四) 混成第十四旅團長ノ通報(四七四)

乙 川原旅團ノ狀況 四七四

右翼隊第一大隊長ノ攻撃部署(四七四) 右翼隊第一大隊ノ攻撃(四七五) 池上少尉ノ奮戦(四七五) 右翼隊第二大隊ノ狀況(四七五) 左翼隊新井大隊ノ夜間攻撃(四七六) 午前十時頃ノ旅團長ノ決心(四七七) 旅團命令ニ基ク左右兩翼隊長及砲兵隊長ノ部署(四七八) 第七號高地ノ攻撃(四七八) 菅原小隊方面ノ狀況(四七八) 日没時ニ於ケル旅團長ノ決心(四七九) 左翼隊長ノ部署(四八〇) 飛行第一中隊ノ狀況(四八二) 軍飛行隊ノ狀況(四八二)

其ノ四 四月二十四日ノ狀況 四八二

甲 師團長ノ指揮 四八二

軍司令官ニ對スル意見具申(四八二)

乙 川原旅團ノ狀況 四八二

右翼隊ノ狀況(四八二) 天明前ニ於ケル左翼隊ノ狀況(四八三) 砲撃ト砲、飛ノ協同(四八三) 左翼隊第一大隊ノ狀況(四八三) 左翼隊長ノ決心(四八三) 海鼠山ニ對スル攻撃開始(四八四) 海鼠山ノ占領(四八四) 日没時ニ於ケル旅團長ノ決心(四八五) 日没後ノ狀況(四八五) 飛行隊ノ狀況(四八六)

其ノ五 四月二十五日ノ狀況 四八六

一般ノ狀況(四六六) 攻撃計畫ノ變更(四六六) 飛行隊ノ狀況(四九三)

其ノ六 四月二十六日ノ狀況 四九二

甲 師團長ノ指揮 四九二

 一般ノ狀況(四九三) 軍司令官ノ決心(四九三) 軍命令ニ基テ師團長ノ部署(四九三)

乙 川原旅團及飛行隊ノ狀況 四九三

 第八號高地攻略ノ爲メノ部署(四九三) 第八號高地ニ對スル攻撃開始(四九四) 第二中隊ノ奮戰(四九四)

 新井大隊長ノ決心(四九五) 第九號高地ノ占領(四九五) 敵ノ逆襲(四九五) 爾餘ノ正面ノ狀況(四九六)

 日没時ニ於ケル旅團長ノ部署(四九六) 東矢大隊主力ノ到着(四九六) 飛行隊ノ狀況(四九六)

其ノ七 四月二十七日ノ狀況 四九七

甲 師團長ノ指揮 四九七

 島村大隊方面ニ對スル部署(四九七)

乙 川原旅團及飛行隊ノ狀況 四九八

 二十八日ノ爲メ旅團命令(四九八) 左翼隊攻撃準備ノ狀況(四九八) 砲兵隊攻撃準備ノ狀況(四九八)

 東矢大隊ノ出發(四九九) 飛行隊ノ狀況(四九九)

其ノ八 四月二十八日ノ狀況 五〇五

 東矢大隊ノ夜間攻撃(五〇五) 第十七號高地ノ占領(五〇五) 戰果ノ擴張(五〇五) 天明後ニ於ケル狀況(五〇六)

 師團長ノ指揮(五〇七) 旅團長ノ指揮(五〇八) 高場參謀ノ處置(五〇九) 飛行隊ノ狀況(五〇九)

行隊ノ狀況(五〇九)

第四款 戰鬪後ノ狀況並ニ戰鬪ノ成績 五〇九

 戰鬪後ノ狀況(五〇九) 戰鬪ノ成績(五一〇)

第三節 興隆縣附近ノ戰鬪 五一〇

第一款 戰場ノ狀態並ニ氣象 五一〇

 戰場ノ狀態(五一〇) 氣象(五一三)

第二款 戰鬪前ノ狀況 五一三

 其ノ一 島村大隊ノ出動 五一三

 出動前ノ概況(五一三) 興隆縣ニ向フ島村少佐ノ前進部署(五一四) 島村大隊ノ編成裝備(五一五)

 島村大隊ノ出發(五一五) 土城子附近ノ攻撃(五一六) 偽麥嶺附近ノ戰鬪(五一六)

 其ノ二 島村大隊興隆縣到着後ノ狀況 五一七

 島村大隊ノ狀況(五一七) 大隊長ノ決心(五一七) 鷺田中尉ノ部署(五一八) 河野參謀ノ處置(五一八)

 師團長ノ部署(五一八)

第三款 戰鬪ノ實施 五一九

 其ノ一 四月二十七日ノ狀況 五一九

 甲 島村大隊方面及飛行隊ノ狀況 五一九

 敵ノ襲來(五一九) 敵襲ニ應ズル大隊長ノ部署(五一九) 東部及南部下士哨ノ狀況(五二〇)

第九中隊ノ行動(五三〇) 安倍小隊ノ奮戦(五三二) 大隊長ノ處置(五三三) 午前十時頃ニ於ケル彼我ノ状況(五三三) 正午頃ニ於ケル敵情(五三三) 安倍小隊ノ歸還(五三三) 飛行隊ノ活躍(五三四) 釘宮機ノ遭難(五三四) 日没時ニ於ケル大隊長ノ決心(五三五) 日没後ノ状況(五三六) 降服勸告文(五三六) 飛行隊ノ状況(五三七)

乙 師團長ノ指揮 五二七

飛行隊及第一次増援隊ノ派遣(五三七) 岩河口守備隊ノ状況(五三八)

其ノ二 四月二十八日ノ状況 五二八

甲 島村大隊方面及飛行隊ノ状況 五二八

二十七日後半夜ノ状況(五二八) 市街北側高地ノ占領(五二九) 第八師團司令部ヨリノ状況通報(五二九) 飛行隊協力ノ状況(五二九) 日没時ニ於ケル大隊長ノ決心(五三〇) 日没後ノ状況(五三〇) 飛行隊ノ状況(五三一)

乙 師團長ノ指揮並ニ増援隊ノ行動 五三一

第二次増援隊ノ派遣(五三一) 増援隊ノ行動(五三三)

其ノ三 四月二十九日ノ状況 五三二

島村大隊方面ノ状況(五三二) 師團長ノ指揮(五三四) 増援隊ノ行動(五三五)

其ノ四 四月三十日ノ状況 五三六

島村大隊方面ノ状況(五三六) 師團長ノ指揮(五三七) 増援隊ノ行動(五三七) 飛行隊ノ状況

(五三七)

第四款 戦闘後ノ状況並ニ戦闘ノ成績 五三八

戦闘後ノ状況(五三八) 戦闘ノ成績(五三八)

滿洲事變史第十四卷

熱河經略戰(中) 萬里ノ長城附近ノ作戰(草案)

第一章 作戰地一般ノ地理及本作戰ニ推移スル迄ノ熱河經略戰ノ大要

第一節 作戰地一般ノ地理

附圖第一
參照

地形ノ大
觀

萬里ノ長城附近ノ作戰ハ熱河省南部及河北省東北部ノ東西約二百六十軒ニ互ル廣大ナル地域ニ於テ實施セラレタルモノニシテ地形上之ヲ長城線含以北、以南ノ二者ニ大別スルコトヲ得ベシ

長城線以北ノ地區ハ燕山、七老圖山、松嶺ノ本支脈相交錯セル山地帶ニシテ作戰路ニ乏シク路外ニハ比高六、七百米ノ峻峰重疊シ徒歩兵ト雖モ行動困難ナリ加之熱河省境長城線附近ノ地區ハ地形及築城設備ニ依リ北支防衛上ノ要線ヲ形成スルモ河北省方面ニ對スル熱河防禦ノ爲ニハ必ズシモ有利ナラザルコトヲ該地附近ノ攻防上特ニ留意セザルベカラズ

次ニ長城線以南ノ地區ハ長城及灤河ニ沿フ若干ノ山地帶ヲ除キ他ハ一望千里ノ大平原ニシテ道路四方ニ通ジ降雨時ニアラザル限り概ネ大軍ノ運用ニ支障ナシ

主要作戰路

北方ヨリ長城ニ通ズル主要作戰路ハ朝陽錦州西北方約八十軒—承德錦州西方約二百八十軒—古北口承德西南方約六十五軒道及之ヨリ界嶺口山海關西北方約四十五軒、冷口界嶺口西方約四十軒、喜峰口冷口西北方約五十軒等ニ向ヒ分派スル數條ニ過ギザルモ南方ヨリ長城ニ向フ

モノハ其ノ數甚ダ多ク且此等作戰路相互ノ連絡モ前者ニ比シテ著シク容易ナリ

河川 作戰地ヲ貫流スル河川ハ其ノ根源ヲ熱河ニ發シ概ネ南流シテ渤海灣ニ注グ灤河及潮河ハ其ノ主要ナルモノナリ

此等作戰地ノ河川ハ一般ニ水量ノ増減急激ニシテ平時ノ涸川ト雖モ一度降雨ニ際會センカ忽チ濁流滔々タル河川ニ變ジ人馬ノ通過ヲ全ク不可能ナラシム又橋梁ハ主要街道上ニモ全ク之ヲ缺クヲ以テ灤河及潮河等ノ如キ常時相當ノ水量ヲ有スル大河ハ結氷期ヲ除キ渡河ノ爲架橋又ハ舟筏ニ依ラザルベカラザルコトアリ

第二節 本作戦ニ移ル迄ノ熱河經略戰ノ大要

附圖第一、第二參照

昭和八年二月下旬熱河ノ聖戰開始セラルルヤ北部方面ニ於テハ第六師團長ノ指揮下ニ屬スル騎兵第四旅團ハ三月一日赤峰ヲ拔キ南部方面ニ於テハ第八師團ノ川原挺進隊ハ同日熱河省城承德ヲ屠リ混成第十四旅團第八師團長ノ指揮下ニ屬ス亦同日冷口關門ヲ陥ル、其ノ行動正ニ疾風迅雷ノ如ク古來史上稀ニ見ル所人ヲシテ皇軍將兵ノ健闘ニ深ク敬意ヲ表セシムルト共ニ本作戦ガ赫々タル偉績ノ裡ニ一段落ヲ告ゲンコト

將ニ近キニ在ルヲ思ハシメタリ

三月四日ニ於ケル軍司令官ノ部署

三月四日在錦州關東軍司令官武藤大將ハ前記ノ狀況ニ鑑ミ速カニ長城重要諸關門ヲ確保シテ北支方面ニ對スル戰備ヲ整フルト共ニ熱河省内ノ治安ヲ恢復セントシ第六師團ヲシテ其ノ警備區域内昭島ノ諸要地ニ兵力ヲ配置シ治安ノ維持ニ任ゼシメ第八師團ニ新ニ混成第三十三旅團ヲ屬シテ速カニ長城ノ重要諸關門ヲ確保シテ北支方面ニ對スル戰備ヲ整フルト共ニ其ノ警備區域内卓索圖盟、熱河蒙古地域ノ諸要地ニ兵力ヲ配置シ治安ノ維持ニ任ゼシメ且關東軍飛行隊ヲシテ現任務ヲ續行スルノ外一中隊偵察、戰團各一中隊ヲ承德ニ推進シ得ル準備ヲ爲サシムル如ク部署セリ

附記 右部署ハ關作命第四八〇號ヲ以テ下達セラレタリ(第十三卷第二章第二節參照)

當時熱河方面ニ於ケル日滿支三國軍ノ配置附圖第二ノ如クニシテ皇軍ハ依然破竹ノ勢ヲ以テ長城主要關門ニ向ヒ前進中ナリ

熱河軍及東北軍主力ガ脆クモ潰エ皇軍ガ決河ノ勢ヲ以テ長城ニ殺到シ來ルヤ國民政府ハ三月十二日張學良ヲ免ジテ何應欽ヲ新ニ北平軍事委員分會長ニ任ジ平津方面ニ集中セル中央軍ヲ擧ゲテ長城附近ノ險ヲ扼シ極力皇軍ノ進出ヲ拒止スルノ擧ニ出デシカバ茲ニ狀況ハ急轉シテ長城主要關門附近滿支國境全般ニ互リ激烈ナル戰鬪開始セララルルニ至レリ

長山峪及古北口附近ノ戰鬪

喜峰口關門ノ占領

三月十一日於ケル第八師團長及軍司令官ノ處置

第二章

自三月上旬至同月下旬

長城主要關門附近ノ戰鬪

第一節

作戰經過ノ概要

附圖第一、第二、第三 參照

三月七日第八師團ノ一部ハ古北口關門占領ノ任務ヲ以テ急行中長山峪承德西南方約四十軒附近ニ於テ北支ヨリ侵入セル約一旅ノ敵ト衝突セリ是萬里ノ長城附近ニ於ケル戰鬪ノ緒戰ニシテ戰況一時交綏セシモ我が軍ハ逐次増援ヲ得テ九日之ヲ擊破シ更ニ古北口ニ逼リ同地ヲ守備セル約二萬ノ敵ト交戦スルコト約二晝夜師團長モ亦親シク戰場ニ臨ミテ戰鬪ヲ指揮シ十二日正午頃遂ニ敵ヲ擊攘シテ古北口關門ヲ完全ニ我が手ニ收メタリ

此ノ間喜峰口關門ノ占領ヲ命ゼラレシ混成第十四旅團長少將服部兵次郎、第八師團長ノ指揮下ニ在リハ九日主力ヲ以テ喜峰口附近、一部ヲ以テ董家口附近ニ進出シ各當面ノ支那軍ヲ攻撃シテ十日迄ニ董家口、鉄門関喜峰口東方約六軒並ニ喜峰口ノ各關門ヲ攻略セリ

是ニ於テ第八師團長ハ本作戦ハ一段落ヲ告ゲタルモノト爲シ直チニ三月四日ノ軍命令ノ實行ニ移ルベキ諸準備ニ著手スルト共ニ早川支隊長歩兵第三十一聯隊長大佐早川止、歩兵第三十一聯隊主力基幹ヲ羅文峪關門ニ派遣シテ同地ノ占領ヲ企圖シ又關東軍司令官モ十日長城重要關門我方有ニ歸シタルノ報ニ接シ事實ハ誤報ニシテ單ニ其ノ一部ヲ占領セシニ過ギズ十一日早朝錦州ヲ發シテ新京ニ向ヒ歸還ノ途ニ就ケリ

第二章

自三月上旬至同月下旬
長城主要關門附近ノ戰鬪

第一節

作戰經過ノ概要

附圖第一、第二、第三參照

長山峪及古北口附近ノ戰鬪

三月七日第八師團ノ一部ハ古北口關門占領ノ任務ヲ以テ急行中長山峪承德西南方約四十軒附近ニ於テ北支ヨリ侵入セル約一旅ノ敵ト衝突セリ是萬里ノ長城附近ニ於ケル戰鬪ノ緒戰ニシテ戰況一時交綏セシモ我方軍ハ逐次増援ヲ得テ九日之ヲ擊破シ更ニ古北口ニ逼リ同地ヲ守備セル約二萬ノ敵ト交戦スルコト約二晝夜師團長モ亦親シク戰場ニ臨ミテ戰鬪ヲ指揮シ十二日正午頃遂ニ敵ヲ擊攘シテ古北口關門ヲ完全ニ我が手ニ收メタリ

喜峰口關門ノ占領

此ノ間喜峰口關門ノ占領ヲ命ゼラレシ混成第十四旅團長少將服部兵次郎、第八師團長ノ指揮下ニ在リハ九日主力ヲ以テ喜峰口附近、一部ヲ以テ董家口附近ニ進出シ各當面ノ支那軍ヲ攻撃シテ十日迄ニ董家口、鉄門關喜峰口東約六軒並ニ喜峰口ノ各關門ヲ攻略セリ

三月十一日ニ於ケル第八師團司令官ノ處置

是ニ於テ第八師團長ハ本作戦ハ一段落ヲ告ゲタルモノト爲シ直チニ三月四日ノ軍命令ノ實行ニ移ルベキ諸準備ニ著手スルト共ニ早川支隊長歩兵第三十一聯隊長大佐早川止、歩兵第三十一聯隊主力基幹ヲ羅文峪關門ニ派遣シテ同地ノ占領ヲ企圖シ又關東軍司令官モ十日長城重要關門我が有ニ歸シタルノ報ニ接シ事實ハ誤報ニシテ單ニ其ノ一部ヲ占領セシニ過ギズ十一日早朝錦州ヲ發シテ新京ニ向ヒ歸還ノ途ニ就ケリ

喜峰口方面ノ戰況

然レドモ狀況ハ更ニ急迫ヲ告ゲ喜峰口、界嶺口、羅文峪方面ノ戰闘愈々激烈ヲ極ムルニ至レリ
喜峰口方面ニ於テハ宋哲元ノ指揮スル中央軍十日戰場ニ到着スルヤ十一日夜約一旅ヲ以テ潘家口方面ヨリ進出シテ我が混成旅團ヲ夜襲シ翌十二日更ニ數千ノ兵力ヲ喜峰口、鉄門関方面ニ増加スル等頗ル逼迫セル狀況ヲ呈セリ

三月十三日ニ於ケル軍司令官ノ處置

關東軍司令官ハ十三日始メテ混成第十四旅團ノ狀況ヲ知り第八師團ニ兵力ヲ増加シ速カニ喜峰口方面ノ敵ヲ反撃シテ同地附近要地ノ占領ヲ確實ナラシメントシ同日第六師團長ニ命ジ歩兵約一聯隊ヲ基幹トスル部隊ヲ平泉ニ急派シテ第八師團長ノ指揮下ニ入ラシムベク部署シ第八師團長モ亦同日軍通報ニ依リテ混成第十四旅團ノ戰況ヲ知り直チニ歩兵約一大隊、野砲兵一中隊ヲ自動車ニテ喜峰口ニ派遣セシモ混成第十四旅團長ハ他ノ増援ニ依頼スルコトナク十三日進ンデ攻勢ヲ取りテ敵ノ積極的企圖ヲ挫折シ漸ク危機ヲ脱セリ

迎支隊ニ對スル第八師團長ノ處置

第八師團長ハ十四日夕第六師團長ヨリ『軍命令ニ基キ迎支隊長歩兵第四十五聯隊長大佐迎支八、歩兵第四十、五聯隊主力、騎兵第六聯隊、野砲兵一中隊基幹四日正午頃赤峰ヲ出發セシメテ平泉ニ急派シ第八師團長ノ指揮下ニ入ラシムベキ』旨ノ通報ニ接シタルモ時既ニ飛行機ノ通報ニ依リテ喜峰口方面平靜ニ歸セルコト判明セル爲寧ロ之ヲ混成第三十三旅團長少將ニ配屬シテ冷口關門占領混成第十四旅團ノ一部ガ一度之ヲ占領セルモ同旅團ノ喜峰口方面轉進ト共ニ之ヲ放棄シ同地ハ再び支那軍ノ有トナルニ使用スルヲ有利ト認メ軍司令官ノ承認ヲ得テ十六日此ノ旨中村旅團長ニ命令シ迎支隊ニモ平泉到着ト共ニ傳達スル如ク處置

セリ

界嶺口及義院口附近ノ戰闘

喜峰口方面一時小康ヲ呈スルヤ次デ界嶺口、義院口、羅文峪方面ノ戰闘概ネ時ヲ同ジウシテ惹起セラレタリ即チ界嶺口、義院口方面ニ作戰セルハ混成第三十三旅團ニシテ同旅團ハ三月四日綏中ヲ發シ白土嶺乾溝鎮東北、方約十六軒、狼洞嶺乾溝鎮東南、方約十三軒ノ險ヲ越エ十日乃至十二日間ニ界嶺口、義院口附近ニ進出シ一部ヲ以テ十日義院口ノ敵ヲ又主力ヲ以テ十六日界嶺口ノ敵ヲ攻撃シ界嶺口附近ヲ占領セルモ翌日ヨリ猛烈ナル恢復攻撃ヲ受クルニ至レリ

是ニ於テ旅團長ハ敵ニ再度ノ打撃ヲ加ヘントセシガ彈藥缺乏ノ爲直チニ實行スルヲ得ズ約一週日ノ後二十四日漸ク第二次攻撃ヲ行ヘリ我が攻撃ハ豫定ノ如ク順調ニ進展シ敵ヲ遠ク驅逐セルモ我が部隊ノ長城線復歸ト共ニ又復敵ノ近接ヲ受ケ彼我近距離ニ相對峙スルノ狀況ナリ此ノ間義院口方面ハ二十一日敵ノ退却ニ伴ヒ之ヲ占領セリ

羅文峪附近ノ戰闘

一方羅文峪方面ニ在リテハ同關門占領ノ任務ヲ有スル早川支隊歩兵第四旅團長少將鈴木美通ノ隷下ニ在リテ師團長ノ直轄ニアラズ十六日戰場ニ到着シ十七日ヨリ同地ノ敵ヲ攻撃シテ長城ノ一角ヲ奪ヒタルモ爾後敵ノ頑強ナル抵抗ニ會シ戰況進展セズ彈藥、糧食共ニ盡キントスルニ至レリ
第八師團長ハ右ノ狀況ヲ知り縱ヒ同關門ヲ占領ストモ補給路極メテ不良ノ爲之ヲ確保スルノ至難ナルヲ察シ軍ノ同意ヲ得テ之ヲ放棄スルニ決シ此ノ旨歩兵第四旅團長ニ傳ヘ一部ヲ該方面ノ要點ニ殘置シ

早川支隊主力ヲ承德ニ歸還セシムベク處置セリ早川支隊長ハ十八日夜襲ニ依リテ目的ヲ貫徹セント決意セルモ其ノ實行ニ先ダチ羅文峪關門放棄ニ關スル命令ニ接シタルヲ以テ諸準備ヲ整へ二十二日出發主力ヲ以テ二十五日承德ニ歸著シ爾後該方面ニ對スル警戒ハ龍王廟承德南方約四十五軒附近ニ位置セル該支隊一部ノ任ズル所トナレリ

羅文峪 界嶺口方面ノ戰闘激烈ヲ極ムルトキ赤峰ヨリ南下セシ迎支隊ハ十八日平泉ニ到著シ同地ニ於テ冷口占領ノ命令ニ接シ引續キ該方面ニ前進セリ二十二日支隊ハ微弱ナル敵ノ抵抗ヲ排除シテ蕭家營子冷口北方約十三軒附近ニ達シ全力ヲ擧ゲ約二千ノ敵ノ占領セル同地南方地區ノ堅固ナル陣地ヲ攻撃シ其ノ一角ヲ奪ヒシモ遂ニ之ヲ擊破スルニ至ラズシテ戰闘交綏セリ

第八師團長ハ迎支隊ノ戰況ヲ知り支隊ノ現狀ニ鑑ミ攻撃ノ續行困難ナリト認メ二十四日混成第十四旅團長迎支隊ハ三月二十一日以降混成第十四旅團長ノ指揮下ニ入ルニ對シ同支隊ヲシテ蕭家營子附近ノ要地ヲ確保シ後圖ヲ策セシムベキヲ命ジ同支隊ハ右命令ニ基キ占據地ヲ確保シツツ爾後ノ攻撃ヲ準備セリ

是ヨリ先三月十八日在新京關東軍司令官ハ諸情報ヲ綜合シ北支國境方面ノ情勢樂觀ヲ許サザルモノアルニ鑑ミ軍ハ速カニ部隊ヲ整頓シテ狀況ノ變化ニ應ズルノ態勢ヲ整ヘントシ大要左ノ如ク部署セリ

一 第八師團特ニ示スモノノ外配屬部隊故ノ如シヲシテ現任務ヲ續行スルノ外左ノ件ヲ實施セシム

(イ) 古北口、喜峰口等長城重要關門附近ニ築城ノ施設、之ガ爲工兵大佐高屋庸彦關東軍司令部附ヲ臨時師團

三月十八日於ケル軍司令官ノ部署

蕭家營子附近ノ戰

ニ配屬ス

(ロ)

第八師團ノ警備區域ヲ小凌河口錦州南方約十五軒、松嶺子邊門錦州西北方約四十軒、七家子朝陽西北方約三十八軒、金家店平泉西北

方約七十五軒ヲ通ズル線以南ノ卓索圖盟竝ニ圍場地名ヲ除ク熱河蒙古地域ニ變更

(ハ)

奉天省内ニ殘置セル初年兵ヲ速カニ固有編成内ニ復歸

(ニ)

第八師團ノ補給業務

(ホ)

混成第三十三旅團ヲ原所屬ニ復歸セシムル爲四月一日以降成ルベク速カニ第八師團長ノ隸下

又ハ指揮下部隊ヲ以テ之ト交代セシム

二

第六師團特ニ示スモノノ外配屬及缺如部隊故ノ如シヲシテ現任務ヲ續行スルノ外左ノ件ヲ實施セシム

(イ)

師團ノ警備區域ヲ左ノ如ク變更

第八師團ニ屬セザル卓索圖盟ヲ加へ熱河省外ノ師團ノ警備區域新河、遼河及通江口、彰武台門ヲ通ズル長橋及熱河省境ヲ以テ圍繞スル地域及西喇木倫河合以北ノ昭烏達盟ヲ除ク

(ロ)

第十四師團ヨリ配屬セラレタル部隊ヲ原所屬ニ復歸

(ハ)

第六師團ノ補給業務

(ニ)

多倫方面ヨリスル敵ノ進撃ニ備フル外狀況ニ依リ一部ヲ以テ滿洲國軍ヲ支援シ且該方面ニ對スル作戰準備

スル作戰準備

又別ニ有力ナル一部ヲ朝陽附近ニ位置セシメ同地方ノ治安維持ニ任ズルト共ニ狀況ノ變化ニ應
ゼシム

三 第十四師團ヲシテ第八師團部隊ノ整備ヲ容易ナラシムル爲臨時在南滿步兵二聯隊分ノ教育隊ヲ
遼西地區ニ移駐シ同方面ノ警備ニ關シ獨立守備隊司令官ノ區處ヲ受ケシム

四 第十師團ヲシテ混成第三十三旅團ノ復歸ニ伴ヒ速カニ部隊ヲ整理シ步兵約一聯隊ヲ基幹トスル
部隊ヲ適時軍司令官ノ使用ニ供シ得ルノ態勢ニ在ラシム

五 獨立守備隊ヲシテ現任務ヲ續行スルノ外第十四師團遼西移駐部隊ヲ區處シ第八師團部隊ノ整頓
及配置變更ヲ容易ナラシム

六 關東軍飛行隊ヲシテ現任務ヲ續行スルノ外偵察各約一中隊ヲ赤峰及承德ニ配置シ第六、第八師
團長ノ指揮下ニ入ラシム

七 三月二十日以降軍兵站部ノ編成ヲ解キ兵站監事務取扱軍參謀長(中將)兼任ヲシテ左ノ如ク實施セシム

(イ) 軍兵站部ニ配屬セラレタル諸隊ヲ三月三十一日迄ニ原所屬ニ復歸

(ロ) 第六、第八師團ニ所要ノ輸送機關ヲ配置シ工兵第十大隊ヲ臨時第八師團長ノ指揮下ニ入ラシ

メ朝陽合マ以西ノ補給業務ヲ逐次前記兩師團ニ委讓、尙錦州、朝陽間ノ兵站業務實施ノ爲新ニ
砲兵大佐前田治關東軍司令部附以下將校六名、下士官二名ヲ配屬ス

軍兵站部
及飛行隊
ノ狀況

各部隊ハ右軍命令ニ基キ三月二十一日頃ヨリ逐次實行ニ移リシモ未ダ其ノ完了ヲ見ズシテ第六師團主
力ノ冷口方面轉用トナリ作戰ハ瀾東地區迄波及スルニ至レリ其ノ狀況ハ章ヲ改メテ説述セン
本作戰間軍兵站部ハ僅少ノ人員ト不十分ナル輸送材料トヲ以テ長延ナル陸路兵站業務ニ從事シ多大ノ
困難ヲ排シテ克ク第一線兵團ノ要求ヲ充足シ又軍飛行隊ハ主力ヲ以テ第八師團、一部ヲ以テ第六師團
ニ協力シ直接戰闘ニ參加セルノミナラズ敵情ノ搜索ニ或ハ離隔セル兵團間ノ連絡ニ任ジ本作戰ノ遂行
上偉大ナル貢獻ヲ爲セリ

第二節 古北口及長山峪方面第八師團主力ノ戰闘

第一款 戰場ノ狀態竝ニ氣象附圖第一、 第四參照

戰場ノ狀
態

古北口及長山峪附近一帶ノ地區ハ跋涉困難ナル峻峰所々ニ屹立スル山地帯ニシテ地表面ハ概ネ枯草ニ
テ覆ハレ樹木ニ乏シク且各所ニ岩石露出ス又高地斜面ハ一般ニ急峻ニシテ攀登容易ナラザル所多シ
故ニ道路ハ此ノ地方ノ作戰上極メテ重大ナル價值ヲ有スルモ其ノ數ニ乏シク車輛ヲ通ジ得ルモノハ僅
カニ承德―古北口道及其ノ他數條ニ過ギズ而モ此等ノ道路ハ皆狹隘ナル谷地ヲ通ズルヲ以テ到ル處少
數ノ敵ニ拒止セラルルノミナラズ河川増水セバ交通杜絶スルノ不利アリ但シ本作戰間ハ降雨ナキ爲天
候ニ依ル障礙ヲ被ラザリキ

古北口附近ノ萬里ノ長城



把克什營附近ノ山地帶



潮河ハ此ノ地方唯一ノ大河ニシテ既ニ其ノ一部ハ解氷シ戰車等ノ行動ヲ妨害セルモ未ダ其ノ一般軍隊ニ對シ大ナル支障ヲ與ヘザリキ

戰場附近ニ散在スル部落ハ古北口ヲ除キ一般ニ寒村ニシテ物資ニ乏シキモ時尚寒氣凜冽ノ折柄傷者ノ收容ニ相當ノ利便ヲ與ヘタリ

滿支國境ヲ劃スル萬里ノ長城ハ戰略上ノ要線ナルト共ニ戰術上ニモ看過スベカラザル術工物ニシテ高サ約五米城壁ノ高サニシテ望樓ノ高サ迄ハ約十米、厚サ約五米ヲ有シ所々崩壞セル箇所アルモ其ノ大部ハ登降ヲ許サザル絕壁ヲ形成スルノミナラズ急峻ナル地形ノ巧ナル利用ト其ノ重要關門ニ於ケル數線ノ城壁ヨリ成ル一大複郭トハ長城ノ戰術的價值ヲ一層大ナラシメタリ

氣象 戰闘第二日タル三月八日ハ終日曇天ニシテ日没後降雪アリシモ其ノ他ハ晝間概ネ晴天ナリキ又氣温ハ晝間稍々上昇セルモ夜間ハ氷點下十數度氏ニ達シ戰線ニ於ケル將兵中若干ノ凍傷患者ヲ生ズルニ至レリ戰闘間ハ陰曆十二日乃至十七日ナリシ爲八日曇天ヲ除キ毎夜午前二、三時頃迄明月中空ニ懸リ白晝ノ如シ又當時ノ日出ハ午前六時頃、日没ハ午後六時頃ナリ

第二款 長山峪附近ノ戰闘 黃土嶺、青石峯、十八盤峯附近ノ戰闘ヲ總稱ス

其ノ一 第八師團長ノ統帥 附圖第一、第三、第四、挿圖第一參照

師團長ノ行動 第八師團長中將西義一ハ三月四日午後凌源ニ於テ『川原挺進隊ガ本日午前十一時五十分承德ヲ占領セ

ル』報告ニ接シ續イテ『第八師團長ハ速カニ長城ノ重要諸關門ヲ確保シテ北支方面ニ對スル戰備ヲ整フルト共ニ其ノ警備區域内卓索圖盟、熱河蒙古地域ノ諸要地ニ兵力ヲ配置シ治安ノ維持ニ勉ムベキ』旨ノ軍命令關作命第四八〇號(第三頁參照)午後八時頃受領ヲ受領シ川原挺進隊ヲシテ承德ヲ確保シテ師團主力ノ來著ヲ待タシメ五日凌源ヲ出發シ平泉ヲ經テ翌六日午後三時二十分頃市民ノ大歡迎裡ニ承德ニ入城シ離宮ニ司令部ヲ設置シテ挺進隊ノ任務ヲ解キ將兵一同ニ訓示ヲ與ヘテ其ノ勞ヲ擣ヒ更ニ本次聖戰ノ意味ヲ完カラシムベク一段ノ奮勵ヲ要望セリ

軍參謀長ノ通報

三月七日午前六時頃迄ニ師團長ハ軍參謀長ヨリ相次デ左ノ電報ヲ受領セリ

一 關内支那軍ハ玉田、密雲方面ヨリ長城ノ線ニ向ヒ前進シアルニ反シ敗退セル敵ハ疲勞困憊シテ古北口以東各關門附近ヲ通過中ナリ貴師團ハ關作命第四八〇號ニ基キ機ヲ失セズ長城重要關門ノ占領ニ遺憾ナキヲ期セラルルコトト信ズルモ敗敵ニ跟隨シテ古北口以東ノ要地ヲ占領スルコト肝要ナリト思惟シアリ本朝招致セラレタル自動車隊ヲ以テ速カニ川原部隊ヲ増援シ右ノ行動ニ出デラレンコトヲ希望ス

二 六日古北口ヨリ兩間房古北口東北ニ方約十六軒ニ侵入セル王以哲ノ指揮スル部隊ノ出鼻ヲ挫カンガ爲明七日午前十時頃重爆擊中隊ハ大舉シテ之ヲ爆擊スル筈關門占領ノ好機ヲ把持スルニ遺憾ナキヲ期セラレアルコトト確信ス

川原旅團主力及騎兵隊派遣ノ命令

是ニ於テ師團長ハ古北口ノ占領ヲ確實ナラシムル爲ニ前日川原旅團長ノ派遣セシ長瀨部隊長步兵第十七聯隊長大佐長瀨武平、步兵一大隊、山砲兵一中隊、基幹ノ外更ニ該旅團主力ヲ増派シ別ニ騎兵第八聯隊ヲ基幹トスル部隊ヲ營房灤平西方ノ方約三十軒把克什營古北口東北ノ方約五軒道方面ヨリ敵ノ側背ヲ衝カシムルニ決シ午前八時頃左ノ命令ヲ下達セリ

八師作命第二〇五號

第八師團命令 三月七日午前八時 於承德師團司令部

- 一 王以哲ノ指揮スル約一師ノ敵ハ北平—密雲古北口西南方約四十八軒—古北口—灤平道ヲ前進シ昨六日其ノ先頭兩間房ニ侵入セルガ如ク我が重爆擊中隊ハ本七日大舉之ヲ爆擊スル筈
 - 二 我が長瀨大佐ノ指揮スル部隊ハ昨六日灤平西南方地區ニ宿營シアル筈
 - 三 師團ハ速カニ長城ノ重要關門ヲ扼守シ敵ノ侵入ヲ阻止セントス
 - 四 川原旅團長ハ長瀨大佐ノ指揮スル部隊、田中清一大佐ノ指揮スル部隊步兵第三十二聯隊主力及步兵第十七、同第三十二聯隊ノ各乘馬小隊、野砲兵第二大隊、特設山砲兵第三中隊長砲兵中尉石橋兼吉、一小隊欠、特設山砲兵中隊ハ野砲兵第八聯隊ニテ編成
- セルモノ衛生班ノ一部ヲ併セ指揮シ古北口方面ノ敵ヲ擊攘シ同地附近主要關門ヲ扼守スベシ
以下同ジ
吉岡參謀步兵少佐吉岡安直、關東軍參謀、兼子中尉第八師團司令部附步兵中尉兼子健次郎ヲ屬ス
田中大佐ノ指揮スル部隊ハ本七日午後、騎兵、砲兵、乘馬小隊ハ本日夕當地ニ到着スル筈
 - 五 騎兵第八聯隊長ハ騎兵第八聯隊、步兵第五聯隊ノ乘馬小隊及特設山砲兵第九中隊長砲兵中尉須藤良信、一小隊欠

- 無線電信一分隊ヲ指揮シ灤平―營房―把克什營道ヲ前進シ敵ノ退路ヲ遮斷スル如ク勉ムベシ
- 六 新井少佐 歩兵第十七聯隊大隊長新井泰治 ノ指揮スル部隊 歩兵約一大隊ト一中隊基幹 ハ予ノ直轄トス
- 承德附近ノ警備ニ任ズベシ
- 七 予ハ依然承德ニ在リ

第八師團長 西 中 將

下達法

印刷セルモノヲ交付ス但シ歩兵第十六旅團長ニハ先ヅ筆記セルモノヲ與フ

三月七日朝ニ於ケル第八師團ノ態勢挿圖第一ノ如シ

川原旅團主力ノ先頭部隊ハ自動車輸送ニ依リ同日午後承德ヲ出發シ長山峪 灤平西南方約二十七軒 ニ向ヒ南下セリ

附記 關東軍自動車隊ハ師團長直轄ニシテ田中部隊ヲ七日三十家子ヨリ承德ニ輸送スベキ命ヲ受ケ輸送中前記ノ如キ狀況ノ變化ニ伴ヒ更ニ古北口ニ向ヒ川原部隊ヲ輸送スベク命セラレタリ

吉岡參謀ノ報告

旅團司令部ト同行シ長山峪附近ニ於ケル旅團ノ狀況ヲ具ニ視察セル吉岡參謀ハ三月八日午前九時頃歸來シ『黃土嶺 長山峪西南方約一軒半 附近ノ敵ハ王以哲ノ指揮スル約一旅ニシテ其ノ兵力二千ヲ下ラザルモノノ如ク別ニ鞍匠屯 灤平西方約三十五軒 ニハ湯玉麟ノ指揮スル約三千ノ部隊アリテ前者ト緊密ナル連繫ヲ保持シアルガ如

第一次増援命令

シ川原旅團先遣隊ハ銳意攻撃ニ勉ムルモ戰況意ノ如ク發展セズ師團ハ相當ノ兵力ヲ増加シ計畫的ニ攻撃ヲ指導スルヲ可トスルコト竝ニ増援隊輸送ノ爲關東軍自動車隊ヲ獨斷歸還セシムル様處置シ本日正午頃到着スル豫定ナル』旨ヲ報告セルヲ以テ師團長ハ右參謀ノ意見ニ同意シ關東軍自動車隊ノ到着ヲ待ツテ爲シ得ル限りノ兵力ヲ川原旅團ニ増援スルニ決シ午前十一時頃左ノ命令ヲ下達セリ

八師作命第二〇六號

第八師團命令 三月八日午前十一時 於承德師團司令部

- 一 長山峪附近敵ノ抵抗ハ相當頑強ニシテ我ガ川原旅團ハ昨七日夕以來之ヲ力攻中ニシテ本日午前八時頃黃土嶺附近敵ノ前進陣地ヲ奪取セリ
- 二 師團ハ爲シ得ル限りノ兵力ヲ川原旅團ニ増援シ所期ノ目的ヲ達成セントス
- 三 新井少佐ハ歩兵第十七聯隊ノ約二中隊、機關銃、歩兵砲ノ一部及特設山砲兵第三中隊ヲ指揮シ自動車ニ搭乘シテ長山峪附近ニ急行シ川原旅團長ノ指揮下ニ入ルベシ
- 關東軍自動車隊ハ本日正午頃當地ニ到着スル筈
- 四 吉岡參謀ハ關東軍司令部ニ復歸スベシ
- 渡邊參謀 第八師團參謀步兵少佐渡邊勝 ヲ川原旅團ニ配屬ス
- 新井大隊ト同行スベシ

五 吉原大尉步兵第十七聯隊第九中隊長大尉吉原秀雄ハ步兵第四旅團來著迄當地ノ警備隊長ヲ命ズ

第八師團長 西 中 將

下達法

印刷セルモノヲ交付ス

新井大隊ハ午後二時二十分頃自動車ニ依リ承德ヲ出發セリ

九日午前四時五十分川原旅團長ヨリ『該方面ノ敵ノ抵抗頑強ニシテ外人ガ部隊ヲ指揮セルガ如ク之

ガ擊破ハ至難ノ狀況ニ在リ』トノ報告アリ依ツテ師團長ハ更ニ兵力ヲ増加シテ敵ニ徹底的打撃ヲ與フ

ルニ決シ同八時頃左記要旨ノ命令ヲ下達セリ

第二次增
授命令

第八師團命令八師作命第 二〇八號(要旨)

三月九日午前八時
於承德師團司令部

一 師團ハ使用シ得ル全兵力ヲ擧ゲテ長山峪、古北口附近ノ敵ニ徹底的打撃ヲ與ヘントス

二 步兵第十六旅團ハ依然攻撃ヲ續行スベシ

三 步兵第三十二聯隊第三大隊長少佐 相田俊二ハ本九日午前十時頃歸還スベキ關東軍自動車隊本部及 二中隊ノ車

輛ニ搭乘シ長山峪附近ニ到リ旅團長ノ隷下ニ復歸スベシ

四 步兵第四旅團長ハ部下旅團主力、特設山砲兵第九中隊ノ一小隊、工兵一小隊、三號無線電信一分隊、衛生班ノ一部ヲ指揮シ自動車及徒步行軍ニ依リ成ルベク速カニ長山峪附近ニ到リ爾後長山峪

一 岔道口長山峪西北 方約八軒—拉海溝鞍匠屯南 方約十軒—把克什營道ニ沿フ地區ヨリ敵ノ退路ヲ遮斷スル如ク行動スベシ

三月十日夕ム以後騎兵隊ヲ其ノ指揮下ニ入ラシム

五 騎兵隊ハ依然前任務ヲ續行シ明日夕ム以後步兵第四旅團長ノ指揮下ニ入ルベシ

六 野砲兵第八聯隊主力及工兵第八大隊主力ハ明日早朝出發長山峪附近ニ前進シ主トシテ川原旅

團ノ戰闘ニ協力スベシ

但シ野砲兵中隊ハ砲三門編成トシ殘餘ノ兵器、人馬ハ適宜ノ部隊ニ編成シ承德警備隊長ノ指揮下

ニ入ラシムベシ

七 予ハ明日午前十時出發鞍子梁長山峪東方 約二軒半附近ニ向ヒ前進ス

河野參謀第八師團參謀步兵 中佐河野悅次郎ハ現在地ニ在リテ主トシテ連絡、補給ヲ掌ルベシ

第八師團長 西 中 將

下達法

步兵第四旅團長ニハ口達、步兵第十六旅團及騎兵第八聯隊ニハ要旨ヲ電報シ其ノ他ノ部隊ニハ印

刷セルモノヲ交付ス

右命令ニ基キ步兵第三十二聯隊第三大隊ハ午前十一時三十分頃承德ヲ出發セシモ步兵第四旅團主力ハ本九日夕ニ至ラザレバ出發準備整ハズ又步兵第三十一聯隊及砲、工兵部隊ハ承德ニ向ヒ急行中ニシテ

其ノ主力ノ承德到着ハ本九日夕ノ豫定ナリ
 師團長ハ午後四時三十分頃飛行第十大隊第一中隊附中尉秋山紋次郎ノ報告ニ依リ長山峪附近ノ敵ハ午
 後三時四十分頃算ヲ亂シテ敗走中ニシテ把克什營西方高地ヨリ同地南方高地ニハ陣地アリテ若干ノ敵
 兵之ヲ占領セルコトヲ知り師團爾後ノ攻撃ヲ準備センガ爲左記要旨ノ命令ヲ下達セリ

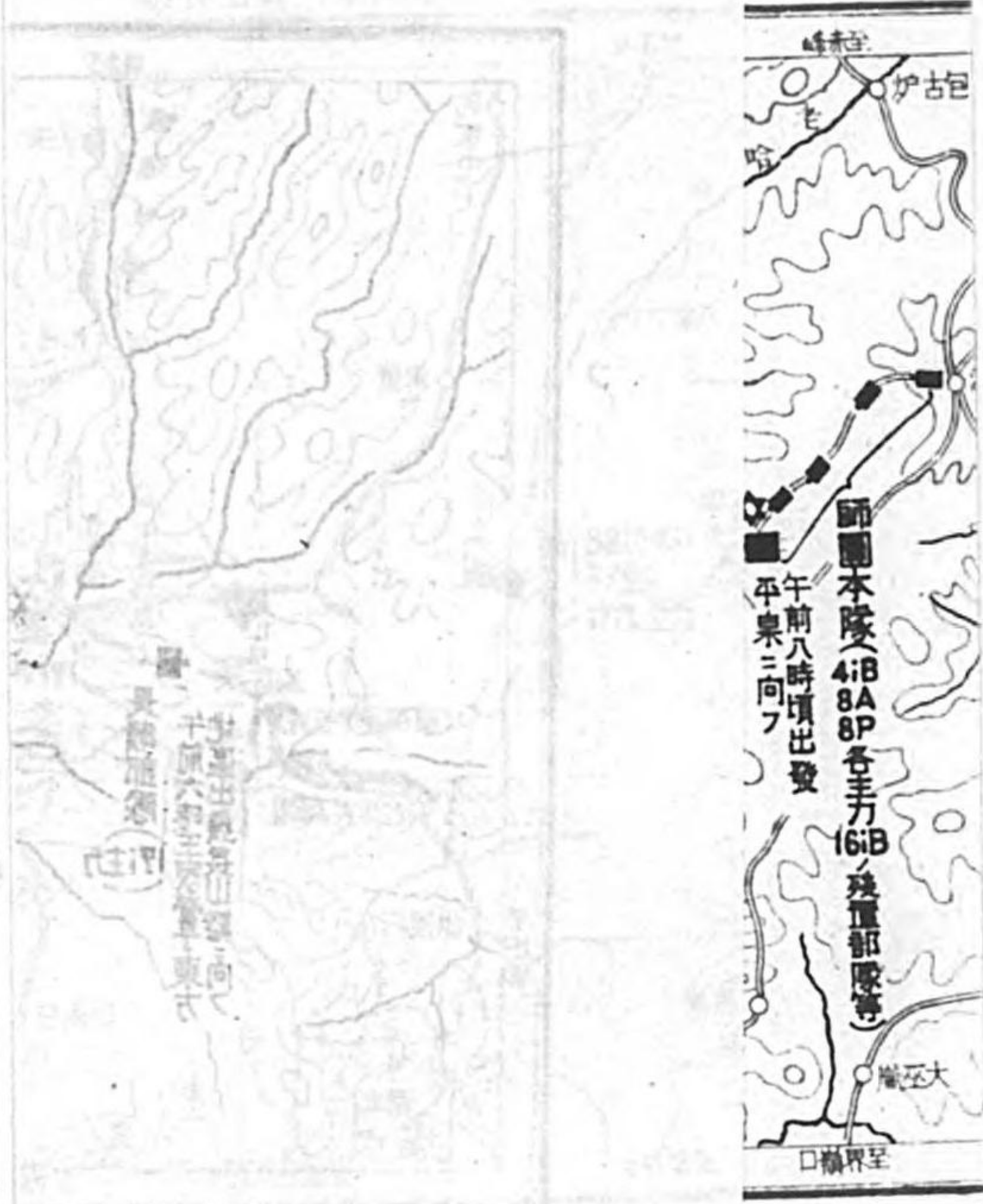
攻撃準備
 ニ關スル
 命令

第八師團命令 八師作命第(要旨)
 二〇九號

三月九日午後六時
 於承德師團司令部

- 一 師團ハ速カニ古北口附近ヲ占領スル目的ヲ以テ先ヅ把克什營西方地區ノ敵陣地ヲ攻略シテ爾後
 ノ攻撃ヲ準備セントス
- 二 川原旅團ハ主力ヲ以テ蘇地把克什營東 方約三軒 附近ニ向ヒ敵ヲ急追シ各一部ヲ以テ把克什營附近及礪石口
古北口東ヨリ 方約四軒 司馬台口礪石口東南 方約七軒 ニ互ル長城ノ各關門ヲ占領シ爾後ノ攻撃ヲ準備スベシ
- 三 騎兵隊ハ依然現任務ヲ續行シテ把克什營北方地區ニ向ヒ前進スベシ
- 四 野砲兵第八聯隊主力、工兵大隊主力及歩兵第四旅團三號無線電信一分隊、衛生班ノ一部屬 ハ承德—灤平—長山峪—
 把克什營道ヲ徧橋古北口東北東 方約十二軒 附近ニ向ヒ前進スヘシ
- 五 其ノ他ノ諸隊ハ八師作命第二〇八號ニ基キ行動スベシ
- 六 予ハ明後十一日當地出發歩兵第十六旅團司令部ノ位置ニ追及ス

第八師團長 西 中 將



下達法

步兵第十六旅團及騎兵第八聯隊ニハ要旨ヲ電報シ爾餘ノ部隊ニハ先ヅ口達後印刷セルモノヲ交付ス

其ノ二 黄土嶺及青石峇附近ノ戰鬪

甲 步兵第十六旅團主力出動前ノ狀況 附圖第一、第五參照

長瀬部隊ノ出動

三月四日承德ヲ占領セシ川原挺進隊長ハ五日飛行機ヲ以テ來著セル軍參謀砲兵少佐遠藤三郎ヨリ軍ノ企圖 第一四頁「軍參謀長ノ通報」參照ヲ知り速カニ古北口關門ヲ我が手ニ收ムベク六日早朝在瀨平ノ長瀬大佐 步兵第十七聯隊隊長 平武、三月五日挺進隊命令ニ依リ歩兵約一 大隊ヲ基幹トスル部隊ヲ以テ瀨平ヲ占領スニ對シ無線ニ依リ左ノ命令ヲ下達セリ

挺進隊命令 三月六日午前五時三十分於承德離宮挺進隊本部

一 敵ノ主力ハ古北口ニ退却セルガ如シ

師團第一梯隊ハ本夕當地ニ到着ノ豫定

二 挺進隊ハ依然追撃ヲ續行セントス

三 長瀬大佐ハ現有兵力 步兵第十七聯隊本部、第三大隊(第九中隊欠)、步兵砲隊(半部欠)、山ヲ以テ先遣隊トナリ成砲隊(二門)、通信班、無線電信一分隊、戰車隊(裝甲自動車二輛)

ルベク速カニ出發古北口方面長城ノ線ニ向ヒ敵ヲ追撃スベシ

四 予ハ明七日早朝自動車隊ノ一部ト共ニ當地發其ノ隊ニ追及スルノ企圖ヲ有ス

挺進隊長 川原少將

附記

- 一 先遣隊ノ編成裝備上注意スベキ件左ノ如シ
- 一 自動車輸送ナル爲馬匹全クナシ
- 二 歩兵大隊ハ歩兵二中隊、機關銃一中隊、歩兵中隊ハ中隊長以下約六十名、輕機關銃四挺ヲ有シ二小隊ニ區分シ機關銃中隊ハ機關銃四挺ヲ有ス
- 三 歩兵砲隊(半部欠)ハ平射歩兵砲、曲射歩兵砲各一門ヲ又山砲隊ハ山砲二門ヲ有ス
- 四 師團通信隊ヨリ配屬セラレシ無線電信分隊ハ短波機一機ヲ有ス

長瀬大佐ハ午前八時三十分右命令ヲ受領スルヤ直チニ之ニ基キ部下ニ出發準備ヲ命ズルト共ニ一方挺進隊長ニ對シ彈藥、糧秣輸送用トシテ自動車五輛ノ配屬ヲ請求シ其ノ到著ヲ待チテ午後九時頃漸ク灑平ヲ出發ス

其ノ前進部署左ノ如シ

- 一 戰車隊 長歩兵大尉百武俊吉、裝甲自動車二輛、乘用自動車一輛、自動貨車一輛 ヲシテ尖兵ノ前方ニ在リテ敗殘兵ヲ驅逐シツツ前進セシム
 - 二 第三大隊 長少佐坪島文雄、第九、第十中隊及機關銃一小隊欠、山砲一小隊(一分隊欠)屬 ヲ前衛ト爲シ先ヅ楊樹溝門灑平西南方約十二軒ニ向ヒ前進セシム
 - 三 爾餘ノ諸隊ヲ本隊ト爲シ左記順序ヲ以テ前衛ノ後方約五百米ニ續行セシム
- 通信班 師團通信隊所屬ノ無線電信一分隊ヲ含ム、聯隊本部、第十中隊 半小、機關銃一小隊、歩兵砲隊欠、山砲隊一小、行李、 第十中隊ノ半小隊

先遣隊ハ七日午前一時頃王家營子灑平西南方約十軒ニ達シ約五時間大休止ノ後一間房古北口東北方約十四軒ニ向ヒ再ビ行動ヲ開始セリ

前衛司令官ノ決心

午前十時頃先遣隊長及前衛司令官ハ決菜溝山長、峪東北方約六軒ニ於テ戰車隊ノ報告及土民ノ言ニ依リ兵力未詳ノ敵兵黃土嶺附近ニ陣地ヲ占領セルヲ知リ先ヅ之ヲ攻撃スベク前進ヲ續行シテ同十一時三十分頃長山峪東方地區ニ達シ該地ニ兵力ヲ集結シツツ前面ノ敵情、地形ヲ搜索ス當時前衛司令官坪島少佐ハ其ノ主力ヲ以テ長山峪東南方約一軒ノ高地ニ在リ諸報告ニ依リ黃土嶺附近ニハ既ニ有力ナル敵兵陣地ヲ占領シ本道上ニハ地雷多數埋沒セラレアルコト判明セルモ是敗殘ノ敵兵ガ退却中小抵抗ヲ試ミントセルモノニシテ縱ヒ相當有力ナル敵兵存在ストモ從來ノ支那軍ノ

長瀬先遣隊主力ノ長山峪到着
三月七日



素質ニ鑑ミ鎧袖一觸之ヲ擊滅シ得ベシト爲シ圖上判斷ニテ速カニ長山峪西南方六二七高地附近ヲ奪取シテ敵陣地ヲ席卷スベク此ノ旨先遣隊長ニ報告後獨斷前記高地ニ向ヒ攻撃前進ヲ開始セリ時將ニ正午頃ナリ

一方先遣隊長ハ長山峪東方約八百米ノ無名部落ニ於テ前記前衛司令官ノ決心ヲ知り之ヲ承認スルト共ニ速カニ前面ノ敵ヲ擊攘シ馬圈子長山峪西南方約二軒半南側ノ線ニ進出スルニ決シ攻撃ニ關スル命令ヲ下達ス其ノ部署ノ大要左ノ如シ

敵陣地攻撃ニ關スル先遣隊ノ部署

- 一 前衛步兵連隊(半)ヲシテ第一線ト爲シ前衛司令官ノ決心ノ如ク攻撃セシム
- 二 第十中隊長大尉津原武、ヲシテ長山峪東南方地區ヨリ馬圈子ニ進出シ敵ノ退路ヲ遮斷セシム
- 三 山砲兵隊ヲシテ長山峪附近ニ陣地ヲ占領シ第一線ノ戰闘ニ協力セシム
- 四 第十中隊ノ一小隊ヲ豫備隊トシテ長山峪ニ向ヒ前進セシム

第一線ノ狀況

本隊タリシ諸隊ハ命令一下直チニ所命ノ如ク行動シ逐次第三大隊ノ戰闘ニ加入ス午後一時三十分頃第三大隊主力ハ敵前七、八百米ノ距離ニ達シ第十一中隊長中尉白鳥正次、ヲ右、機關銃中隊(長大尉吉成五一、ヲ一分隊欠)其ノ左翼ニ展開シ標高高地ノ敵ト銃火ヲ交ヘツツアリシガ時會々第十中隊主力戰線ニ到著シテ機關銃中隊ノ左翼ニ連リテ大隊ノ戰闘ニ協力スルニ及ビ志氣益々振ヒ險峻ナル地形ト急激ノ如ク飛來スル敵彈トヲ冒シ漸次敵陣地ニ近迫セリ當面ノ敵ハ我が當初ノ豫想ニ反シ頗ル頑強ニシテ我が第一線ノ前進

ニ伴ヒ其ノ射擊益々猛烈ヲ極メ之ガ爲我が部隊ハ敵前二、三百米ニ達セルモ未ダ突撃ノ機ヲ得ズ大隊長ハ此ノ狀況ヲ見ルヤ大隊ノ重火器ノ全火力ヲ當時最モ猛威ヲ振ヒツツアル標高高地ノ掩蓋重機關銃ニ集中シ其ノ怯ムニ乘ジ第十一中隊ニ突撃ヲ命ジタリ第十一中隊ハ前記重火器ノ外擲彈筒射撃ヲ實施シ一舉ニ敵陣地ニ突入シテ午後五時頃標高高地附近一帶ノ地區ヲ奪取セリ此ノ間第十中隊モ前面ノ敵ヲ擊破シ標高高地南側ニ進出セリ

大隊長及第十中隊長ハ此ノ機ヲ利用シテ直チニ戰果ヲ擴張セントセシモ黃土嶺西側一帶ノ高地竝ニ青石峯馬圈子南方約一軒高地附近ノ敵ヨリ猛射ヲ被リ爾後攻撃進捗セズシテ遂ニ日沒トナレリ

本道方面ノ狀況

先遣隊長ハ攻撃命令下達後豫備隊ト共ニ長山峪ニ到リ爾後同所ニ在リテ戰況ノ發展ヲ待チツツアリシガ敵ノ抵抗意外ニ頑強ニシテ山地方面ノ我が攻撃進捗セザルノミカ本道方面ノ我が戰車隊獨斷敵陣地ヲ突破シ馬圈子ト豫想セラルル敵司令部ヲ急襲セント企圖スモ黃土嶺附近敵陣地直前ニ於テ障礙ニ阻止セラレ而モ機關部ニ敵彈ヲ被リテ午後二時五十分頃長山峪ニ後退スルノ止ムナキニ至リ各方面トモ戰況交綏スルニ至レリ

當時長山峪西南側高地上ニ若干ノ敵兵アリ本道方面ヲ射擊スルノミナラズ第三大隊方面ヲ側射スルヲ以テ先遣隊長ハ副官少佐高木隆三郎ヲシテ豫備隊竝ニ本部傳令等ヲ指揮シテ之ヲ攻撃セシメ午後五時頃占領セリ先遣隊長ハ直チニ同高地ニ到リ敵情、地形ヲ觀察シ本夜攻撃部署ヲ變更シ明拂曉敵陣地ノ左翼タル黃土嶺高地方面ヨリ攻撃ヲ實施セント企圖セシガ此ノトキ兼子中尉旅團命令次頁ヲ參照ヲ携行シテ

素質ニ鑑ミ鎧袖一觸之ヲ擊滅シ得ベシト爲シ圖上判斷ニテ速カニ長山峪西南方六二七高地附近ヲ奪取シテ敵陣地ヲ席卷スベク此ノ旨先遣隊長ニ報告後獨斷前記高地ニ向ヒ攻撃前進ヲ開始セリ時將ニ正午頃ナリ

一方先遣隊長ハ長山峪東方約八百米ノ無名部落ニ於テ前記前衛司令官ノ決心ヲ知リ之ヲ承認スルト共ニ速カニ前面ノ敵ヲ擊攘シ馬圈子長山峪西南方約二軒半南側ノ線ニ進出スルニ決シ攻撃ニ關スル命令ヲ下達ス其ノ部署ノ大要左ノ如シ

敵陣地攻撃ニ關スル先遣隊ノ部署

- 一 前衛步兵砲隊(半)ヲシテ第一線ト爲シ前衛司令官ノ決心ノ如ク攻撃セシム
- 二 第十中隊長大尉漆原武、ヲシテ長山峪東南方地區ヨリ馬圈子ニ進出シ敵ノ退路ヲ遮斷セシム
- 三 山砲兵隊ヲシテ長山峪附近ニ陣地ヲ占領シ第一線ノ戰闘ニ協力セシム
- 四 第十中隊ノ一小隊ヲ豫備隊トシテ長山峪ニ向ヒ前進セシム

第一線ノ狀況

本隊タリシ諸隊ハ命令一下直チニ所命ノ如ク行動シ逐次第三大隊ノ戰闘ニ加入ス午後一時三十分頃第三大隊主力ハ敵前七、八百米ノ距離ニ達シ第十一中隊長中尉白鳥正次、一分隊欠ヲ右、機關銃中隊長大尉菅成五一、一小隊欠ヲ其ノ左翼ニ展開シ標高高地ノ敵ト銃火ヲ交ヘツツアリシガ時會々第十中隊主力戰線ニ到着シテ機關銃中隊ノ左翼ニ連リテ大隊ノ戰闘ニ協力スルニ及ビ志氣益々振ヒ險峻ナル地形ト急激ノ如ク飛來スル敵彈トヲ冒シ漸次敵陣地ニ近迫セリ當面ノ敵ハ我が當初ノ豫想ニ反シ頗ル頑強ニシテ我が第一線ノ前進

ニ伴ヒ其ノ射擊益々猛烈ヲ極メ之ガ爲我が部隊ハ敵前二、三百米ニ達セルモ未ダ突撃ノ機ヲ得ズ大隊長ハ此ノ狀況ヲ見ルヤ大隊ノ重火器ノ全火力ヲ當時最モ猛威ヲ振ヒツツアル標高高地ノ掩蓋重機關銃ニ集中シ其ノ怯ムニ乘ジ第十一中隊ニ突撃ヲ命ジタリ第十一中隊ハ前記重火器ノ外擲彈筒射撃ヲ實施シ一擧ニ敵陣地ニ突入シテ午後五時頃標高高地附近一帶ノ地區ヲ奪取セリ此ノ間第十中隊モ前面ノ敵ヲ擊破シ標高高地南側ニ進出セリ

大隊長及第十中隊長ハ此ノ機ヲ利用シテ直チニ戰果ヲ擴張セントセシモ黄土嶺西側一帶ノ高地竝ニ青石峯馬圈子南方約一軒高地附近ノ敵ヨリ猛射ヲ被リ爾後攻撃進捗セズシテ遂ニ日没トナレリ

本道方面ノ狀況

先遣隊長ハ攻撃命令下達後豫備隊ト共ニ長山峪ニ到リ爾後同所ニ在リテ戰況ノ發展ヲ待チツツアリシガ敵ノ抵抗意外ニ頑強ニシテ山地方面ノ我が攻撃進捗セザルノミカ本道方面ノ我が戰車隊獨斷敵陣地ヲ突破シ馬圈子ト豫想セラルル敵司令部ヲ急襲セント企圖スモ黄土嶺附近敵陣地直前ニ於テ障礙ニ阻止セラレ而モ機關部ニ敵彈ヲ被リテ午後二時五十分頃長山峪ニ後退スルノ止ムナキニ至リ各方面トモ戰況交綏スルニ至レリ

當時長山峪西南側高地上ニ若干ノ敵兵アリ本道方面ヲ射擊スルノミナラズ第三大隊方面ヲ側射スルヲ以テ先遣隊長ハ副官少佐高木隆三郎ヲシテ豫備隊竝ニ本部傳令等ヲ指揮シテ之ヲ攻撃セシメ午後五時頃占領セリ先遣隊長ハ直チニ同高地ニ到リ敵情、地形ヲ觀察シ本夜攻撃部署ヲ變更シ明拂曉敵陣地ノ左翼タル黄土嶺高地方面ヨリ攻撃ヲ實施セント企圖セシガ此ノトキ兼子中尉旅團命令次頁參照ヲ携行シテ

戰場ニ到着セシヲ以テ先遣隊長ハ右命令ニ基キ午後六時頃左記要旨ノ命令ヲ下達セリ

先遣隊命令ノ要旨

一 王以哲ノ指揮スル約一師ノ敵ハ北平―密雲―古北口―灤平道ヲ前進シ六日其ノ先頭ヲ以テ兩間房ニ侵入セリ

旅團主力ハ目下追及中本日夕刻長山峪ニ到着スル筈

二 先遣隊ハ現在地ヲ確保シ爾後ノ攻撃ヲ準備セントス

三 第一線各部隊ハ現陣地ノ要點ヲ確保シ爾後ノ攻撃ヲ準備スベシ

四 第十中隊一小隊ヲ第三大隊長ノ指揮下ニ復シ機關銃一小隊ヲ聯隊本部ノ位置ニ差出スベシ

五 給養ハ携帶口糧乙ヲ使用スベシ

是ニ於テ第一線部隊ハ廣地域ニ展開セル部隊ヲ整理シ要地ヲ確保シツツ夜ヲ徹スルノ準備ニ著手セリ

乙 步兵第十六旅團主力ノ出動及戰場到着後ノ狀況附圖第一、第四、第五、第六、第七、參照

(イ) 步兵第十六旅團主力ノ出動

川原旅團長ノ部署

在承德步兵第十六旅團長川原少將ハ三月七日午前九時三十分八師作命第二〇五號第一五頁參照ヲ受領スルヤ同十時左ノ如ク部署スル所アリ

一 長瀬部隊現ニ長瀬大佐ノ指揮スル部隊ヲシテ成ルベク南方ニ地歩ヲ獲得シ旅團主力ノ作戰ヲ容易ナラシム

二 第一梯隊旅團司令部、無線電信一分隊、步兵第三十二聯隊(第三大隊欠)、特設山砲兵隊(一小隊欠)、工兵小隊、衛生班ノ一部、關東軍自動車隊ヲ步兵第三十二聯隊ノ承德到着ト

共ニ直チニ同地出發先ヅ長山峪ニ向ヒ前進セシム

但シ無線電信一分隊護衛トシテ機關銃一分隊(步兵第十七聯隊第一大隊所屬)屬ヲ正午出發先遣隊長ノ指揮下ニ入ラシム

三 第二梯隊步兵第十七聯隊及步兵第三十二聯隊ノ各乘馬小隊、野砲兵第二大隊ヲ野砲兵第二大隊長ノ指揮ヲ以テ第一梯隊ニ追及セシム

四 關東軍自動車隊ヲシテ第一梯隊ノ輸送ニ任ゼシム

五 新井少佐ノ指揮スル部隊ヲ師團直轄ト爲シ承德附近ノ警備ニ任ゼシム

附記

一 特設山砲兵第三中隊ハ自動車ニ餘積ナキ爲同行セス(本中隊ハ挺進隊ト行動ヲ共ニセシ爲駄馬ヲ有セス)後ニ新井大隊ト共ニ追及ス

二 步兵第三十二聯隊ノ編成裝備上注意スベキ件左ノ如シ

(イ) 聯隊ハ步兵二大隊、步兵砲隊一隊、山砲兵隊一隊ヨリ成ル

(ロ) 步兵大隊ハ步兵中隊三、機關銃中隊一ヨリ成リ步兵中隊ハ中隊長以下約五十三名、輕機關銃六挺ニシテ二小隊ニ區分ス

又機關銃中隊ハ機關銃四挺ヲ有ス

(ハ) 步兵砲隊ハ曲射步兵砲四門ヲ又山砲隊ハ山砲三門ヲ有ス

三 第二梯隊ノ編成裝備上注意スベキ件左ノ如シ

(イ) 步兵第十七聯隊ノ乘馬小隊ハ長以下五十三名、輕機關銃三挺、機關銃一挺、步兵第三十二聯隊ノ乘馬小隊ハ長以下四十四名、輕機關銃三挺、機關銃一挺

(ロ) 野砲兵大隊ハ本部、二中隊ヨリ成リ各中隊ハ野砲三門、彈藥車三輛ヲ有ス

第一梯隊ノ狀況

午後二時三十分頃田中大佐ノ指揮スル步兵第三十二聯隊主力ハ四十二輛ノ自動貨車ニ分乘シ承德ニ到

第二節 古北口及長山峪方面第八師團主力ノ戰闘

第二梯隊ノ狀況

著セシカバ旅團長ハ之ニ前記旅團命令ヲ交付シテ出發準備ヲ命ジ其ノ完了ト共ニ同四時三十分步兵一中隊ノ直接警戒ノ下ニ旅團司令部、步兵第三十二聯隊主力ノ順序ニ長山峪ニ向ヒ急行セリ又第二梯隊ハ此ノ日早朝六溝承德東方約三十軒ヲ發シ約四十四軒ノ行軍ノ後同日午後七時頃承德ニ到著シ同地ニ於テ明八日ノ古北口ニ向フ前進ヲ準備セリ

(ロ) 戰場到着後ノ狀況

1 三月七日ノ狀況

先遣隊ノ報告

旅團主力第一梯隊ノミハ途中敵ニ遭遇スルコトナク午後九時三十分頃長山峪東端附近ニ達スルヤ旅團長ハ先遣隊副官高木少佐ヨリ左記要旨ノ報告ニ接シタリ

報告ノ要旨

- 一 敵ハ黃土嶺一帶ノ高地及馬圈子南側高地附近ニ陣地ヲ占領シアリ其ノ兵力相當優勢ニシテ數門ノ山砲及迫撃砲ヲ有シ陣地ハ概ネ掩蓋ヲ有シ正面二軒以上ニ及ブ
- 二 先遣隊ハ力戰ノ後長山峪西南方高地一帶ノ敵ヲ驅逐シ目下同高地ニ在リテ黃土嶺及馬圈子附近ノ敵ト近ク相對峙ス
- 三 戰場ノ山地ハ一般ニ斜面急峻ナルモ徒歩兵ノ運動ヲ許ス砲兵陣地ハ長山峪東南方臺上ニ在リ又觀測所トシテ長山峪西南方高地ハ良好ナリ

四 後續隊ハ長山峪ニ進入スルヲ得但シ敵砲火ヲ顧慮シ自動車ノ燈火ヲ滅シ長山峪東方地區ニ進入スルヲ要ス

是ニ於テ旅團長ハ直チニ全力ヲ以テ當面ノ敵ヲ夜襲スルニ決シ各隊命令受領者ニ左ノ命令ヲ下達セリ

夜間攻撃ニ關スル旅團長ノ部署

附記 旅團長ガ夜襲ノ決心ヲ取リシ主ナル理由

旅團正面ノ敵ハ大兵ヲ擁スルモ其ノ行動頗ル消極退嬰ニシテ兵力僅々四小隊内外ノ長瀬部隊ニ對シテスラ攻勢ニ出デザルニ鑑ミ旅團長ハ本夜敵ハ退却スルニアラズヤト思惟シ之ヲ捕捉殲滅センガ爲夜襲ヲ決心セリ

步一六旅作命第二七六號

步兵第十六旅團命令 三月七日午後九時三十分於長山峪東端旅團司令部

- 一 山砲及迫撃砲十餘門ヲ有スル敵ハ長山峪西側高地及馬圈子南側高地附近ニ陣地ヲ占領シアリ
- 二 旅團ハ主力ヲ以テ長山峪南側高地ヨリ馬圈子ノ敵ヲ夜襲セントス
- 三 先遣隊ハ右第一線トナリ黃土嶺附近ノ敵ヲ夜襲シ爾後馬圈子北側地區ニ兵力ヲ集結スベシ
- 四 步兵第三十二聯隊第七中隊欠、工兵小隊屬ハ左第一線トナリ馬圈子南方本道兩側高地ノ敵ヲ夜襲シ爾後老爺廟青石峯西南方高地ニ兵力ヲ集結スベシ
- 衛生班ハ自今予ノ直轄トス
- 五 步兵第三十二聯隊第七中隊ノ一小隊及戰車隊ハ豫備隊トナリ長山峪ニ位置スベシ
- 六 衛生班ハ長山峪東側ニ開設ノ準備ヲ爲スベシ

- 七 自動車隊ハ現在地附近山麓ニ遮蔽シアルベシ
 - 八 予ハ豫備隊ノ位置ニ在リ
- 後歩兵第三十二聯隊ノ後方ヲ前進ス

旅團長 川原 少將

第一線ノ
狀況

歩兵第十七聯隊長ハ午後十一時右命令ヲ受領スルヤ第三大隊ノ一部ヲ六二七高地ニ駐メ主力ヲ聯隊本部ノ位置ニ招致セリ又歩兵第三十二聯隊ハ出發準備シ一食分ヲ携行スノ爲ニ時間ヲ要シ午後十一時頃漸ク左ノ如キ部署ニ依リ長山峪ヲ出發シ南下セリ

- 一 第二大隊長少佐永橋察一、第七中隊ヲ右第一線歩兵第十七聯隊ノ左翼ニ連繫シ馬圈子東方約一軒半附近ノ高地ニ於テ攻撃ヲ準備セシム
- 二 第一大隊長少佐田中省三郎、第三中隊ヲ左第一線小平臺北側高地附近ニ於テ攻撃ヲ準備シ敵ノ右側ヲ包圍スル如ク攻撃セシム

- 三 第七中隊隊一少ヲ旅團豫備隊タラシメ其ノ一小隊ハ自動車隊ノ掩護ニ任ズ
- 四 第三中隊ヲ聯隊豫備隊トシ第二大隊ニ續行シ先ヅ馬圈子東北方約二軒ノ高地附近ニ位置セシム

軍飛行隊
ノ狀況

此ノ日軍飛行隊長大佐牧野正迪ハ王以哲師ノ熱河省内侵入ノ企圖ヲ粉碎スベク爆撃大隊主力長大佐岩下新太郎、重機三ヲ以テ出動シ敵高射砲ノ射撃ヲ冒シツツ午前十時三十分ヨリ同十一時十五分ノ間古北口及兩間房附近ニ於テ敵歩、騎兵ヲ爆撃シ五十挺爆彈十六發、二十五挺爆彈十二發、其ノ心膽ヲ寒カラシメタリ

近ニ於テ敵歩、騎兵ヲ爆撃シ五十挺爆彈十六發、二十五挺爆彈十二發、機關銃實包約三百發、其ノ心膽ヲ寒カラシメタリ

2 三月八日ノ狀況

旅團ノ企圖セル夜間攻撃ハ諸隊ノ準備整ハザル爲遂ニ實現スルニ至ラズ川原旅團長ハ長山峪ニ位置シ拂曉ヲ待ツ此ノ間師團參謀長歩兵大佐小林角太郎ヨリ『第二梯隊ハ遅クモ八日夕刻迄ニ長山峪ニ到着スル如ク急行中ナル』旨ノ通牒ニ接セリ

吉岡參謀
ノ行動

天明直前右聯隊先ヅ攻撃ノ火蓋ヲ切ル吉岡先遣參謀ハ前面ノ敵陣地相當堅固ニシテ且敵兵力優勢ナルニ鑑ミ旅團ノ獨力攻撃ノ不可ナル旨ヲ意見具申セシモ旅團長ノ容ルル所トナラザリシカバ同參謀ハ獨斷増援隊輸送ノ爲午前七時三十分頃關東軍自動車隊ニ承德へ歸還ヲ命ジ自ラモ報告ノ爲之ト同行セリ

歩兵第十
七聯隊ノ
行動

- 一 第三大隊配屬部隊故ノ如シヲシテ速カニ黃土嶺北側高地ニ前進シ前面ノ敵陣地ヲ奪取シ馬圈子北側地區ニ進出セシム

特ニ一部ヲ以テ黃土嶺西側ノ最高點ヲ奪取セシム

- 二 山砲隊ヲシテ天明ト共ニ第三大隊ノ戰闘ニ協力セシム

第三大隊ハ命令一下行動ヲ起シ敵陣地ノ攻撃ヲ開始セシモ天明ト共ニ敵ノ射撃愈々猛烈ニシテ加フルニ石山高地方面ヨリモ側射セラレ大隊ノ前進愈々滯滞ス山砲隊ハ此ノ狀況ヲ目撃シ極力敵ノ制壓ニ勉

メタルモ掩蓋ヲ有スル機關銃陣地多數ニシテ其ノ制壓意ノ如クナラズ第一線ノ攻撃ハ午後三時頃敵前三百米ニ於テ遂ニ頓挫スルニ至レリ此ノ間六二七高地ノ守備ニ任ゼシ橋本小隊長少尉橋本選次郎、歩兵第十七聯隊第十一中隊ハ數回優勢ナル敵ノ逆襲ヲ擊退後大隊主力ノ苦戰ヲ見ルニ忍ビズ同地ノ守備ニ堀川部隊分隊長上等兵堀川一、小銃、輕機ヲ殘シ主力ヲ以テ獨斷原所屬ニ復歸シ奮戰大イニ勉ムル所アリ

大隊長坪島少佐ハ攻撃ノ困難ナルニ鑑ミ敵陣地ヲ夜襲スルカ或ハ一部ノ迂回ニ依リ石山高地ヲ奪取セントシ此ノ旨聯隊長ニ意見具申セシモ聯隊長ハ全般ノ狀況上明拂曉攻撃スルヲ有利トシ之ニ同意セズ聯隊ハ近ク敵ト相對峙シツツ夜ヲ徹スルニ至レリ

步兵第三十二聯隊ノ行動

一方左第一線タル步兵第三十二聯隊ハ夜間錯雜且險峻ナル十數箇ノ高地附圖第六ハ此ノ附近ヲ越エ敵小部隊ヲ驅逐シツツ八日午前四時乃至五時ノ間主力ヲ以テ馬圈子東方約一軒半、一部ヲ以テ小平臺馬圈子東南方北方約一軒二百ノ地點ニ達シ同六時三十分頃ヨリ先ヅ馬圈子東側高地ノ敵ヲ包圍スル如ク攻撃ヲ開始セルモ敵ハ掩蓋ヲ有スル陣地ニ據リテ抵抗シ特ニ其ノ機關銃猛威ヲ振ヒ之ガ制壓ハ砲兵火ヲ以テスルニアラズンバ不可能ナル狀況トナレリ

是ニ於テ聯隊ハ午前八時頃此ノ方面ノ攻撃ヲ斷念シ速カニ小平臺ヲ經テ青石峯南方地區ニ進出シ敵ノ退路ヲ遮斷セントシ晝間地形ヲ利用シテ逐次兵力ヲ左方ニ轉用セシガ此ノトキ既ニ敵モ小平臺方面ニ兵力ヲ増加シテ極力我が前進ヲ妨害セル爲攻撃意ノ如ク進展セズ小平臺ノ一角ヲ奪取セル儘午後二時

頃一時頓挫スルニ至レリ聯隊長ハ以上ノ狀況ヲ知り薄暮ヲ待テテ青石峯附近ノ敵陣地ヲ攻撃スルニ決シ第一線ニ之ガ準備ヲ命ズルト共ニ聯隊豫備隊ノ一部第三中隊ヲ第二大隊ニ増加セリ

然ルニ夜襲ノ實行ニ先ダ午後五時十分頃機關銃ヲ有スル約百五十名ノ敵兵突然聯隊本部ノ左後方約三百米ニ屹立スル高地上ニ現レ喊聲ヲ擧ゲテ瞰射セシ爲聯隊本部ハ一時危殆ニ瀕セシモ聯隊豫備隊及銃聲ヲ聞キ第一線ヨリ馳付ケタル兩大隊一部ノ奮戰ニ依リ之ヲ擊退シ幸ニ事ナキヲ得タリ

此ノ頃ヨリ敵ノ行動益々活潑トナリ午後六時過ニハ更ニ敵歩兵三、四百名小平臺西北方高地ヨリ第二大隊正面ニ向ヒ逆襲ニ轉ジ來レリ依ツテ聯隊長ハ近ク全線ニ互リ敵ノ大逆襲アルモノト判斷シ夜襲ヲ中止シテ之ヲ現在地附近ニ於テ迎撃スルニ決シ部署スル所アリシモ爾後豫想セシ敵襲遂ニナカリキ

旅團長ノ指揮

旅團長ハ此ノ日午後三時頃迄ニ得タル諸情報ヲ綜合シ旅團ハ依然二段攻撃ノ不利本道方面ヨリ攻撃セバ黄土嶺附近ヲ突破後更ニ青石峯附近ノ敵陣地ニ衝突スヲ避ケ且地形モ本道方面ニ比シ比較的險峻ナラズト判斷セラルル敵陣地ノ右翼方面ヨリ攻撃ヲ進捗セシムルニ決シ午後四時頃攻撃續行ニ關スル命令ヲ下達セシガ其ノ後左聯隊方面ハ敵ノ逆襲ヲ被リテ攻撃ノ續行困難ナルコト判明セル爲同七時頃到達セシ第二梯隊及步兵第十七聯隊第一大隊長少佐新井泰治ヲ加ヘテ明拂曉ヨリ攻撃ヲ再興スルニ決心ヲ變更シ取敢ズ步兵第十七聯隊第一大隊ヲ速カニ左聯隊方面ニ派遣シタル後同十時頃左記要旨ノ命令ヲ下達セリ

附記 第二梯隊長タル野砲兵大隊長及新井少佐ハ部隊ニ先ヅテ午後五時三十分頃長山峪ニ到着セリ

步兵第十六旅團命令ノ要旨

- 一 敵陣地ノ狀況別紙要圖省ノ如シ
- 騎兵隊ハ本八日夕張百萬深平西方約二十二軒ニ達シ宿營セリ
- 飛行隊ハ明朝午前八時ヲ期シ黄土嶺及馬圈子ヲ爆撃スル筈
- 二 旅團ハ明日朝ヨリ概ネ現在ノ態勢ヲ以テ攻撃ヲ再興シ馬圈子南側高地ノ線ニ進出セントス
- 攻撃重點ハ步兵第三十二聯隊正面トス
- 三 步兵第十七聯隊ハ概ネ現在ノ線ニ於テ明拂曉迄ニ黄土嶺西方敵陣地ニ對シ攻撃ヲ準備スベシ
- 豫備隊タル步兵第三十二聯隊第七中隊一小隊、兩聯隊乘馬小隊ヲ明朝其ノ指揮下ニ入ラシム
- 攻撃前進ノ時機ハ別命ス
- 四 步兵第三十二聯隊新井大ハ概ネ現在ノ線ニ於テ明拂曉迄ニ小平臺馬圈子東南方約二軒西方高地ノ敵陣地ニ對シ攻撃ヲ準備シ適時攻撃ヲ開始スベシ
- 五 兩聯隊ノ戰闘及搜索地境ハ本道ノ線トス
- 線上ハ步兵第十七聯隊ニ屬ス
- 六 野砲兵第二大隊ハ黄土嶺西方敵陣地ノ要點ニ對シ主火力ヲ集中シ得ル如ク明拂曉迄ニ長山峪附近ニ陣地ヲ占領シテ先ヅ步兵第十七聯隊ノ戰闘ニ協力シ爾後戰況ノ進捗ニ伴ヒ黄土嶺附近ニ逐次

陣地ヲ變換シ主力ヲ以テ步兵第三十二聯隊、一部ヲ以テ步兵第十七聯隊ニ協力スベシ

- 七 特設山砲兵第三中隊ハ野砲兵第二大隊長ノ區處ヲ以テ黄土嶺西方敵陣地ヲ射撃シ得ル如ク明拂曉迄ニ長山峪附近ニ陣地ヲ占領シテ先ヅ步兵第十七聯隊ノ戰闘ニ協力シ爾後戰況ノ進捗ニ伴ヒ速カニ黄土嶺西南方地區ニ陣地ヲ變換シ主トシテ步兵第三十二聯隊ニ協力シ狀況之ヲ許セバ成ルベク速カニ該聯隊長ノ指揮下ニ入ルベシ
- 八 關東軍自動車隊ハ明朝出發承德ニ到リ軍需品等ノ輸送ニ任ズベシ
- 九 豫備隊步兵第三十二聯隊第七中隊ノ一小隊及戰車隊ハ依然長山峪ニ位置スベシ
- 十 予ハ長山峪ニ在リ戰況ノ進捗ニ伴ヒ本道ヲ黄土嶺ニ到ル

附記

- 一 工兵小隊ハ依然步兵第三十二聯隊ニ配屬シアリ
- 二 步兵第三十二聯隊トノ連絡ハ圓滑ナラズシテ本命令モ同夜ハ遂ニ該聯隊長ニ傳達セラレザリキ

然ルニ野砲兵大隊長ノ偵察ノ結果旅團ノ攻撃重點指向正面ノ地形ハ歩、砲ノ協同全ク不可能ナル爲旅團長ハ野砲兵大隊長ノ意見具申ヲ容レ歩、砲協同ノ見地ヨリ步兵第十七聯隊正面ヲ攻撃重點ニ改メタリ

附記 旅團長ハ攻撃重點ヲ變更セルモ此ノ旨ヲ步兵第十七聯隊長ニ傳ヘタルノミニテ別ニ處置スル所ナシ

步兵第十七聯隊長ハ午後十一時頃旅團命令ニ基キ左ノ如ク部署セリ

- 一 第三大隊第九中隊欠、步兵砲隊(半部欠)、步兵第三十ヲシテ現在線ニ於テ攻撃ヲ準備セシム

九日ノ爲
ノ步兵第
十七聯隊
ノ攻撃部
署

特ニ一部ヲ以テ今ヨリ直チニ朝陽屯長山峪西北方約四軒方面ヨリ黄土嶺西北側高地ノ最高點ヲ奪取セシム

二 山砲隊ヲシテ拂曉ト共ニ現在地附近ニ於テ前任務ヲ續行セシム

三 乘馬小隊ヲ豫備隊トシテ長山峪西南方高地ニ位置セシム

新井大隊ノ行動 此ノ間新井大隊ハ午後八時三十分頃長山峪ヲ出發シ折柄ノ降雪ヲ冒シツツ小平臺北側高地ニ向ヒ前進中ナリ

軍飛行隊ノ行動 此ノ日軍飛行隊ハ在承德偵察隊ノ一部飛行第十大隊第一中隊(長)ヲ以テ終日長山峪附近ニ於ケル川原旅團ノ

戰闘ニ協力シ又爆撃大隊ノ一部飛行第十二大隊第一中隊ノ二機ヲ以テ古北口附近ノ敵ヲ爆撃五十挺機五發、二十五挺機四發セリ

3 三月九日ノ狀況

歩兵第三十二聯隊ノ兵力轉用 寒氣ト疲勞トヲ忍ビツツ歩兵第十七聯隊及砲兵隊ハ攻撃ヲ準備シテ天明ヲ待ツ又歩兵第三十二聯隊ハ夜半敵ノ一部我ガ背後ニ迂回セルモノノ如キト黄土嶺方面ノ銃聲尙熾シナリシトニ依リ長山峪旅團司令部方面ノ狀況ヲ憂ヘテ獨斷同地ヲ發シ午前五時頃迄ニ長山峪南方約二軒ノ高地附近ニ兵力ヲ集結セリ

旅團長ハ午前五時三十分頃歩兵第三十二聯隊長ト會シ獨斷兵力ヲ本道近クニ轉用シ來レル報告ヲ受ケ之ヲ是認シタル後同官ニ對シ旅團攻撃重點ノ變更ヲ告ゲ且歩兵第十七聯隊ニ連繫シテ本道東側地區ニ攻撃ヲ準備スベキヲ命ゼリ

砲兵隊ノ行動 午前六時頃天全ク明ケ昨夜來ノ白雪中ニ點々トシテ黑影ヲ印セル敵陣地ノ掩蓋ヲ指呼ノ間ニ望見シ得ルニ至ルヤ野砲兵大隊ハ左ノ如キ射擊計畫ニ基キ先ツ砲撃ヲ開始シ敵陣地ノ破壊及守兵ノ制壓ニ勉メタリ

野砲兵大隊射擊計畫ノ概要

一 破壊射撃ノ爲目標地域ヲ左ノ如ク配當ス

第四中隊 長大尉 佐々木伊吉郎 本道兩側地區

第五中隊 長中尉 藤田太郎 黄土嶺西北側地區

特設山砲兵第三中隊 兩中隊ノ中間地區及臨機目標

二 本戰闘ニ使用スル彈藥ノ標準左ノ如シ

陣地設備—破壊及砲兵ノ制壓 2/6

直接支援射撃 1/6

追撃 1/6

豫備 2/6

石山高地ノ奪取 我方砲撃間右第一線聯隊ノ一部臨時編成鈴木中隊、長歩兵第三十二聯隊乘馬小隊長中尉鈴木泰、歩兵第三十二聯隊乘馬小隊及歩兵第三十二聯隊第七中隊(一小隊欠)ハ石山高地奪取ノ爲半圈子長山峪西北方約二軒半、朝陽屯長山峪西北方約四軒方面ヨリ迂回中ニシテ主力ハ砲撃ノ效果竝ニ迂回部隊ノ進出ヲ待ツテ攻撃前進ヲ開始スベク拂曉前ノ位置ニ在リテ徐ロニ其ノ時機ノ至ルヲ待テリ

前面ノ敵ハ我ガ砲火ノ間斷ヲ利用シテ依然頑強ニ抵抗スルノミナラズ同聯隊第一線ノ右正面ニ對シ逆襲ヲ行フ等其ノ奮戰力闘大イニ見ルベキモノアリシガ午前十時頃ヨリ逐次我ガ砲火ノ爲壓倒セララルニ至レリ

午前十一時頃待詔ビシ迂回隊ハ少數ノ敵ヲ驅逐シテ石山高地ヲ占領シ敵ノ左側背ヲ猛射セシノミナラズ我ガ砲兵ハ此ノトキ高地脚ニ在リテ最モ猛威ヲ振ヒツツアリシ敵機關銃ヲ破壊シ又友軍飛行機モ爆撃ヲ開始セル爲敵兵大イニ動搖セリ步兵第十七聯隊ハ此ノ機ヲ逸セズ猛然起ツテ攻撃前進ニ移リ遂ニ午後零時四十分頃敵陣地ヲ占領シ引續キ追撃ニ移レリ旅團長ハ右第一線方面ノ狀況進捗シツツアルヲ目撃シ午後一時頃左聯隊ニ攻撃前進ヲ命ズ

旅團長ノ部署

戰果ノ擴張

ルト共ニ豫備隊タリシ戰車隊八日午後四時頃破壞車輛ノ修理完成スニ工兵小隊步兵第三十二聯隊ノ豫備隊ニ在リシヲ此ノ頃始メテ掌握スヲ屬シ本道方面ヨリ前進セシメタリ

左聯隊ハ右命令ニ基キ敗殘兵ヲ驅逐シツツ午後五時乃至六時ノ間右聯隊ト相前後シテ青石岑附近ニ達シ野砲兵大隊モ我ガ攻撃ノ進捗ニ伴ヒ先ヅ特設山砲兵第三中隊ヲ第一線近ク前進セシメ次デ大隊主力モ陣地變換ニ移レリ又戰車隊ハ午後一時三十分頃長山峪ヲ出發シ本道ヲ前進セシガ途中黄土嶺敵陣地前ノ第一ノ對戰車障礙石壁ニ地雷四、覆蓋セニ依リテ約一時間其ノ行動ヲ阻止セラレ次デ鞍部以南ノ地區ニ於テ再ビ第二ノ戰車障礙材木ノ阻絶ニ遭遇シテ又復時間ヲ要シ同四時頃漸ク馬圈子ニ達シ更ニ青石岑ノ險ヲ踏破シツツ敵ヲ追ツテ南下セリ

黃土嶺附近砲擊中ノ野砲兵大隊



黃土嶺附近ニ於ケル長瀬部隊ノ攻撃



新井大隊ハ是ヨリ先夜半小平臺東北方約二軒高地ニ達セシトキ既ニ步兵第三十二聯隊主力ハ長山峪方面ニ兵力ヲ轉用中ナリシガ大隊長ハ旅團爾後ノ戰闘ノ爲頗ル重要ナルヲ思ヒ獨斷同地ニ駐リテ攻撃ヲ準備シ午前九時頃ヨリ前面ノ敵ヲ攻撃シ一進一止ノ後午後四時頃敵ノ退却ニ伴ヒ小平臺北側高地ニ進出シ爾後ノ追撃ヲ準備セリ

追撃ニ關スル旅團命令

午後四時頃旅團長ハ諸情報ヲ綜合シ旅團ノ戰況刻々有利ニ進展シツツアルヲ知り一舉古北口ニ向ヒ敵ヲ追撃スベク黃土嶺西方高地ニ於テ左記要旨ノ命令ヲ下達セリ

步兵第十六旅團命令ノ要旨

- 一 敵ハ退却ヲ開始セリ
- 二 旅團ハ古北口ニ向ヒ敵ヲ急追セントス
- 三 右追撃隊 長歩兵第三十二聯隊大隊長少佐永幡察一、ハ馬圈子—西小營馬圈子西方約一軒—色樹溝西小營西南方約四軒—三道溝色樹溝西南方約一軒半—徐家營三道溝南方約四軒—西灣子徐家營南方約三軒本道上道ヲ西灣子ニ向ヒ追撃スベシ
- 四 中追撃隊 長歩兵第十七聯隊長大佐長瀨武平、歩兵第十七聯隊同乘馬小隊、野砲兵一中隊、戰車隊、工兵小隊ハ本道ヲ古北口ニ向ヒ追撃スベシ
- 五 左追撃隊 長大尉高野實、歩兵第三十二聯隊第三中隊ハ本道東方山徑ヲ經テ兩間房ニ向ヒ追撃スベシ
- 六 本隊追撃隊以外ノ諸隊ハ歩兵第三十二聯隊長ノ區處ヲ以テ中追撃隊ノ後方ヲ前進スベシ

七 予ハ本隊ノ先頭ニ在リ

各部隊ノ追撃

步兵第十七聯隊長ハ右命令ニ基キ第三大隊第九、第十中隊ヲ前衛、爾餘ヲ本隊トシテ本道ヲ古北口ニ向ヒ夜間追撃ニ移リ爾餘ノ諸隊モ旅團命令ヲ受領スルニ伴ヒ逐次所命ノ如ク行動セリ

午後九時三十分步兵第三十二聯隊第三大隊長少佐相田俊二ハ自動車ニテ長山峪ヨリ馬圈子ニ到着セシヲ以テ旅團長ハ右部隊ヲ以テ新ニ中追撃隊徒步追撃中ナル長瀨大佐ノ指揮スル中追撃隊ヲ超越シテ追撃セシムルニ在リタリト爲シ自動車ニ搭乘シ古北口ニ向ヒ敵ヲ追撃セシメ旅團長モ自動車ニテ之ニ續行セリ

附記 步兵第三十二聯隊第三大隊ハ自動車ニ搭乘シ九日午後四時二十分頃長山峪ニ到着ス旅團長ハ同五時頃該部隊ヲ自動車ニテ追撃セシメントセシモ出發準備ニ時間ヲ要シ馬圈子ニ到着セシハ同九時三十分頃ナリキ

中追撃隊タル長瀨部隊及相田部隊ハ青石峯ノ險路青石峯ノ南斜面ハ極メテ險峻ニシテ恰モ往時ノ箱根ノ險ニモ比スベシヲ踏破シ敵ヲ急追セシモ色樹溝門長山峪南方約七軒、險峻ナル隘路ヲ成シ道路ノ外夜間ノ行動極メテ困難ナリ附近ニ於テ兵力未詳ノ敵ノ爲ニ其ノ前進ヲ阻止セラレシヲ以テ中追撃隊ニ追及セル旅團主力モ亦敵ニ近ク停止スルニ至レリ

附記

- 一 右追撃隊、左追撃隊ハ出發後間モナク本道ニ出テ等シク敵ニ阻止セラレタリ
- 二 戰車隊ハ午後五時三十分頃色樹溝門附近ニ於テ敵ト交戦シ一車破壊セラレ遂ニ之ヲ突破スルコトヲ得ズシテ日没トナレリ

軍飛行隊ノ行動

軍飛行隊ハ此ノ日午前錦州附近吹雪ノ爲錦州部隊ヲ出動セシムルコト能ハズ在承德部隊ノミ昨日ト同様極力川原旅團ノ戰闘ヲ支援シ遂ニ其ノ一機偵察砲兵大尉野中侃、操縱航空兵中尉小西二八ハ敵彈ノ爲長山峪附近ニ不時著スル

ノ止ムナキニ至レリ然ルニ錦州附近ノ天候モ正午前後漸次恢復スルニ至リシカバ偵察大隊ノ一部飛行第十大隊第一中隊及爆撃大隊ノ一部飛行第十二大隊相次デ出動シ前者ハ承德飛行場ニ到リ中隊長ノ指揮下ニ入り午後四時頃ヨリ戰場ノ上空ニ現レテ退却中ノ敵ヲ爆撃シ後者ハ直路戰場ニ向ヒ午後二時五十分頃ヨリ敵陣地ヲ爆撃シ多大ノ損害ヲ與ヘタリ

其ノ三 十八盤峯附近ノ戦闘附圖第一、第四、挿圖第二參照

戦闘開始前ノ狀況

騎兵第八聯隊ハ三月七日六溝出發後受領セル八師作命第二〇五號第一五頁參照ニ基キ午後四時頃承德到着後營房、把克什營方面ニ向フ前進ヲ準備セリ

聯隊長ハ同夜新ニ其ノ指揮下ニ入りシ步、砲兵部隊ヲ掌握シ翌八日午前五時乃至六時ノ間ニ承德ヲ發シ承德—灤平—營房道ヲ前進セシモ道路不良ノ爲馬匹ノ疲勞甚ダシク午後三時二十分頃張百萬ニ達シ同所ニ宿營スルノ止ムナキニ至レリ其ノ夜聯隊長ハ鞍匠屯附近ニ在リシ湯玉麟ノ率キル約二千ノ敵ガ七日午後八時ヨリ豊寧ニ向ヒ退却ヲ開始セシコトヲ知レリ

三月九日ノ前進部

三月九日午前六時騎兵隊長ハ第二中隊ノ一小隊長曹長土門修三郎ヲ尖兵、爾餘ヲ本隊ト爲シ左ノ行軍序列ヲ以テ把克什營ニ向ヒ前進ヲ開始セリ

本隊ノ行軍序列

聯隊本部

第二中隊 長大尉佐藤長之進 一小隊欠

第一中隊 長大尉石澤堅三

特設山砲兵第九中隊 長中尉須藤良信 一小隊欠

無線電信分隊

步兵第五聯隊乘馬小隊

騎兵隊主力ノ先行

前進後間モナク聯隊長ハ鞍匠屯ニハ全ク敵ナキヲ知リ步、砲兵部隊及無線電信分隊ヲ須藤砲兵中尉ノ指揮ヲ以テ主力ニ續行ヲ命ジ自ラ騎兵聯隊ヲ率キテ先行シ午前十時三十分頃西溝鞍匠屯西南方約一軒附近ニ達シ同所ニ於テ十八盤ニハ若干ノ敵アルヲ知リツツ更ニ南下セリ

戦闘開始

午前十一時十分頃聯隊長ハ前方ニ當リ急激ナル銃聲ヲ聞クト同時ニ尖兵ヨリ『下凹子鞍匠屯西南方約五軒半ニ在リシ敵步兵百七、八十名ヲ奇襲シ其ノ約半數ヲ殲セリ十八盤ニハ尙敵部隊アリ』トノ報告ニ接シタルヲ以テ聯隊長ハ直チニ敵ヲ攻撃スルニ決シ同十一時二十分平房下凹子東北方約七百米ニ於テ左ノ如ク部署セリ

一 第二中隊長ヲシテ部下中隊及尖兵小隊ヲ併セ指揮シ本道兩側地區ヨリ敵ヲ攻撃セシム

二 第一中隊長第二小隊機關銃一挺屬ヲシテ第二中隊ノ右翼ニ連繫シ敵ヲ攻撃セシム

三 爾餘ヲ豫備隊トシ平房ニ位置セシム

第一線部隊ハ迅速ニ展開シ直チニ攻撃ヲ開始スルヤ時恰モ敵兵約六百五十八部落ニ宿營中ナリシ爲周

十八盤ノ占領及退

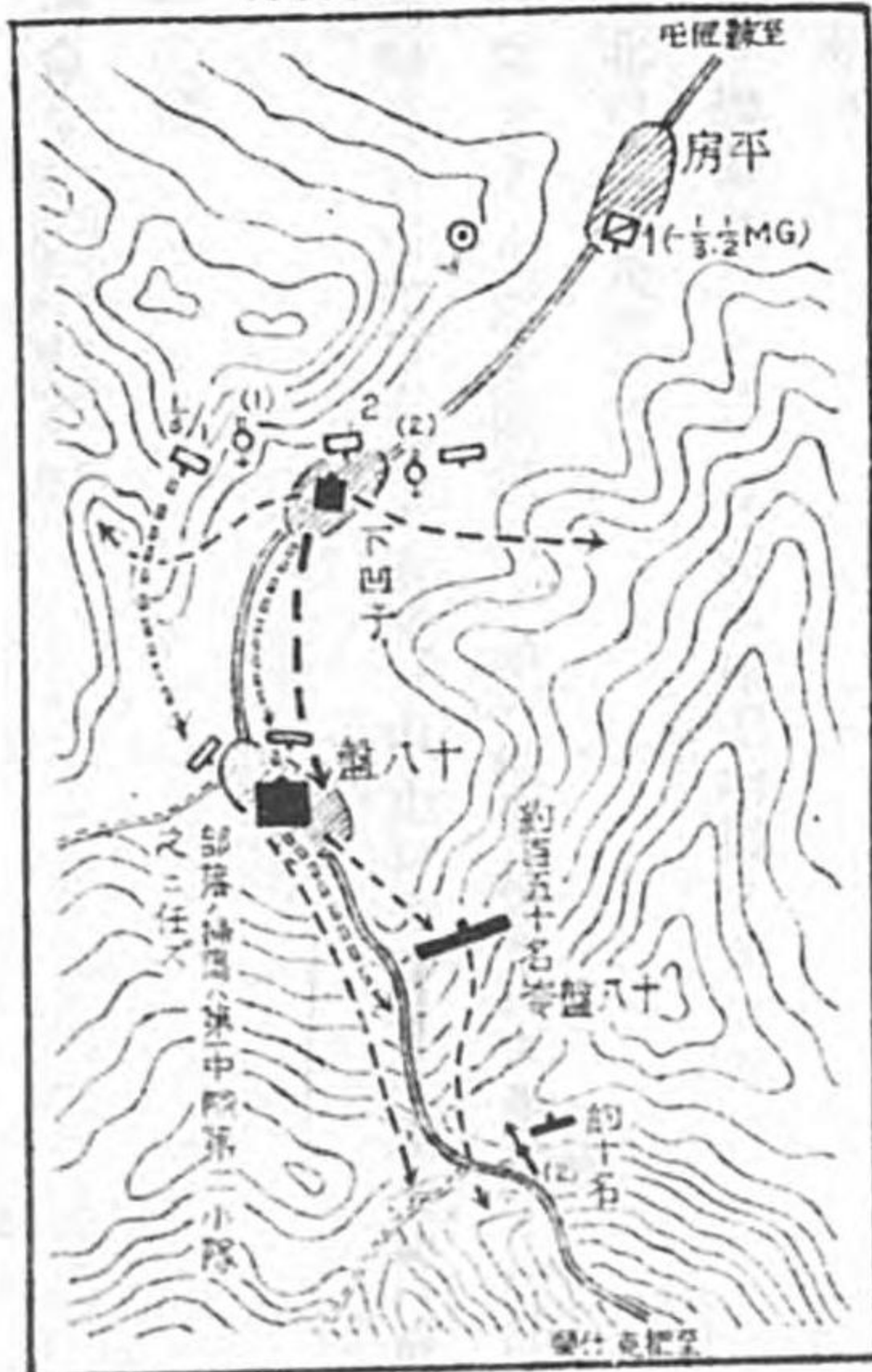
第二節 古北口及長山峪方面第八師團主力ノ戦闘

章狼狽シテ爲ス所ヲ知ラズ僅カニ其ノ一部ガ同地東南方稜線ヲ占領シテ抵抗セル外他ハ先ヲ爭ヒテ南方ニ潰走セリ依ツテ騎兵隊ハ一部ヲ以テ十八盤部落内ヲ掃蕩シ主力ヲ以テ追撃ニ任ジ十八盤峯ノ敵部隊及上三岔口把克什營北南方高地ノ敵ヲ擊破シテ午後五時頃下三岔口上三岔口南ニ達スルコトヲ得タリ然レドモ爾後ノ前進ハ大平庄把克什營北附近ニ陣地ヲ占領セル砲ヲ有スル約七百ノ敵ノ爲ニ阻止セラレタリ聯隊長ハ後續梯隊タル歩、砲兵部隊ヲ併セ明拂曉敵ヲ攻撃スルニ決シ同夜下三岔口附近ニ於テ夜ヲ徹セリ又須藤中尉ノ指揮スル部隊ハ午後六時十分頃下三岔口ニ達シ直チニ明朝ノ攻撃準備ニ著手セリ

其ノ四 戰闘ノ成績

長山峪附近ノ戰闘ニ參加セル我が軍ノ兵力ハ歩兵約四大隊、騎兵約二中隊、野砲兵約一大隊野砲六門、山砲二門ヲ基幹トシ總員將校以下約二千百名黃土嶺、青石峯附近ノ戰闘ニ參加セル者ハ約一千八百名ニシテ其ノ損害戰死准士官以下七名、負傷將校五名、准士官以下三十四名附表第一參照ナリ又戰利品及消費彈藥ノ狀況附表第二、第三其ノ一ノ如シ黃土嶺、青石峯附近ニ於テ我ト交戦セル敵ハ東北軍第七師長政枋ノ主力約三千名ニシテ多數ノ重、輕迫撃砲、山砲及自動火器ヲ有セリ其ノ損害詳カナラザルモ三百名ヲ下ラザルガ如シ又十八盤峯附近ニ於テ騎兵隊ト交戦セル敵ハ萬福麟麾下ノ歩兵第八十三團第三營ノ約七百名ニシテ死體六十七ヲ遺棄シテ敗走セリ

圖要過經關戰隊聯八第兵騎近附峯盤八十
日九月三年八和昭



挿圖第二



第三款 古北口附近ノ戦闘

其ノ一 第八師團長ノ統帥 附圖第一、第三、第四、第九、第十 参照

師團長ハ十日戦闘司令所ヲ古北口方面ニ推進スル豫定ナリシモ自動車ハ作戦及補給等ノ爲ニ使用セラレ豫備車全クナカリシ爲止ムヲ得ズ出發ヲ見合セ依然承德ニ位置セリ

川原旅團長ノ報告

午前八時三十分頃川原旅團長ヨリ左記要旨ノ報告アリ

報告ノ要旨

- 一 旅團ハ自動車輸送部隊ヲ以テ十日午前七時古北口北方約三軒ノ地點ニ達シ長城ノ線ニ在ル敵ニ對シ攻撃ヲ開始ス
- 二 古北口附近ヲ爆撃セラレタシ又鈴木旅團増援ノ要ナシ
- 三 參謀長ハ古北口占領後歸還ス

羅文峪、馬蘭關、古北口、領事館、八師團命令

次デ正午頃軍飛行隊ヨリ『川原旅團前面ノ敵ハ總退却シ我ガ歩兵ノ一部ハ既ニ古北口ニ進入セル』旨ノ通報アリシカバ師團長ハ古北口方面ノ増援ヲ中止シテ速カニ羅文峪、馬蘭關ヲ占領セントシ左ノ命令ヲ下達セリ

八師作命第二一〇號

第八師團命令 三月十日午後二時 於承德師團司令部

第二節 古北口及長山峪方面第八師團主力ノ戦闘

一 把克什營西方附近ノ敵ハ川原旅團、騎兵隊及飛行隊ノ猛攻ニ依リ總退却ヲ開始シ飛行第一中隊ハ全力ヲ以テ追撃ノ爲出動セリ

二 鈴木旅團、砲兵聯隊長大佐橋本精主力、工兵大隊長大佐上原建市主力ハ現在地附近ニ宿營シ待命スベシ但シ鈴木旅團長ハ成ルベク速カニ一部特設山砲兵一中隊、工兵一小隊ヲ以テ羅文峪、馬蘭關附近長城ノ要點ヲ占領セシムベシ

三 予ハ明十一日午前六時出發古北口附近ニ到ル

師團長 西 中 將

下達法

要旨ヲ口達シ後印刷セルモノヲ交付ス

然ルニ午後六時過ニ至リ川原旅團長ヨリ『旅團ハ午後三時攻撃ヲ開始ス攻撃明日ニ及ブ場合ヲ顧慮シ野砲彈三百發明朝迄ニ送付セラレタキ』旨ノ報告アリシ爲師團長ハ前記飛行隊ノ通報ニ疑念ヲ懷クニ至リシガ同夜午前零時三十分頃重ネテ川原旅團長ヨリ『旅團ハ午後五時三十分頃敵陣地ノ第一線タル三七〇高地附近長城ノ線ヲ又騎兵隊ハ龍王裕口古北口東方約五軒附近長城ノ大部ヲ占領シ爾後第二線陣地「ハート」型複郭東西ノ線ノ敵ニ對シ明拂曉ノ攻撃ヲ準備シツツアリ』トノ報告アリ是ニ於テ師團長ハ飛行機ノ通報ハ誤ニシテ川原旅團ハ今尙戰闘中ナルヲ知ルコトヲ得タリ

師團長ノ古北口進出及戰闘指揮

三月十一日師團長ハ豫定ノ如ク午前六時承德ヲ發シ古北口ニ向フ途中砲、工兵隊長ニ『隨時出發シ得ルノ態勢ニ在ルベキ』旨ヲ傳へ且黃土嶺ノ戰蹟ヲ視察シツツ前進シ正午頃古城子把克什營東方約九軒ニ到著シ同所ニ於テ先遣ノ參謀長ヨリ戰況ヲ聽取シ彈藥缺乏ノ爲攻撃意ノ如ク進捗セザルヲ知ル依ツテ師團長ハ直チニ警乘兵搭乘ノ自動貨車二輛ヲ以テ野砲兵第三大隊在灤平ノ彈藥ヲ輸送セシムルト共ニ高場參謀第八師團參謀步兵中佐高場損藏ヲ把克什營通信所ニ先遣シテ左ノ命令ヲ傳達セシメタル後自ラ長城ノ一角三七〇高地ニ登リ戰闘ヲ指揮セリ時ニ午後二時三十分頃ナリ

川原旅團増援ニ關スル命令

八師作命第二一一號

第八師團命令 三月十一日午後一時二十分於古北口師團司令部

一 古北口附近ノ敵ノ一部ハ退却ヲ開始セルモ主力ハ依然古北口西方高地ヨリ古北口北側附近及同地東南方獨立城堡「ハート」型複郭ヲ經テ其ノ東方高地ニ互ル間ヲ占領シ抵抗頑強ナリ

川原旅團ノ砲兵ハ彈藥缺乏シ戰闘ヲ中止スルノ止ムナキ状態ニ在リ

二 師團ハ川原旅團ニ成ルベク多クノ兵力ヲ増加シ前面ノ敵ヲ擊攘セシメントス

三 野砲兵第八聯隊長ハ聯隊本部及一大隊ヲ指揮シテ成ルベク速カニ追及シ川原旅團長ノ指揮下ニ入ルベシ

又第三大隊ノ携行彈藥ノ大部ヲ速カニ輸送シ第一大隊ニ之ヲ補充スベシ

四 工兵第八大隊長ハ部下主力ト共ニ成ルベク速カニ古北口附近ニ前進シ川原旅團長ノ指揮下ニ入ルベシ

五 關東軍自動車隊長及長根曹長ハ自動貨車ヲ以テ第三項ノ彈藥ヲ速カニ戰場ニ輸送スベシ
六 予ハ依然古北口附近ニ在リ

師團長 西 中 將

當時敵ノ射撃ハ猛烈ニシテ其ノ山砲彈五發戰闘司令所ニ命中セルモ渡邊參謀微傷セルノミニテ他ニ死傷ナシ

日没後師團長ハ戰闘司令所ヲ把克什營ニ移シ終夜彼我ノ銃砲聲ヲ聞キツツ夜ヲ徹シタリ

三月十二日午前四時頃野砲兵聯隊主力戰場ニ到着シテ同七時頃ヨリ砲撃ヲ開始シ第一線歩兵モ同九時頃ヨリ一齊ニ攻撃前進ニ移リ戰闘激烈ヲ極メタルモ歩砲飛三兵種ノ協同功ヲ奏シ同十一時過陣地ノ一角ヲ奪ヒ逐次戰果ヲ擴張セリ

師團長ハ川原旅團ノ突撃成功シテ敵陣地ノ占領ヲ豫測シ得ルニ至リシヲ以テ午前十一時三十分頃戰場ヲ出發シ同日午後五時三十分頃承德ニ歸還セリ

其ノ二 戰闘經過

甲 三月十日ノ狀況附圖第四、第八參照

(イ) 古北口關門方面ノ狀況

川原旅團ノ色樹溝ノ占領及追撃

古北口附近ノ敵軍ニ對スル攻撃ノ命令

旅團ノ追撃ハ色樹溝門附近ニ於テ一時阻止セラレシモ十日午前一時頃之ヲ突破シ爾後殆ド敵ノ抵抗ヲ受クルコトナク中追撃隊ヲ以テ把克什營附近ニ達ス旅團長モ亦間モナク同所ニ到リ蜿蜒タル萬里ノ長城ヲ指顧ノ間ニ望ミ取敢ズ中追撃隊長歩兵第三十二聯隊大隊長永橋少佐、歩兵第三十二聯隊第二大隊(第七中隊欠)ヲシテ二里塞把克什營南方高地ヲ占領シテ主力ノ展開ヲ掩護セシムルト共ニ關東軍自動車隊追撃隊ノ輸送ニ任ジタルモノニ徒步行軍中ノ部隊歩兵第三十二聯隊主力、歩

附近ニ達シ旅團長ノ指揮下ニ入レリ
歩一六旅作命第二八〇號

步兵第十六旅團命令 三月十日午前九時 於把克什營南方高地

一 敵陣地ノ狀況別紙要圖要圖ハ省略スルモ當時得タル敵情ハ古北口北ノ如シ 關東西ノ線ニ點々敵部隊ヲ認ムル程度ナリ

中追撃隊ハ二里塞東方高地ヨリ南溝ニ互ル間ニ展開シ旅團主力ノ展開ヲ掩護シアリ
騎兵隊ハ自今予ノ指揮下ニ屬セシメラル

二 旅團ハ二里塞南方高地ヨリ南溝南側高地ニ互ル間ニ展開シ前面ノ敵ヲ攻撃シ古北口南方高地線ニ進出セントス

攻撃重點ハ標高三七〇古北口東北ノ方約一軒半ノ城壁突角ニ指向ス

三 歩兵第三十二聯隊 第二大隊及乘馬小隊 ハ右第一線トナリ二里塞東方高地ニ展開シ主力ヲ以テ古北口東北側高地ニ向ヒ攻撃スベシ

特ニ一部ヲ以テ旅團ノ右側ヲ警戒スベシ

四 歩兵第十七聯隊 歩兵第三十二聯隊第二大隊(一中隊ト一小隊)工兵小隊、特設山砲兵第三中隊 ハ左第一線トナリ南溝 把克什營南方高地線ニ方約一料半 展開シ三七〇高地ニ向ヒ攻撃スベシ

特ニ一部ヲ以テ砲石口方面ヨリ敵ノ右側背ヲ攻撃セシムルヲ要ス

五 兩聯隊ノ戰闘地境ハ把克什營東北端—東關 古北口東部 東端ヲ連スル線トス

線上ハ歩兵第三十二聯隊ニ屬ス

六 攻撃前進ノ時機ハ後命ス

七 野砲兵第二大隊ハ其ノ主火力ヲ三七〇高地ニ指向シ得ル如ク南溝及二里塞間ノ地區ニ陣地ヲ占領シ主力ヲ以テ歩兵第十七聯隊ニ協力シ速カニ射撃ヲ開始スベシ

八 騎兵隊ハ龍王裕口、沙嶺口 龍王裕口東、南方約二軒、司馬台口附近長城ノ線ヲ占領シ敵ノ右側背ヲ脅威スベシ

九 歩兵第三十二聯隊第七中隊、同第六中隊ノ一小隊及戰車隊ハ豫備隊トナリ把克什營附近ニ位置スベシ

十 予ハ把克什營南方高地ニ在リ

旅團長 川原少將

下達法

騎兵隊長ニハ口達、其ノ他ノ部隊ニハ戰場到着後ニ下達ス

附記

- 一 關東軍自動車隊ニ對シテハ任務終了後承德ニ歸還スベク區處セリ
- 二 軍ノ行動ヲ長城以南ニ及サザルコトニ關シテハ特ニ軍司令官ヨリ訓示セラレアリ(第十三卷第二章第一節參照)シモ旅團長ガ本命令ニ於テ第一線部隊ヲシテ長城ノ線ヲ越エテ古北口南方高地線ニ進出セシムルノ決心ヲ取りシハ承德出發時ニ於テ師團長ノ承認ヲ得アリシニ依ル

旅團主力ハ關東軍自動車隊ノ獻身ノ努力ニ依リ逐次輸送セラレ左ノ如ク戰場ニ到着シ旅團命令ニ基キテ攻撃ヲ準備セリ

歩兵第三十二聯隊主力 午前 十時頃

歩兵第十七聯隊本部及第一大隊 午後零時三十分頃

同殘部 午後二時三十分頃

野砲兵第二大隊主力 午後零時三十分頃

歩兵第十七聯隊長長瀬大佐ハ把克什營旅團司令部ニ到リ攻撃ニ關スル命令ヲ受領シ長城ノ最高地三七〇ノ望樓攻略ノ成否ハ古北口陣地ノ運命ヲ決スルモノナルヲ以テ該隊ハ如何ナル犠牲ヲ拂フモ之ヲ攻略スルノ決心ヲ固メ先ヅ後續部隊ニ關シ左ノ處置ヲ爲セリ

一 第三大隊ヲ南溝ニ向ヒ速カニ追及セシム

二 歩兵第三十二聯隊第二大隊ヲ把克什營東方地區ヨリ砲石口ニ向ヒ攻撃セシム

三七〇高地ノ占領

次デ同大佐ハ南溝西南方高地ニ急行シ第一大隊長等ト共ニ攻撃ノ目的ヲ以テ敵情、地形ヲ搜索中會、第一大隊副官中尉 稻田 勝ヨリ『三七〇高地附近長城ニハ四箇ノ通過點アリ又該地附近敵ノ配備尙薄弱ナリ』

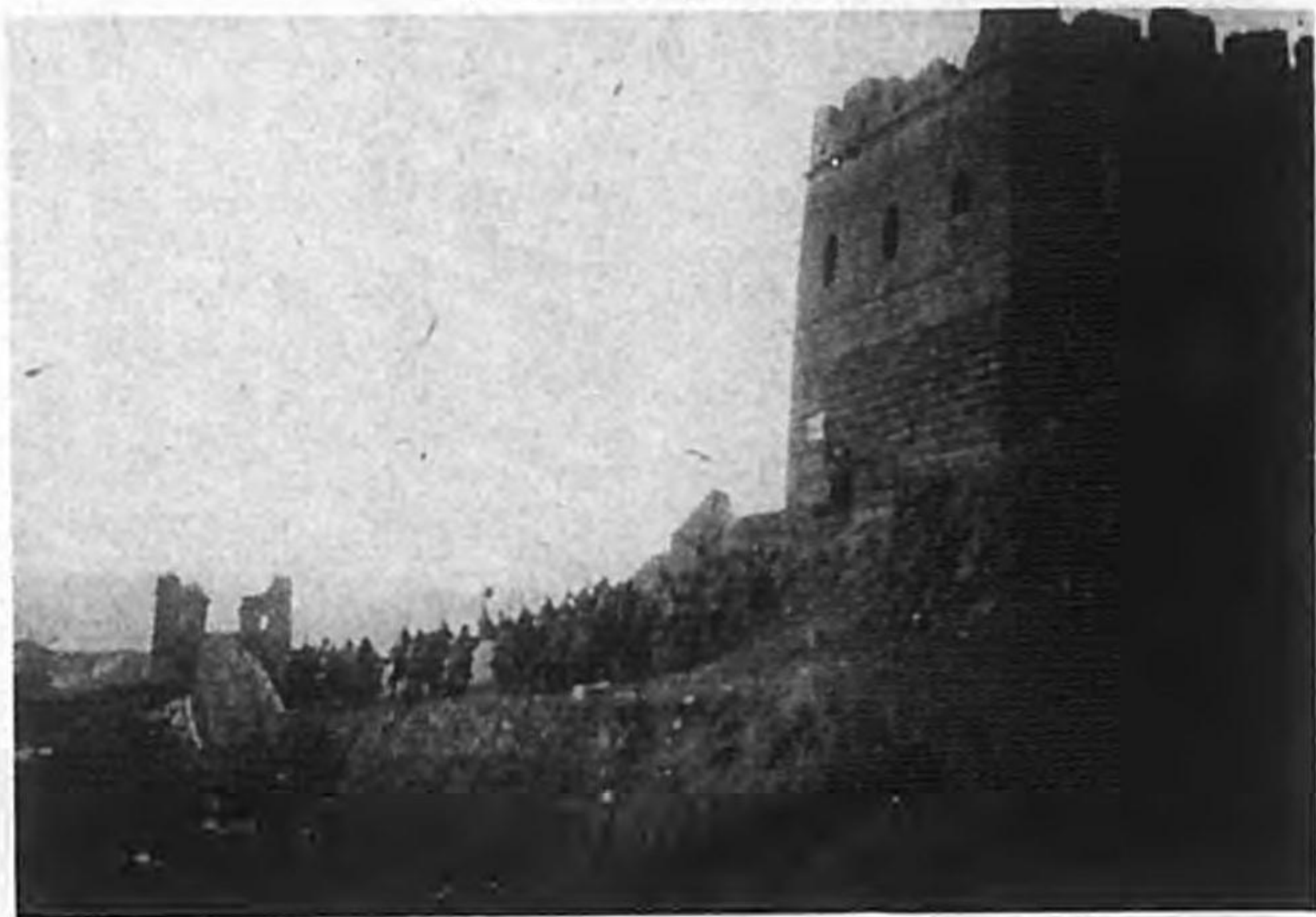
トノ報告アリシカバ聯隊長ハ機逸スベカラズト爲シ第三大隊ノ到著ヲ待ツコトナク軍旗ヲ先頭ニ敢然城壁ニ突入スルニ決シ第一大隊第二中隊 隊欠ヲシテ四箇ノ通過點中攀登最モ容易ナル將軍樓口ニ突撃ヲ命ズ

第一大隊ハ飛來スル敵彈ヲ意トセズ疾風迅雷側面縱隊ヲ以テ險峻ナル坂路ヲ攀登シテ將軍樓口ノ關門ヲ占領シ續イテ數箇ノ望樓ヲ奪取シツツ急峻ナル長城ノ城壁上ヲ最高地三七〇望樓ニ向ヒ竊進シ寸秒ノ差ヲ以テ該地ヲ占領シ南側斜面攀登中ノ五、六百ノ敵ヲ擊破シ樓上高ク日章旗ヲ翻セリ時ニ午後三時頃ナリ

此ノ間旅團主力方面ハ攻撃準備著々整ヒ午後三時稍、前概ネ完了セシカバ旅團長ハ第一線ニ對シ直チニ攻撃前進ヲ命ゼリ

野砲兵大隊ハ把克什營及二里塞附近ニ陣地ヲ占領シ當初歩兵第十七聯隊ノ三七〇高地ノ戰闘ニ協力スベク準備シ又歩兵第三十二聯隊長ハ兩大隊主力ヲ第一線、二小隊ヲ豫備隊トシ三七〇高地西側ニ重點ヲ指向シツツ攻撃ヲ開始セリ

三七〇高地望樓ノ占領
昭和八年三月十日



然ルニ此ノトキ歩兵第十七聯隊ハ砲火ノ協力ヲ待ツコトナク三七〇高地ヲ奪取セル爲野砲兵大隊ハ直チニ全火力ヲ以テ三七〇高地以西北關以東ノ敵陣地ヲ射撃シ右第一線聯隊ノ攻撃ニ協力セルモ河西北方高地及北關方面ノ敵ノ側防火猛威ヲ振ヒ之ニ對スル我が砲兵火不十分ナリシ爲

歩、砲ノ連絡不良ナリシ爲右第一線大隊ノ攻撃漸次滯シ午後五時頃左第一線大隊ハ長城線ヲ占領セルモ右第一線大隊ハ漸ク長城前方三、四百米ニ達セルノミナリ
一方歩兵第十七聯隊ハ三七〇高地ヲ占領後聯隊長ハ軍旗ヲ擁シテ同高地ニ到リ敵情ヲ觀察シ當面ノ敵兵少クモ一千ヲ下ラズ且其ノ陣地ハ險峻ナル地形ヲ巧ニ利用セルノミナラズ堅固ナル掩蓋ヲ有スルヲ知り爾後ノ攻撃ハ第三大隊ノ到著

三七〇高地ノ占領

- 一 第三大隊ヲ南溝ニ向ヒ速カニ追及セシム
- 二 歩兵第三十二聯隊第二大隊ヲ把克什營東方地區ヨリ砲石口ニ向ヒ攻撃セシム

次デ同大佐ハ南溝西南方高地ニ急行シ第一大隊長等ト共ニ攻撃ノ目的ヲ以テ敵情、地形ヲ搜索中會、第一大隊副官中尉 稻田 勝ヨリ『三七〇高地附近長城ニハ四箇ノ通過點アリ又該地附近敵ノ配備尙薄弱ナリ』

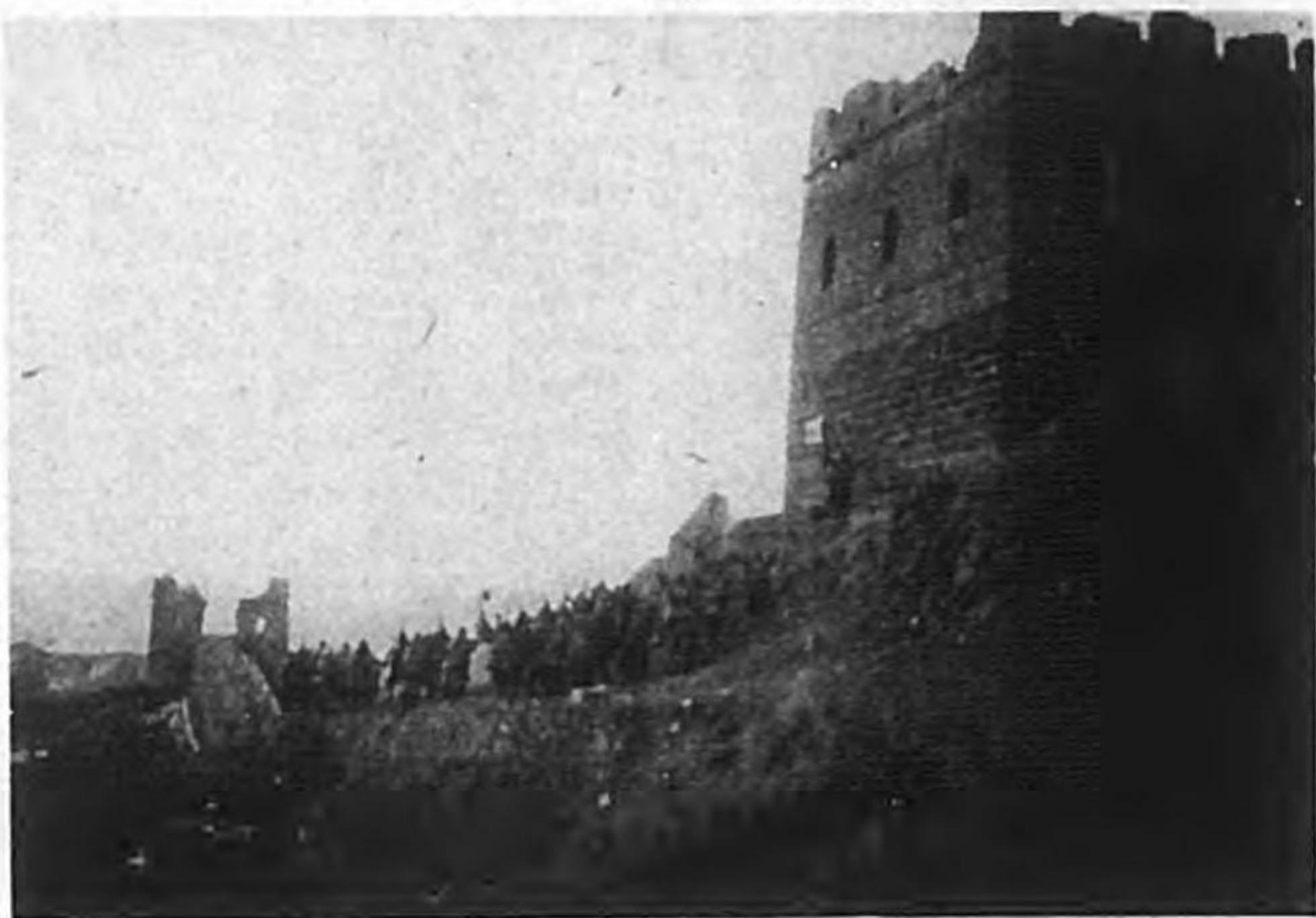
トノ報告アリシカバ聯隊長ハ機逸スベカラズト爲シ第三大隊ノ到著ヲ待ツコトナク軍旗ヲ先頭ニ敢然城壁ニ突入スルニ決シ第一大隊第二中隊 隊欠ヲシテ四箇ノ通過點中攀登最モ容易ナル將軍樓口ニ突撃ヲ命ズ

第一大隊ハ飛來スル敵彈ヲ意トセズ疾風迅雷側面縱隊ヲ以テ險峻ナル坂路ヲ攀登シテ將軍樓口ノ關門ヲ占領シ續イテ數箇ノ望樓ヲ奪取シツツ急峻ナル長城ノ城壁上ヲ最高地三七〇望樓ニ向ヒ募進シ寸秒ノ差ヲ以テ該地ヲ占領シ南側斜面攀登中ノ五、六百ノ敵ヲ擊破シ樓上高ク日章旗ヲ翻セリ時ニ午後三時頃ナリ

此ノ間旅團主力方面ハ攻撃準備著々整ヒ午後三時稍、前概ネ完了セシカバ旅團長ハ第一線ニ對シ直チニ攻撃前進ヲ命ゼリ

野砲兵大隊ハ把克什營及二里塞附近ニ陣地ヲ占領シ當初歩兵第十七聯隊ノ三七〇高地ノ戰闘ニ協力スベク準備シ又歩兵第三十二聯隊長ハ兩大隊主力ヲ第一線、二小隊ヲ豫備隊トシ三七〇高地西側ニ重點ヲ指向シツツ攻撃ヲ開始セリ

三七〇高地望樓ノ占領
昭和八年三月十日



然ルニ此ノトキ歩兵第十七聯隊ハ砲火ノ協力ヲ待ツコトナク三七〇高地ヲ奪取セル爲野砲兵大隊ハ直チニ全火力ヲ以テ三七〇高地以西北關以東ノ敵陣地ヲ射撃シ右第一線聯隊ノ攻撃ニ協力セルモ河西北方高地及北關方面ノ敵ノ側防火猛威ヲ振ヒ之ニ對スル我が砲兵火不十分ナリシ爲

步、砲ノ連絡不良ナリシ爲砲兵ハ此ノ狀況ヲ知ラズ右第一線大隊ノ攻撃漸次滯シ午後五時頃左第一線大隊ハ長城線ヲ占領セルモ右第一線大隊ハ漸ク長城前方三、四百米ニ達セルノミナリ

一方歩兵第十七聯隊ハ三七〇高地ヲ占領後聯隊長ハ軍旗ヲ擁シテ同高地ニ到リ敵情ヲ觀察シ當面ノ敵兵少クモ一千ヲ下ラズ且其ノ陣地ハ險峻ナル地形ヲ巧ニ利用セルノミナラズ堅固ナル掩蓋ヲ有スルヲ知リ爾後ノ攻撃ハ第三大隊ノ到著

及砲石口附近ヨリ進出スベキ歩兵第三十二聯隊第二大隊ノ進出ヲ待ツニ決シ第一大隊ヲシテ現在地ヲ確保シ爾後ノ攻撃ヲ準備セシメタリ

然ルニ其ノ後間モナク敵ハ漸次我が左翼方面ニ増加シ包圍セントスルノ狀ヲ呈セシカバ聯隊長ハ午後三時四十分頃左ノ部署ヲ爲シ之ニ對抗スルニ決セリ

一 第一大隊第二中隊欠、歩兵砲隊半部屬ヲ右第一線ト爲シ三七〇高地ヨリ將軍樓口西南方高地ニ互ル間ヲ占領シ爾後ノ攻撃ヲ準備セシム

二 第三大隊第九中隊欠、歩兵砲隊半部屬ヲ中央第一線ト爲シ第一大隊ニ連繫シ楊兒峪古北口東北方約二軒高地ニ展開シ攻撃ヲ準備セシム

三 歩兵第三十二聯隊第二大隊第七中隊ト第六中隊ノ一小隊欠ヲシテ砲石口ノ敵ヲ突破後楊兒峪東北側高地ニ進出シテ第三大隊ノ左ニ展開シ攻撃ヲ準備セシム

第三大隊ハ午後四時十五分頃將軍樓口ニ達シテ所命ノ如ク展開シ歩兵第三十二聯隊第二大隊モ同五時頃殆ド敵ノ抵抗ヲ受クルコトナク砲石口ヲ占領セリ

旅團長ハ將軍樓口、三七〇高地東西ノ敵陣地奪取ノ勢ヲ以テ一舉ニ古北口ヲ衝カントシ午後五時二十分頃大要左ノ如ク部署セリ

一 歩兵第三十二聯隊ヲシテ「ハート」型複郭ニ重點ヲ指向スル攻撃ヲ續行セシム

二 歩兵第十七聯隊ヲシテ敵ノ右翼ヲ席卷シツツ速カニ到達線ニ向ヒ前進セシム

三 野砲兵第二大隊ヲシテ全火力ヲ以テ古北口北端附近ノ城壁竝ニ城門ヲ破壊セシム

然ルニ當面ノ敵ハ三七〇高地附近ノ長城線ヲ失ヒシモ尙後方ノ長城及「ハート」型複郭ノ銃眼ヲ利用シテ猛烈ニ射撃スルノミナラス地形險峻ナリシ爲爾後我が攻撃意ノ如ク進捗セズシテ遂ニ日没トナレリ

是ニ於テ旅團長ハ現在ノ戰線ヲ確保シテ翌朝ノ攻撃ヲ準備スルニ決シ午後七時三十分頃三七〇高地西北麓ノ無名部落ニ於テ左ノ如ク部署セリ

一 第一線兩聯隊ヲシテ概ネ現在ノ態勢ヲ以テ夜ヲ徹シ敵情、地形ヲ搜索シ明拂曉攻撃ヲ準備セシム

ム兩聯隊ノ警戒、搜索地域ノ境界ハ將軍樓口、潮河沿河西南方約一軒半ヲ連ヌル線線上ハ歩兵第三十二聯隊ニ屬ストス

二 野砲兵第二大隊ヲシテ現陣地ニ於テ夜ヲ徹シ明拂曉ノ攻撃ヲ準備セシム

特設山砲兵第三中隊及掩護小隊歩兵第三十二聯隊第六中隊ノ一小隊ヲ其ノ指揮下ニ屬ス

三 戰車隊ヲシテ二里塞ニ於テ露營セシム

歩兵第三十二聯隊ニ配屬中ノ工兵分隊ヲ其ノ指揮下ニ入ラシム

四 歩兵第三十二聯隊第七中隊、同乘馬小隊ヲ豫備隊ト爲シ二里塞及南溝ニ於テ露營セシム

此ノ日戰車隊二輛ノ内一輛破壊ハ豫備隊トシテ把克什營附近ニ待機中午前十時頃旅團長ヨリ「戰車隊ハ歩兵ノ攻

三七〇高地ニ於ケル旅團長ノ部署

十一日攻撃ノ爲メノ旅團長ノ部署

戰車隊ノ行動

擊進捗ニ伴ヒ古北口ニ向ヒ前進スベキ』要旨ノ命令ヲ受ケ北關方面ヨリノ進入路ノ偵察ニ勉メタルモ敵火ノ爲意ノ如クナラズシテ日没トナレリ

此ノ間歩兵少尉神田利吉ハ第四小隊九二式裝甲自動車一輛ヲ率キテ正午頃古北口附近ニ到着シ又昨九日夕色樹溝門

附近ニ於テ破壊セシ裝甲自動車モ午後二時頃追及シ來リテ戰車隊長ノ手裡ニ復歸スルニ至レリ

軍飛行隊ノ行動

軍飛行隊ハ偵察大隊長大佐 邦助ノ一部第一中隊 主力及爆撃大隊主力ヲ以テ早朝ヨリ第八師團ノ戰闘ニ協力ス即チ偵察第一中隊長大尉 藤田雄藏ハ終日川原旅團方面ノ敵情ヲ搜索シテ適時古北口附近ヲ爆撃シ又爆撃大隊ハ輕

爆撃機三機ヲ承德ニ推進シテ偵察中隊ト連絡ノ後古北口附近ノ敵ヲ爆撃スルト共ニ重爆撃機ヲ以テ古北口及其ノ南方地區ヲ行動中ノ敵部隊ヲ爆撃セシメタリ

附記 本日活躍セル飛行機ノ延機數左ノ如シ

偵察大隊 五機

爆撃大隊(重) 四機

同 (輕) 五機

(ロ) 龍王裕口方面ノ狀況

十日拂曉騎兵隊ハ大平庄附近ノ敵兵夜暗ヲ利用シテ既ニ退却セシコトヲ知り追撃ヲ續行シツツ午前八時三十分頃把克什營附近ニ達シ同所ニ於テ川原旅團長ノ指揮下ニ入レリ

騎兵隊長ハ午前九時頃『龍王裕口、沙嶺口、司馬台口附近長城ノ線ヲ占領スベキ』旅團命令ニ接シ直チニ

出發準備ヲ整ヘ同十一時三十分頃把克什營ヲ發シテ把克什營—蘇地把克什營東—蘇地方約三軒—龍王裕口道ヲ龍王裕口

ニ向ヒ急進ス前進途中騎兵隊長ハ蘇地ニ於テ第一中隊ヲ沙嶺口占領ノ爲ニ派遣セリ

午後零時三十分頃尖兵ハ龍王裕口北方約六百米ニ達シ同地附近ニ在リシ少數ノ敵ヲ驅逐シ更ニ前進セントスルヤ俄然前面ノ長城附近ヨリ射撃セラレタルヲ以テ直チニ蘇地—龍王裕口道西側ニ沿ヘル龍王

裕口北方約四百米ノ高地ヲ占領シテ主力ノ展開ヲ掩護セリ騎兵隊長ハ間モナク同地東側高地中腹ニ到リ前面ノ敵情、地形ヲ視察後速カニ當面ノ敵ヲ攻撃スルニ決シ同零時四十分頃左記要旨ノ命令ヲ下達

騎兵隊ノ攻擊命令

騎兵隊命令ノ要旨

一 前面ノ望樓ニハ約七十ノ敵アルモノノ如ク尙其ノ東西ノ望樓ニハ有力ナル部隊竝ニ側防機關アルモノノ如シ我が尖兵ハ右前方高地稜線ヲ占領シ敵ト對戰シアリ

二 騎兵隊ハ現在ノ線ニ展開シ龍王裕口關門及其ノ附近長城ノ線ニ在ル敵ヲ攻撃セントス

三 第二中隊一小隊欠、尖兵ヲ其指揮下ニ復歸スハ尖兵ノ位置ニ展開シ前面ノ敵ヲ攻撃スベシ

四 歩兵第五聯隊乘馬小隊長特務曹長荒谷巖市、小隊長以下五十八名輕機二挺、山砲一門ヲ有スハ第二中隊ノ左翼ニ連繫シ當面ノ敵ヲ攻撃スベシ特ニ其ノ山砲分隊ヲ以テ前面ノ望樓ヲ射撃シ騎兵部隊ノ攻撃ヲ援助スベシ

五 特設山砲兵第九中隊一小隊欠ハ現在地ノ後方約二百米ノ谷地ニ陣地ヲ占領シ前面ノ望樓ニ對シテ破